

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。


注意

- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>


注意

- テラス本体の施工は「テラス（3～6尺）取付説明書<Z284>」をお読みください。
- サンクストックヤード1500タイプのテラス本体の施工の際に、垂木掛補強金具の取付けが必要です。
テラス本体の取付説明書とあわせて、施工前に本取付説明書の「3 本体の施工 1. テラス本体の施工」をお読みください。
- 600タイプの場合は積雪（新雪）20cmを超えない地域に設置してください。
1500タイプの場合は積雪（新雪）50cmを超えない地域に設置してください。
- 建物の屋根から雪の落雪を直接受けない位置に設置してください。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- 施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、豎樋に排水路ヒーター等を取付けてください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根にφ6の水抜き孔をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

<施工の際に>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造や、指定箇所以外の孔加工はしないでください。
- 製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- 水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

- 施工完了時に、ドアの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ボルト、ネジを増し締めしてください。
- 取扱説明書は施主様にお渡しください。

<本製品の施工について> ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1-1 シーリング処理

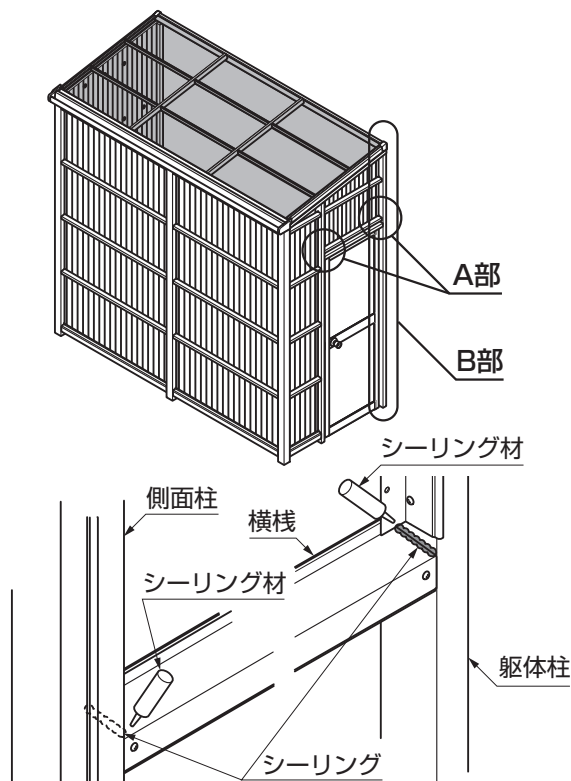


図1-1 A部詳細図

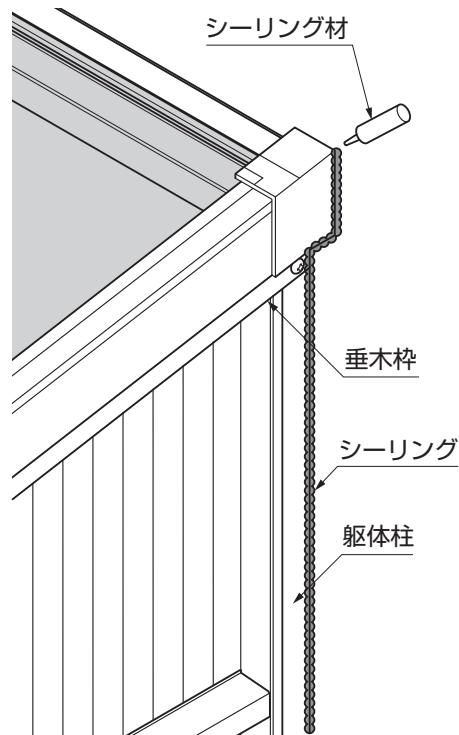


図1-2 B部詳細図

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1-2 下枠の水抜き孔の確保

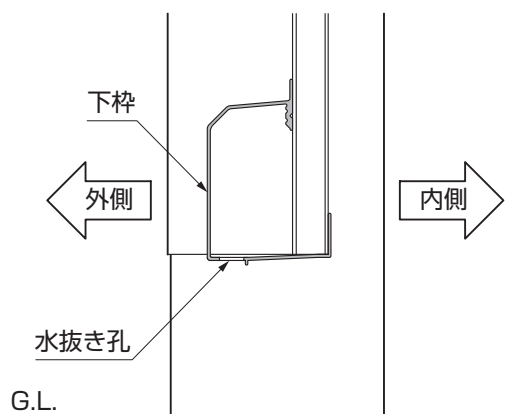
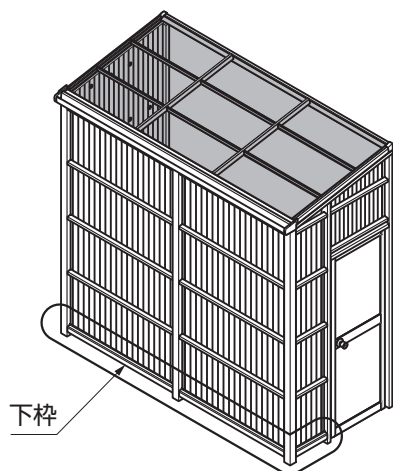


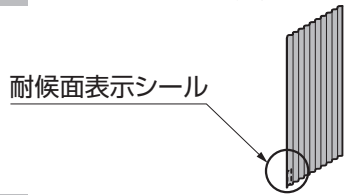
図1-3 下枠断面図

ポイント

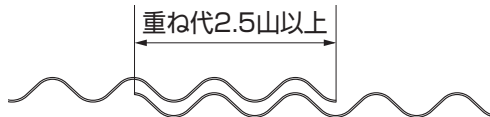
- 下枠の下面には水抜き孔があります。下枠を埋め込んで水抜き孔をふさいだり、外側に壁をつくると内側に雨水が浸入するおそれがあります。
- 下枠とG.L.との隙間をふさぐ場合は、必ず内側をふさいでください。

<波板パネルの施工について> ※施工時には下記の事項を厳守してください。

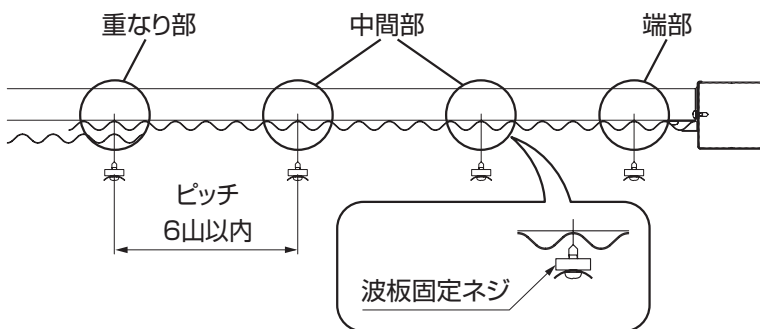
1-1 波板パネル表裏の確認



1-2 波板パネルの重ね代



1-3 波板固定ネジの取付方法



1-4 波板パネル必要寸法

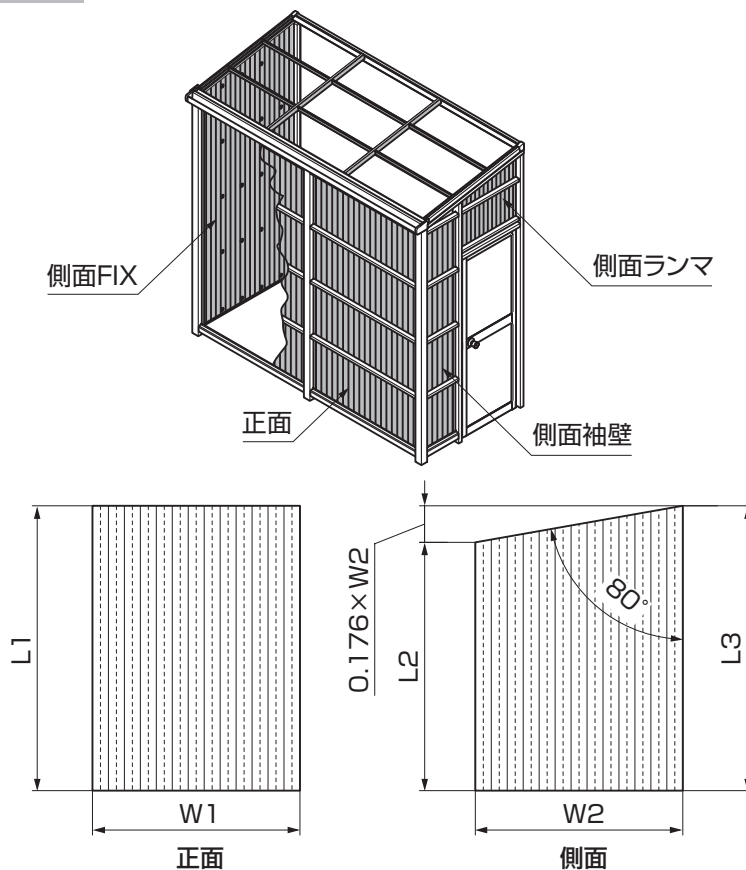


図1-1 波板パネル必要寸法

ポイント

●波板パネルに貼ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。表裏を反対に取付けると変色の原因になります。

ポイント

●2.5山以上の重ね代を確保してください。重ね代が少ない場合、雨水浸入のおそれがあります。

ポイント

●波板パネルの谷部に固定してください。
●下枠と全ての胴縁に固定してください。
●波板パネルにφ7の下孔をあけてから固定してください。下孔をあけないと、温度変化で波板パネルに波打ちが発生しやすくなります。
●波板パネルの固定位置は、端部と重なり部および、その中間部です。取付ピッチ6山以内を目安にしてください。

表1-1 正面 波板パネル必要寸法

		L1	W1
正 面	1.0間	2346	1663
	1.5間		1248
	2.0間		1703

表1-2 側面 波板パネル必要寸法

		L2	L3	W2	
側 面	FIX	2380	3R	2521	798
			4R	2574	1098
			5R	2627	1398
	袖壁		6R	2679	1698
			4R	2425	253
			5R	2748	553
ランマ	6R	2530	853		
	3R	523	664	798	
	4R	576	717		
	5R	629	770		
6R	682	822			

ポイント

●柱位置が標準施工位置の場合の加工寸法です。柱位置を移動した場合は、現物合わせで寸法確認してください。
●波板パネル加工の際は、パネルの表裏を十分確認してください。

■ 梱包明細表

【1】 波板正面フレーム

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
縦枠 内観右		1	2	2
縦枠 内観左		1	2	2
下枠		1	2	2
胴縁L		4	—	8
胴縁S		—	8	—


【1】 波板正面フレーム (つづき)

名 称	略 図	員 数		
		1.0間	1.5間	2.0間
正面上部ふさぎ材		1	2	2
【1-1】 後付け柱用固定ボルト		—	2	2
【1-2】 φ4×13パテクスネジ3種		15	28	30
【1-3】 φ5×13パテクスネジ		19	39	39
【1-4】 波板固定ネジ		55	77	110
【1-5】 M8 平座金		—	2	2
【1-6】 M8 バネ座金		—	2	2
【1-7】 M8 六角ナット		—	2	2
取付説明書〈E247〉	—	1	1	1
取扱説明書〈UE066〉	—	1	1	1

【2】 波板側面フレーム 袖壁用

名 称	略 図	員 数					
		内観右用			内観左用		
		4R	5R	6R	4R	5R	6R
縦枠 主柱用		1	1	1	1	1	1
縦枠 側面柱用 内観右		1	1	1	—	—	—
縦枠 側面柱用 内観左		—	—	—	1	1	1
下枠		1	1	1	1	1	1
胴縁S		4	4	4	4	4	4
袖壁垂木枠 内観右		1	1	1	—	—	—
袖壁垂木枠 内観左		—	—	—	1	1	1
袖壁垂木枠押さえ材 内観右		1	1	1	—	—	—
袖壁垂木枠押さえ材 内観左		—	—	—	1	1	1

【2】波板側面フレーム 袖壁用 (つづき)

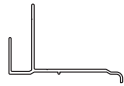
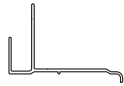
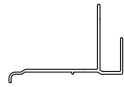
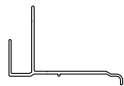
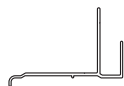
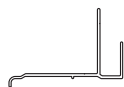
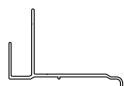



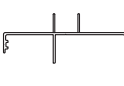
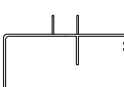


名 称	略 図	員 数					
		内観右用			内観左用		
		4尺	5尺	6尺	4尺	5尺	6尺
側面柱 袖壁用		1	1	1	1	1	1

【3】波板側面フレーム FIX用

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3尺	4尺	5尺	6尺	3尺	4尺	5尺	6尺
縦枠 支柱用		1	1	1	1	1	1	1	1
縦枠 躯体柱用 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-
縦枠 躯体柱用 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1
下枠		1	1	1	1	1	1	1	1
胴縁L		-	-	-	4	-	-	-	4
胴縁S		4	4	4	-	4	4	4	-
垂木枠 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-
垂木枠 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1
垂木枠押さえ材 内観右		1	1	1	1	-	-	-	-
垂木枠押さえ材 内観左		-	-	-	-	1	1	1	1
躯体柱 FIX用		1	1	1	1	1	1	1	1

■ 梱包明細表 (つづき)

【4】 波板側面フレーム ドア用

名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3R	4R	5R	6R	3R	4R	5R	6R
縦枠 主柱用		—	1	1	1	—	1	1	1
縦枠 側面柱用 内観右		—	1	1	1	—	—	—	—
縦枠 側面柱用 内観左		—	—	—	—	—	1	1	1
縦枠 ランマ用前枠側 内観右		1	1	1	1	—	—	—	—
縦枠 ランマ用前枠側 内観左		—	—	—	—	1	1	1	1
縦枠 ランマ用躯体側 内観右		1	1	1	1	—	—	—	—
縦枠 ランマ用躯体側 内観左		—	—	—	—	1	1	1	1
下枠		—	1	1	1	—	1	1	1
胴縁S (袖壁用)		—	4	4	4	—	4	4	4
胴縁S (ランマ用)		2	2	2	2	2	2	2	2
垂木枠 内観右		1	1	1	1	—	—	—	—
垂木枠 内観左		—	—	—	—	1	1	1	1
垂木枠押さえ材 内観右		1	1	1	1	—	—	—	—
垂木枠押さえ材 内観左		—	—	—	—	1	1	1	1

【4】波板側面フレーム ドア用 (つづき)


名 称	略 図	員 数							
		内観右用				内観左用			
		3R	4R	5R	6R	3R	4R	5R	6R
側面柱 ドア用		—	1	1	1	—	1	1	1
躯体柱 ドア用		1	1	1	1	1	1	1	1
横棧B		1	1	1	1	1	1	1	1
横棧D		1	1	1	1	1	1	1	1

【5】波板部品セット


名 称	略 図	員 数								
		袖壁		FIX				ドア		
		4R	5・6R	3R	4R	5R	6R	3R	4R	5・6R
垂木枠取付金具		1	1	1	1	1	1	1	1	1
側面柱カバー		1	1	—	—	—	—	—	—	—
フレーム組付金具		—	—	—	—	—	—	2	2	2
クッション材 垂木枠用		1	1	1	1	1	1	1	1	1
クッション材 躯体柱用		—	—	1	1	1	1	1	1	1
スペーサー		—	—	1	1	1	1	1	1	1
雪おろし注意シール		1	1	1	1	1	1	1	1	1
【5-1】φ4×13ナベテクスネジ 3種		17	17	17	25	25	25	20	36	36
【5-2】φ5×13ナベテクスネジ		11	11	11	11	11	11	4	15	15
【5-3】波板固定ネジ		11	25	27	38	44	55	11	22	35
【5-4】φ5×12トラスタッピンネジ3種		3	1	1	1	1	1	5	5	5
【5-5】φ5×20トラスタッピンネジ3種		1	1	2	2	3	3	2	2	3
【5-6】M5 六角ナット		—	—	1	1	1	1	1	1	1
【5-7】M5 平座金		—	—	1	1	1	1	1	1	1
【5-8】M5 バネ座金		—	—	1	1	1	1	1	1	1

■ 梱包明細表 (つづき)


【6】 波板パネル ランマ

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	
波板パネル ランマ用		2	

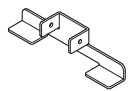
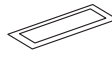

【7】 波板パネル 正面

名 称	略 図	員 数		
		3枚入	5枚入	6枚入
波板パネル 正面用		3	5	6

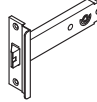
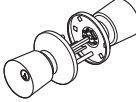


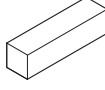
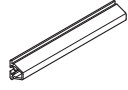
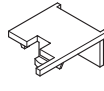
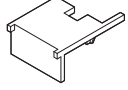






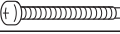

【8】 波板パネル 側面

名 称	略 図	員 数				
		1枚入	2枚入	3枚入	4枚入	5枚入
波板パネル 側面用		1	2	3	4	5

【9】 垂木掛補強金具

名 称	略 図	員 数
垂木掛補強金具		1
ブランドラベル		1
【9-1】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		2

【10】 ドア本体 (つづき)

名 称	略 図	員 数	
		右吊用	左吊用
ラッチ箱錠		1	1
握り玉		1	1
キー		3	3
丁番		2	2
ドアクローザー取付用木片		1	1
グレチャン		1	1
框キャップR		2	2
框キャップL		2	2
プッシュボタンφ8		5	5
【10-1】 締付座金		4	4
【10-2】 スピードナット		2	2
【10-3】 φ4×13ナベテクスネジ3種		20	20
【10-4】 φ4×10サラ小ネジ		16	16
【10-5】 φ4×12サラタッピンネジ1種		2	2
【10-6】 φ4×35ナベタッピンネジ2種G=10		10	10
【10-7】 M4×20ナベ小ネジG=5		2	2

【10】 ドア本体

名 称	略 図	員 数	
		右吊用	左吊用
ストライク側縦枠R		1	—
ストライク側縦枠L		—	1
丁番側縦枠R		1	—
丁番側縦枠L		—	1
丁番側縦框		1	1
ロック側縦框		1	1
上下棧		2	2
中棧		1	1

【11】ポリカパネル ドア

名 称	略 図	員 数 2枚入
ポリカパネル ドア		2

【12】波板正面フレーム 連棟用

名 称	略 図	員 数
縦枠 内観右		2
縦枠 内観左		2
下枠		2
胴縁L		8
正面上部ふさぎ材		2
後付け柱用固定ボルト		2
【12-1】φ4×13ナベテクスネジ3種		30
【12-2】φ5×13ナベテクスネジ		39
【12-3】波板固定ネジ		110
【12-4】M8 平座金		2
【12-5】M8 バネ座金		2
【12-6】M8 六角ナット		2

【13】中間柱セット

名 称	略 図	員 数
中間柱		1
柱固定金具		1
アンカー棒		1
【13-1】M5×12トラス小ネジ		4

【14】ドアクローザー

オプション

名 称	略 図	員 数
クローザー本体		1
アーム		1
座板		1
本体ブラケット		1
ブラケットリンク		1
キャップ		1
スパナ		1
【14-1】M6×14十字孔付六角ボルト		2
【14-2】M5×12丸サラ小ネジ (固着剤付き塗装)		5
【14-3】M5×8 ナベ小ネジ (固着剤付き生地)		4
【14-4】φ5×26 丸サラタッピンネジ		4
【14-5】M5×20 丸サラ小ネジ (固着剤付き塗装)		3
【14-6】M5ターannaット		3

【15】追加胴縁セット

オプション

名 称	略 図	員 数
胴縁L		1
【15-1】φ5×13ナベテクスネジ		2
【15-2】波板固定ネジ		11

INDEX

1	基本寸法と各部名称	13
1.	基本寸法	13
1-1	スクリーン仕様	13
1-2	袖壁仕様	13
1-3	ヤード仕様	14
1-4	連棟	14
2.	各部名称	15
2-1	スクリーン仕様	15
2-2	袖壁仕様	15
2-3	ヤード仕様	15
3.	断面納まり	16
3-1	正面部 横断面図	16
3-2	正面部 縦断面図	16
3-3	側面部 横断面図	17
3-4	側面部 縦断面図	18
3-5	垂木枠 断面図	19
3-6	屋根1500タイプ断面図	19
2	柱の位置出し	20
1.	単体 (1.0間~2.0間)	20
1-1	スクリーン仕様	20
1-2	袖壁仕様	20
1-3	ヤード仕様	21
2.	連棟 (2.5間~5.0間)	21
3	本体の施工	22
1.	テラス本体の施工	22
1-1	柱の施工	22
1-2	中間柱一前枠の取付け	22
1-3	垂木掛補強金具の取付け	22
1-4	テラス本体の施工	22
2.	正面部の取付け	23
2-1	縦枠の取付け	23
2-2	胴縁と下枠の取付け	24
2-3	波板パネルの加工と取付け	25
2-4	正面上部ふさぎ材の取付け	26

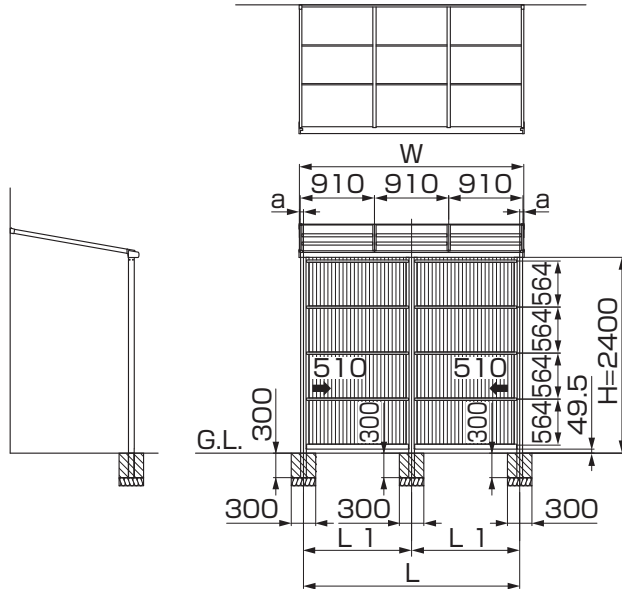
INDEX

3. 袖壁仕様・ヤード仕様（ドア袖壁）の取付け	27
3-1 垂木枠取付金具の取付け	27
3-2 垂木枠と側面柱の取付け	27
(1) 袖壁仕様の場合	27
(2) ヤード仕様の場合	28
3-3 躯体柱 ドア用の取付け	29
3-4 縦枠の取付け	30
3-5 胴縁と下枠の取付け	31
3-6 波板パネルの加工と取付け	32
3-7 垂木枠押さえ材と側面柱カバーの取付け	33
4. ランマ部の取付け	34
4-1 横棧の取付け	34
4-2 縦枠 ランマ用の取付け	35
4-3 胴縁の取付け	35
4-4 波板パネルの加工と取付け	36
4-5 垂木枠押さえ材の取付け	37
4-6 横棧のシーリング	37
5. ドア部の取付け	38
5-1 ドア縦枠の取付け	38
5-2 ドアの組立て	39
5-3 ドアの取付けと調整	41
6. ドアクローザーの取付け オプション	42
6-1 座板・ブラケット取付け孔の加工	42
6-2 座板・ブラケットの取付け	42
6-3 本体ブラケットの取付け	43
6-4 アームの取付け	43
6-5 本体の取付け	43
6-6 アームの連結	43
6-7 ストップ角度の設定	44
6-8 ストップ角度を変更する場合	44
6-9 ドアクローザーの速度調整	44
7. 側面FIXの取付け	45
7-1 垂木枠 FIXの取付け	45
7-2 躯体柱 FIX用の取付け	46
7-3 縦枠の取付け	47
7-4 胴縁と下枠の取付け	48
7-5 波板パネルの加工と取付け	49
7-6 垂木枠押さえ材の取付け	50
8. 雪おろし注意シール・ブランドラベルの貼付け	51
8-1 雪おろし注意シールの貼付け	51
8-2 ブランドラベルの貼付け	51
9. 柱の固定	51
10. 追加胴縁の使用法 オプション	52

1 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法

1-1 スクリーン仕様



a : 柱芯～屋根端 (50 ≤ a ≤ 560)

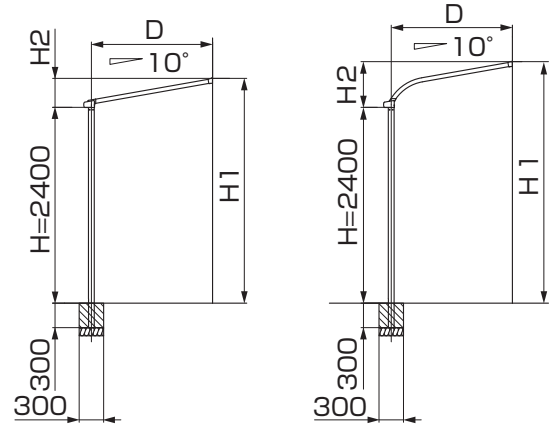
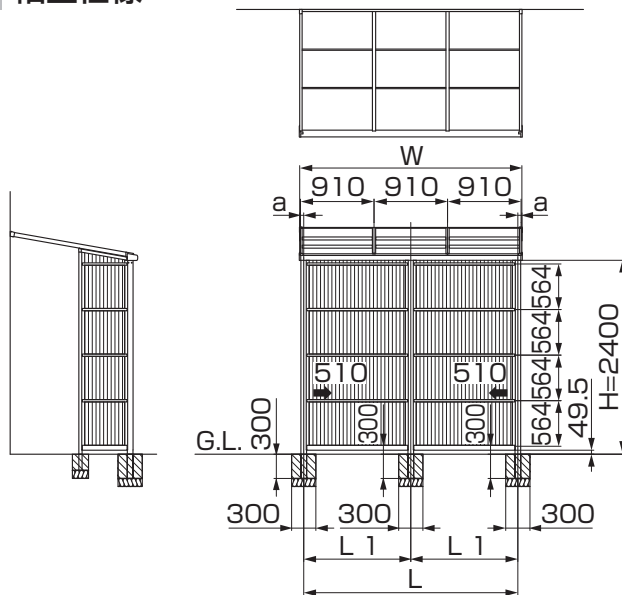


図1-1 側面図Fタイプ 図1-2 側面図Rタイプ

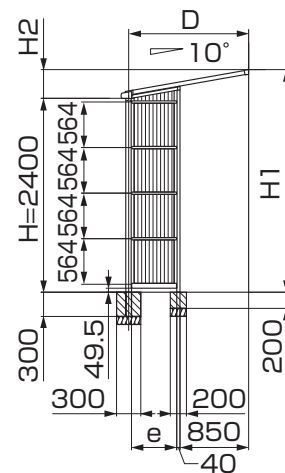
間口	W	L	L1
1.0間	1840	1740	-
1.5間	2750	2650	1325
2.0間	3660	3560	1780

出幅	D	Fタイプ		Rタイプ	
		H1	H2	H1	H2
3尺	885	2649	249	2854	454
4尺	1185	2702	302	2907	507
5尺	1485	2755	355	2960	560
6尺	1785	2808	408	3013	613

1-2 袖壁仕様



a : 柱芯～屋根端 (50 ≤ a ≤ 560)



間口	W	L	L1
1.0間	1840	1740	-
1.5間	2750	2650	1325
2.0間	3660	3560	1780

出幅	D	H1	H2	e
4尺	1185	2702	302	260
5尺	1485	2755	355	560
6尺	1785	2808	408	860

1-3 ヤード仕様

a : 柱芯～屋根端 (50 ≤ a ≤ 560)

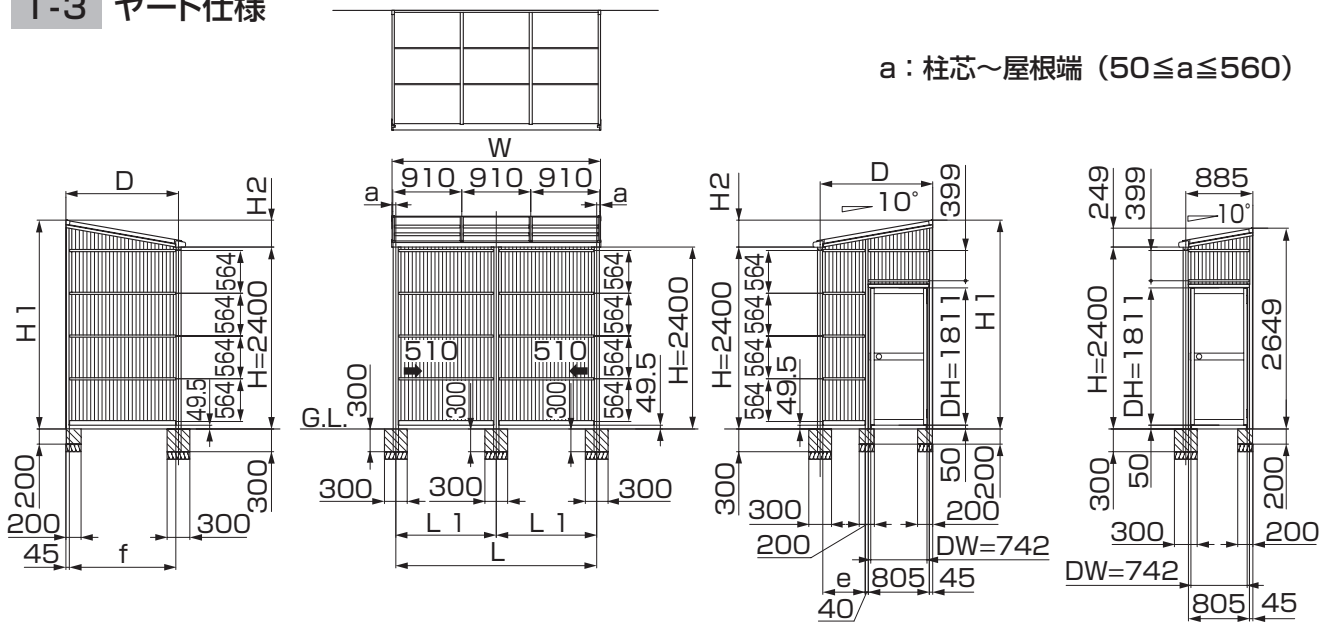


図1-3 側面図4・5・6尺

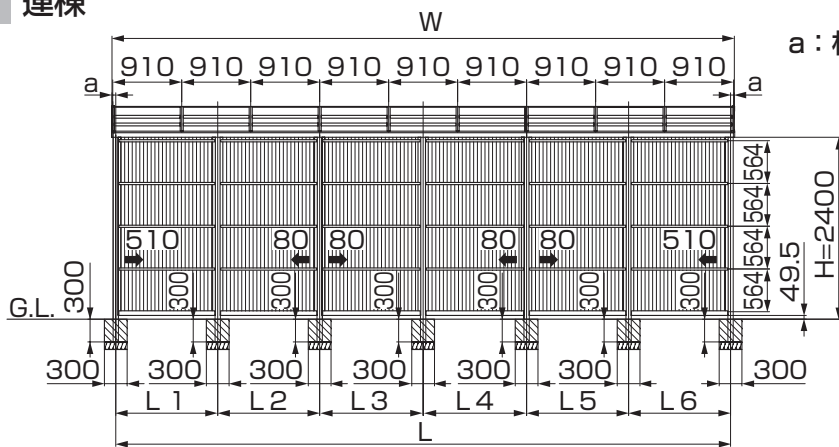
図1-4 側面図3尺

間口	W	L	L1
1.0間	1840	1740	-
1.5間	2750	2650	1325
2.0間	3660	3560	1780

出幅	D	H1	H2	e	f
3尺	885	2649	249	-	805
4尺	1185	2702	302	260	1105
5尺	1485	2755	355	560	1405
6尺	1785	2808	408	860	1705

1-4 連棟

a : 柱芯～屋根端 (50 ≤ a ≤ 560)



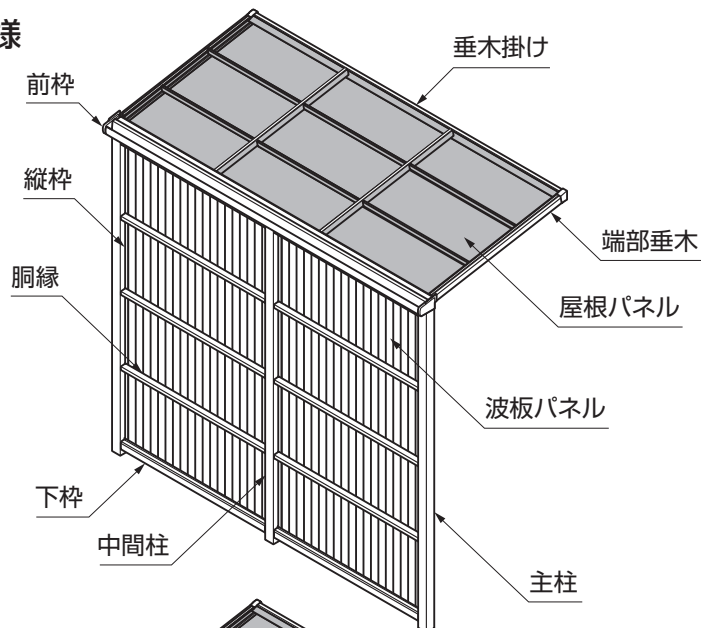
間口	W	L	L1	L2	L3	L4	L5	L6
2.5間 (1.0間+1.5間)	4570	4470	1780[1840]	1345[1740]	1345[1840]	-	-	-
3.0間 (1.5間+1.5間)	5480	5380	1345[1780]	1345[1840]	1345[1840]	1345[1780]	-	-
3.5間 (1.5間+2.0間)	6390	6290	1345[1780]	1345[1780]	1800[1840]	1800[1840]	-	-
4.0間 (2.0間+2.0間)	7300	7200	1780[1780]	1820[1840]	1820[1840]	1780[1780]	-	-
4.5間 (1.5間+1.5間+1.5間)	8210	8110	1345[1780]	1345[1780]	1365[1840]	1365[1840]	1345[1780]	1345[1780]
5.0間 (1.5間+2.0間+1.5間)	9120	9020	1345[1780]	1345[1780]	1820[1840]	1820[1840]	1345[1780]	1345[1780]

ポイント

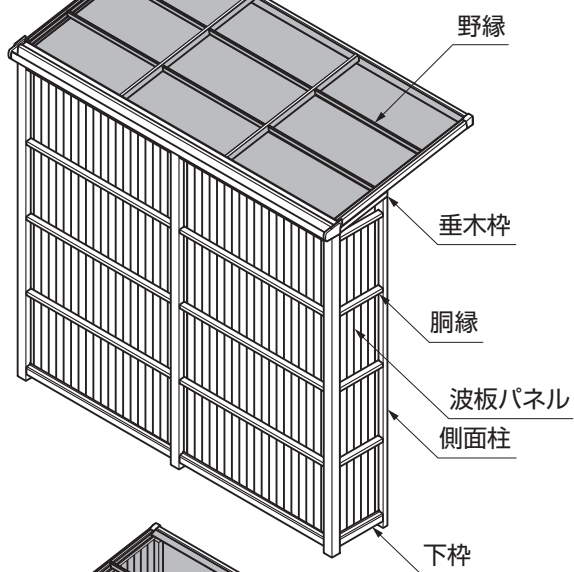
- L1～L6の[]寸法は柱を移動した場合の最大柱芯々距離です。
- 連棟部の柱の移動範囲は±80mmです。

2. 各部名称 ※1.0間の場合は、中間柱はありません。図は、1.5間5尺で説明しています。

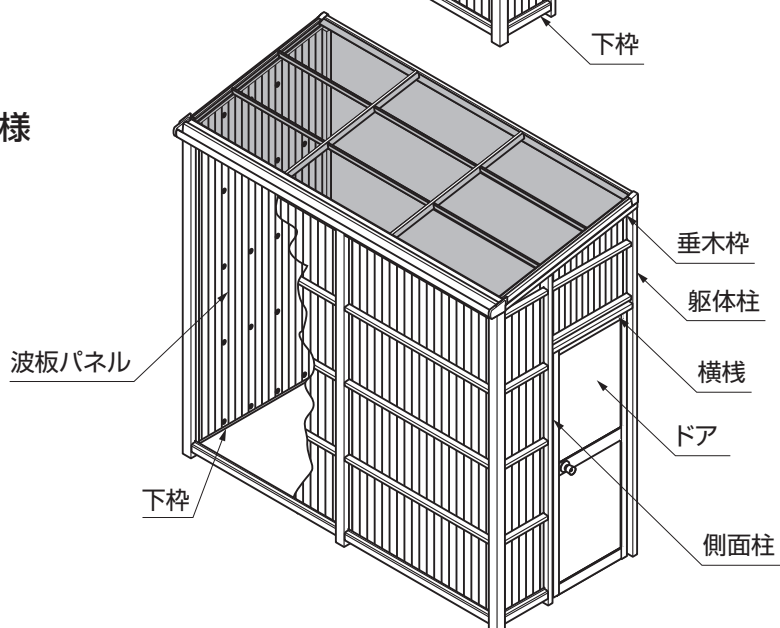
2-1 スクリーン仕様



2-2 袖壁仕様



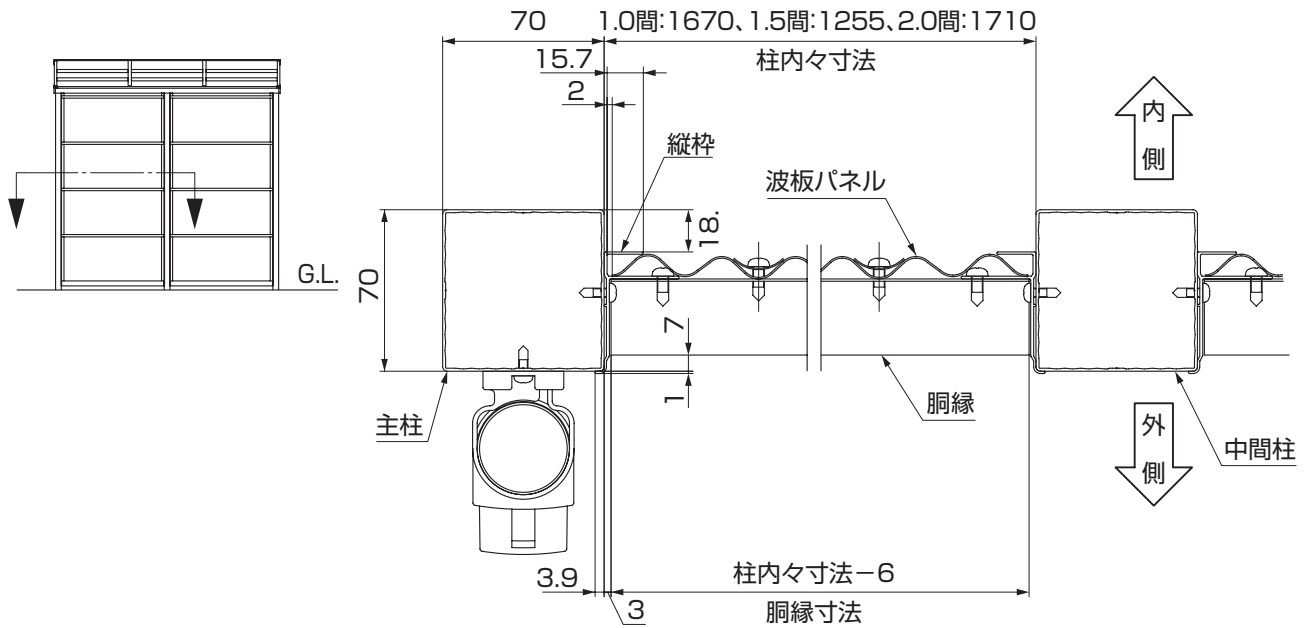
2-3 ヤード仕様



3. 断面納まり

1 基本寸法と各部名称

3-1 正面部 横断面図



3-2 正面部 縦断面図

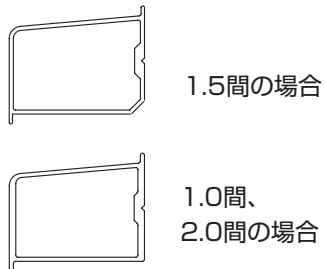
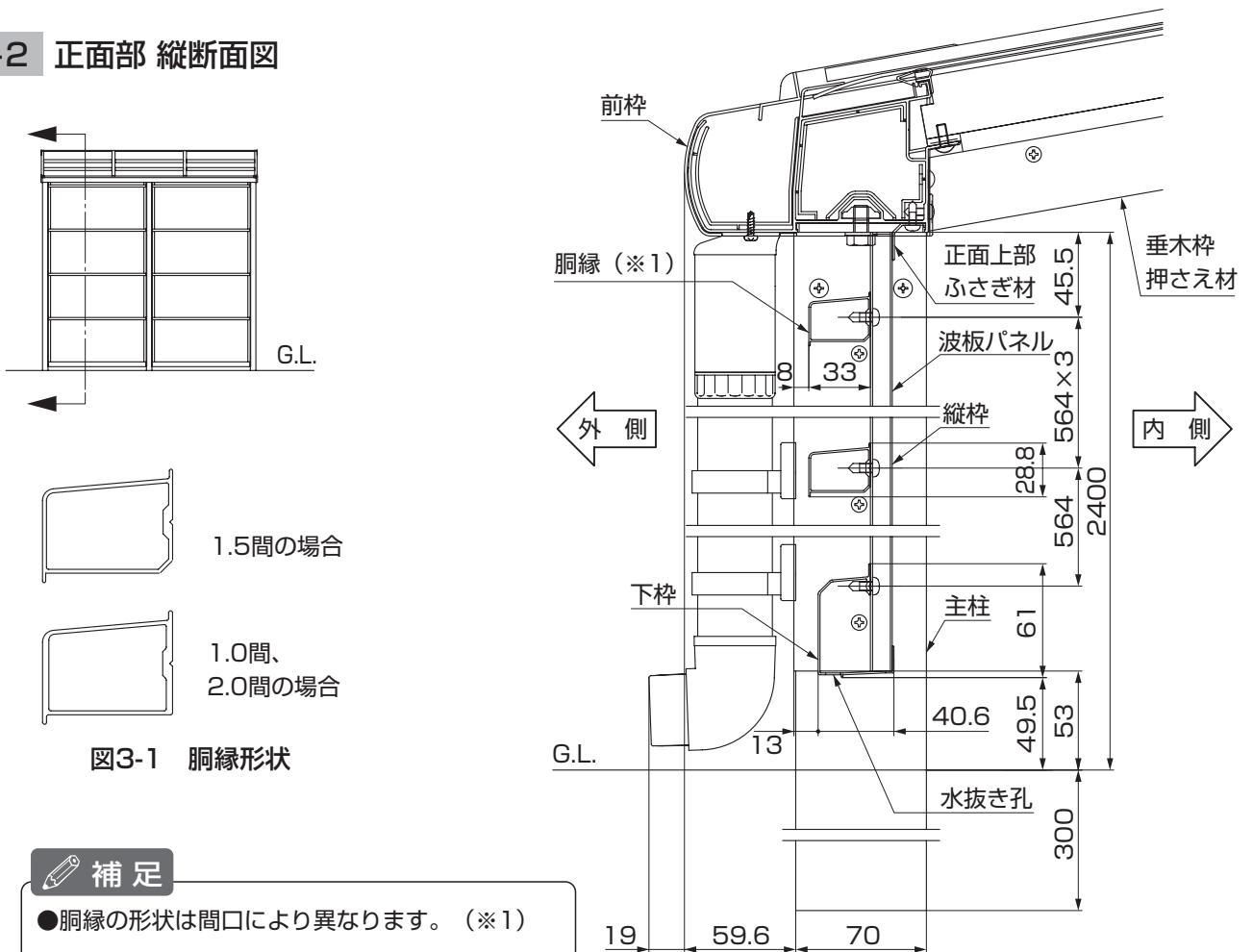


図3-1 胴縁形状

補足

● 胴縁の形状は間口により異なります。(※1)

3-3 側面部 横断面図

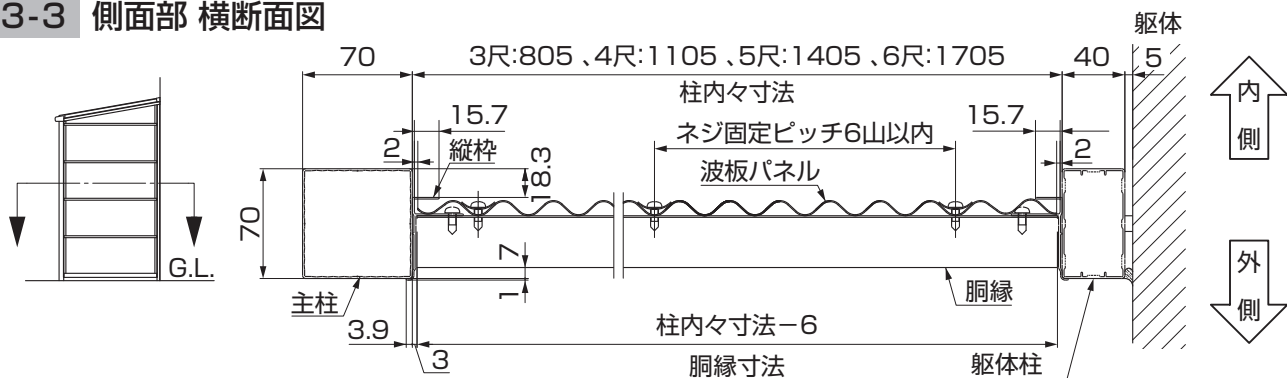


図3-2 側面FIX部横断面図

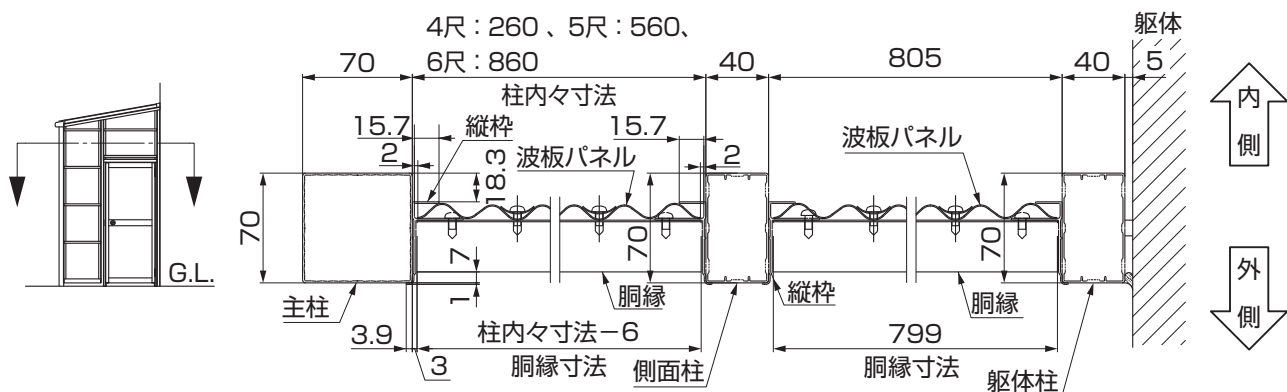


図3-3 側面ランマ部横断面図

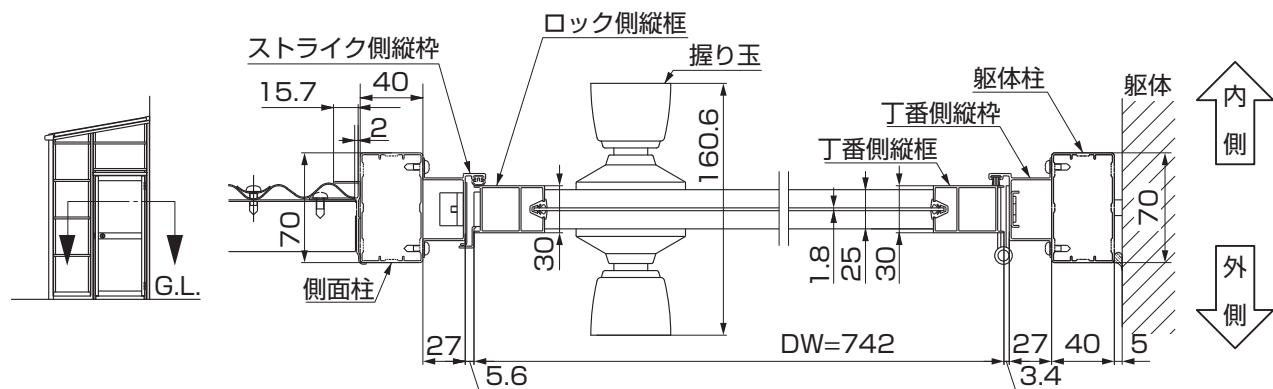


図3-4 側面ドア部横断面図 (4尺~6尺)

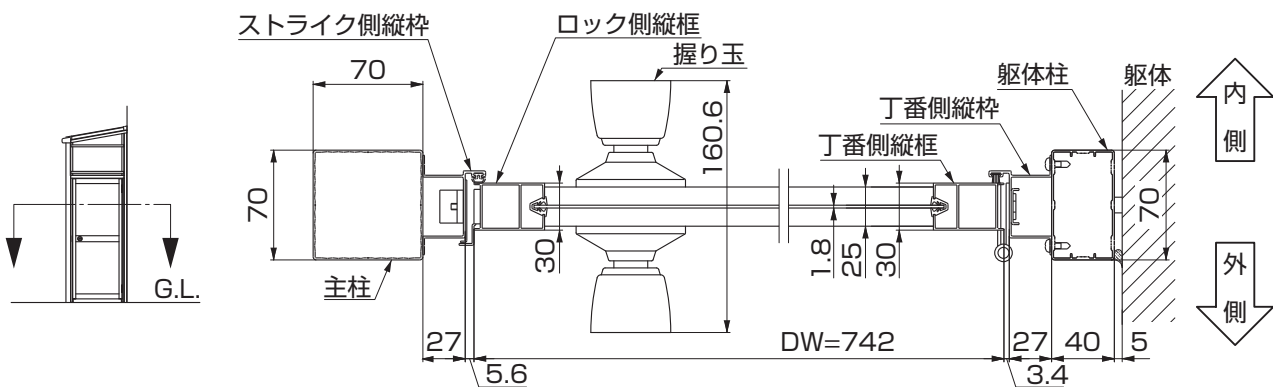


図3-5 側面ドア部横断面図 (3尺)

3. (つづき)

1 基本寸法と
各部分名称

3-4 側面部 縦断面図

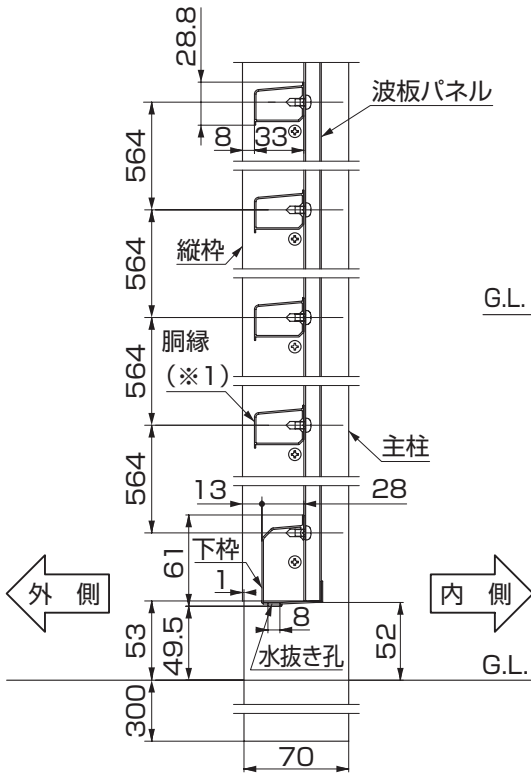
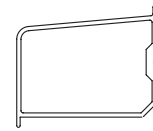
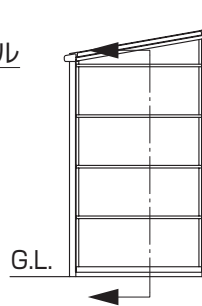
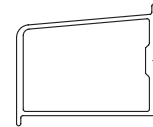


図3-6 側面FIX部縦断面図



FIX仕様6尺以外の場合



FIX仕様6尺の場合

図3-7 胴縁形状

補足

● 胴縁の形状は出幅により異なります。(※1)

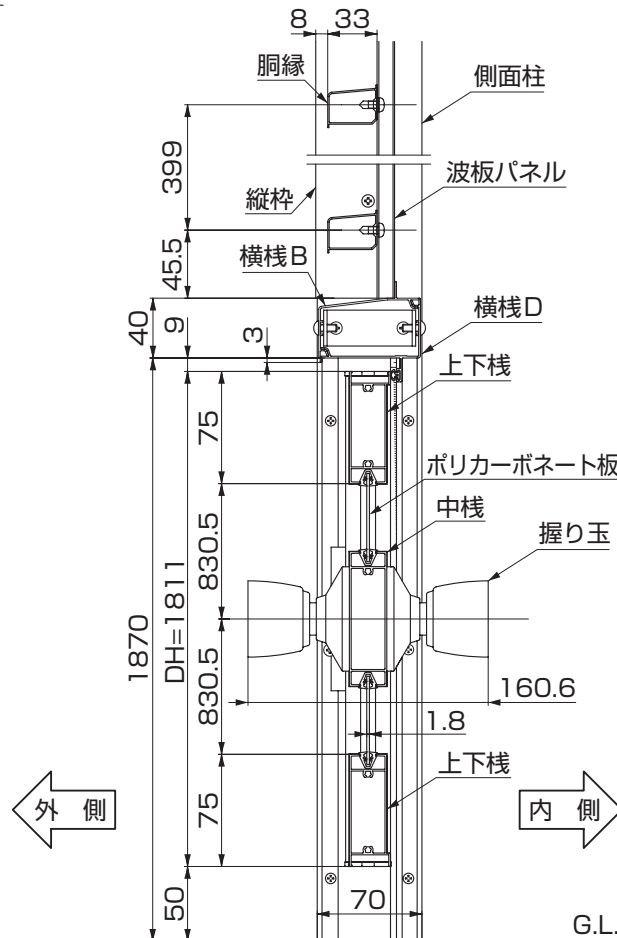
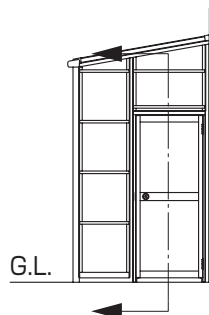


図3-8 側面ドア部縦断面図

3-5 垂木柵 断面図

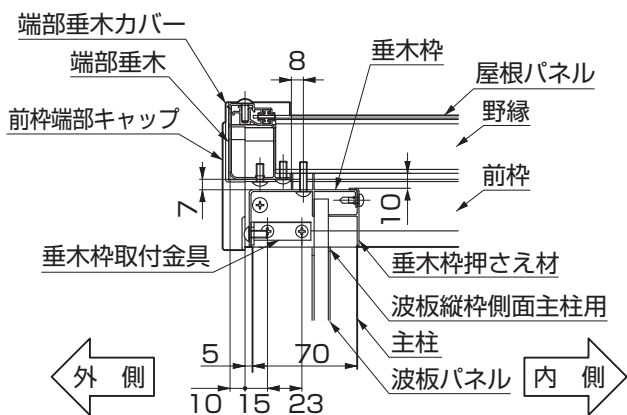


図3-9 垂木柵断面図 柱標準位置

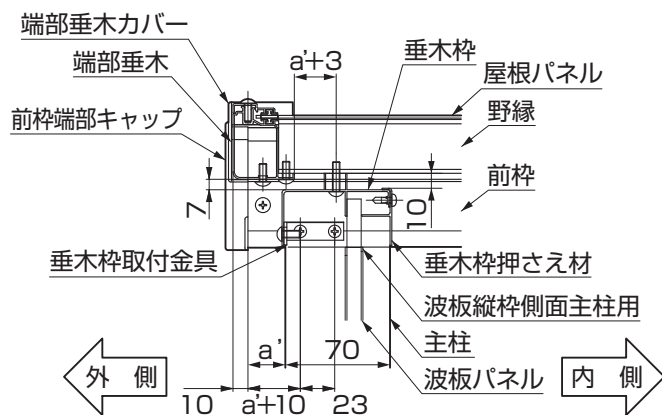
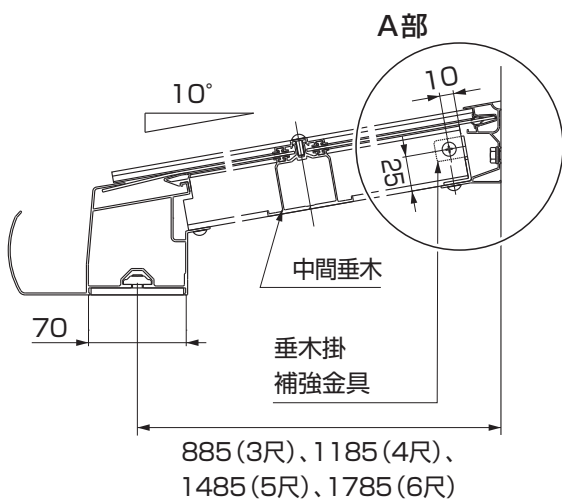
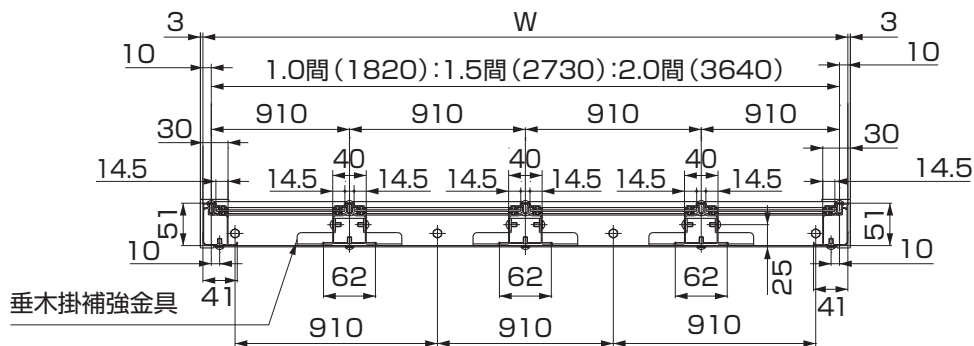


図3-10 垂木柵断面図 柱移動の場合

3-6 屋根1500タイプ断面図

※図は、Fタイプです。Rタイプも、A部は同じ納まりになります。
 ※屋根納まりは取付説明書<Z284>をご覧ください。



ポイント

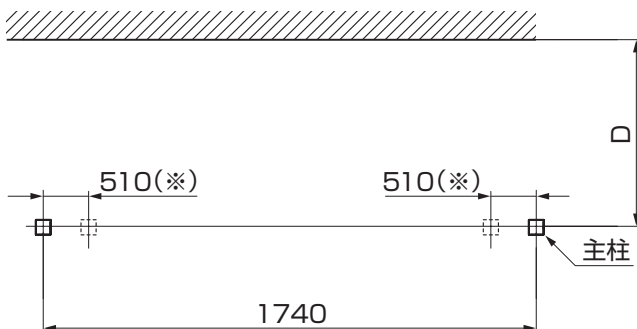
●A部・中間垂木の垂木掛け側に垂木掛補強金具が付きまます。

2 柱の位置出し

1. 単体 (1.0間~2.0間)

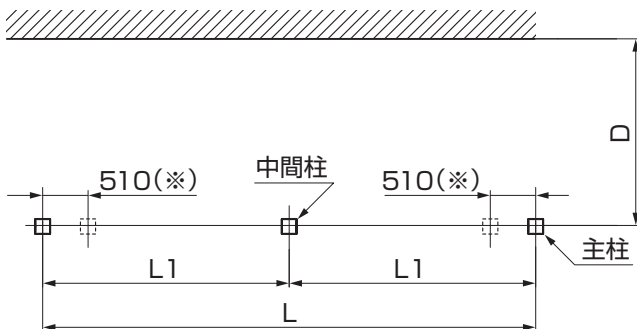
1-1 スクリーン仕様 ※主柱移動可能範囲は、510mmです。

(1) 1.0間



	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785

(2) 1.5間・2.0間



	1.5間	2.0間
L	2650	3560
L1	1325	1780

	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785

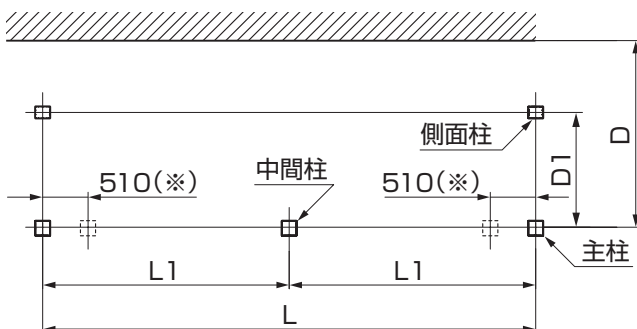
1-2 袖壁仕様 ※主柱移動可能範囲は、510mmです。

(1) 1.0間



	4尺	5尺	6尺
D	1185	1485	1785
D1	315	615	915

(2) 1.5間・2.0間



	1.5間	2.0間
L	2650	3560
L1	1325	1780

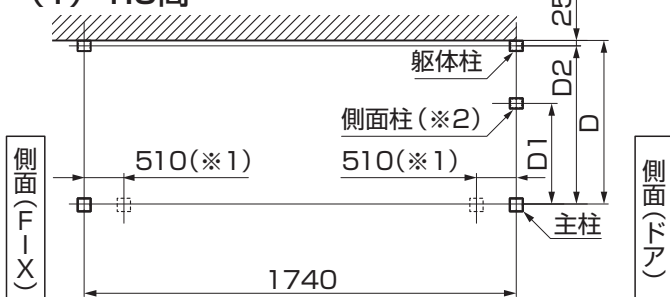
	4尺	5尺	6尺
D	1185	1485	1785
D1	315	615	915

1-3 ヤード仕様

※1 主柱移動可能範囲は、510mmです。

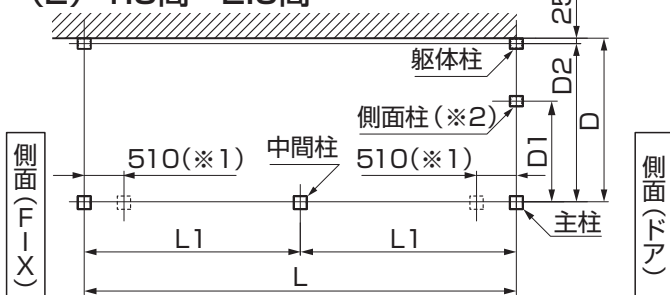
※2 側面柱は3尺の場合、使用しません。

(1) 1.0間



	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785
D1	0	315	615	915
D2	860	1160	1460	1760

(2) 1.5間・2.0間

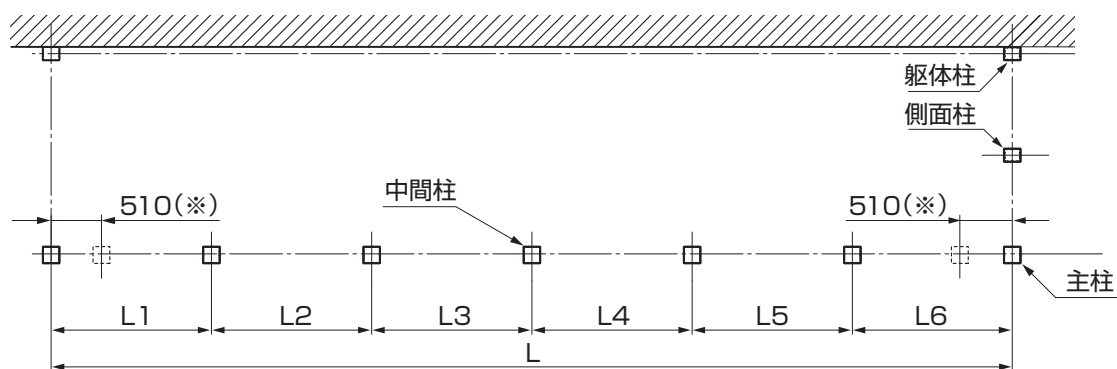


	1.5間	2.0間
L	2650	3560
L1	1325	1780

	3尺	4尺	5尺	6尺
D	885	1185	1485	1785
D1	0	315	615	915
D2	860	1160	1460	1760

2. 連棟 (2.5間～5.0間)

※ 主柱移動可能範囲は、510mmです。



間口	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
組合せ	1.0+1.5	1.5+1.5	1.5+2.0	2.0+2.0	1.5+1.5+1.5	1.5+2.0+1.5
L	4470	5380	6290	7200	8110	9020
L1	1780[1840]	1345[1780]	1345[1780]	1780[1780]	1345[1780]	1345[1780]
L2	1345[1740]	1345[1840]	1345[1780]	1820[1840]	1345[1780]	1345[1780]
L3	1345[1840]	1345[1840]	1800[1840]	1820[1840]	1365[1840]	1820[1840]
L4	-	1345[1780]	1800[1840]	1780[1780]	1365[1840]	1820[1840]
L5	-	-	-	-	1345[1780]	1345[1780]
L6	-	-	-	-	1345[1780]	1345[1780]

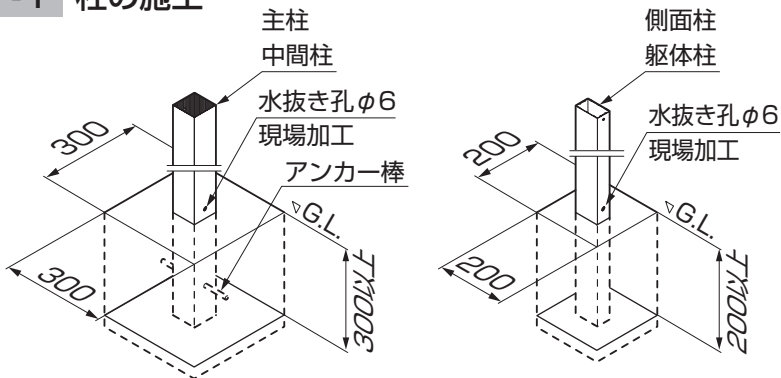
ポイント

- 側面の柱位置は単体の各仕様と同じです。
- []寸法は柱を移動できる最大寸法です。
- 連棟部の柱の移動範囲は±80mmです。

3 本体の施工

1. テラス本体の施工

1-1 柱の施工

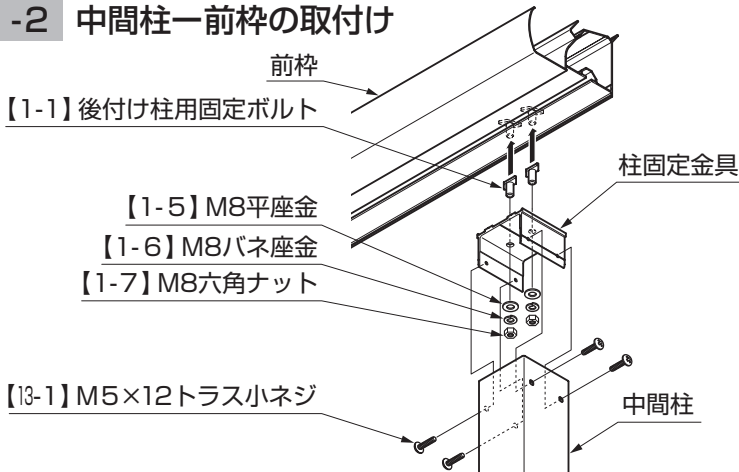


- ①「 2 柱の位置出し 」を参考に主柱、中間柱、側面柱、躯体柱の基礎穴を掘ってください。
- ②各柱にφ6の水抜き孔をあけてください。

ポイント

- サンクテラスIIと主柱の標準位置が異なります。
- 基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水勾配をつけてください。

1-2 中間柱—前枠の取付け

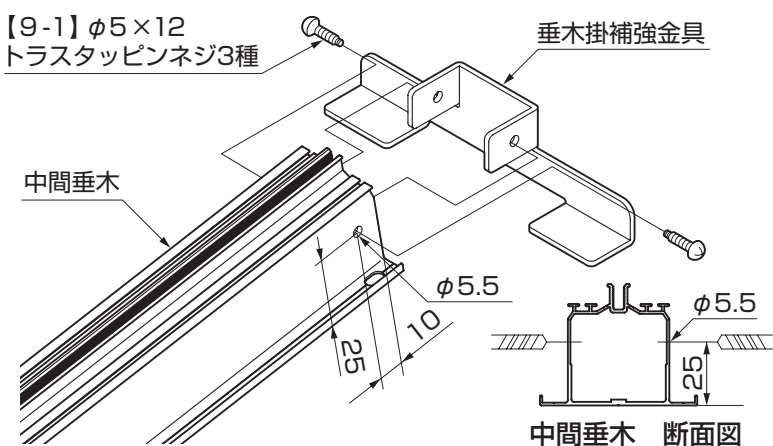


- ①柱固定金具と前枠を【1-1】、【1-5】、【1-6】、【1-7】で固定してください。
- ②柱固定金具と中間柱を【13-1】で固定してください。

補足

- テラス本体と中間柱を同時に施工する場合、中間柱は主柱と同様の取付けを行ってください。その時は、柱取付け裏板を使用してください。

1-3 垂木掛補強金具の取付け ※サンクストックヤード1500タイプを施工する場合の作業です。

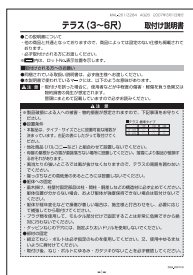


- ①中間垂木に垂木掛補強金具取付け用のφ5.5の孔をあけてください。
- ②垂木掛補強金具を中間垂木に、【9-1】で取付けてください。

ポイント

- 垂木掛補強金具に同梱のブランドラベルは「 8-2 ブランドラベルの貼付け 」にしたがって、前枠に貼付けてください。

1-4 テラス本体の施工



- ①サンクテラスIIテラス取付け説明書<Z284>を参照の上、テラス部を施工してください。

2. 正面部の取付け

2-1 縦枠の取付け

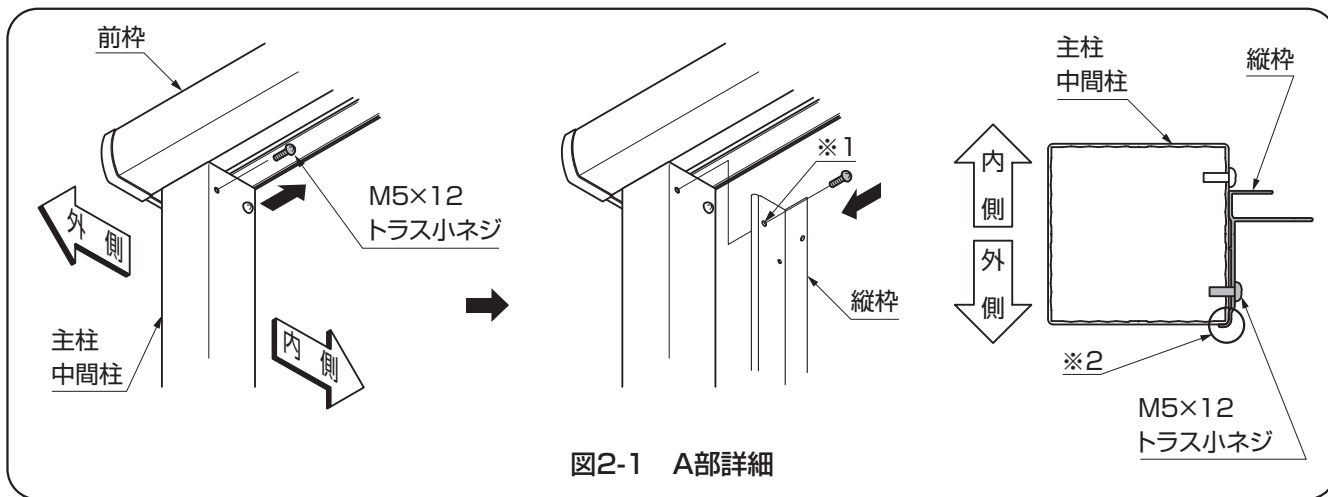


図2-1 A部詳細

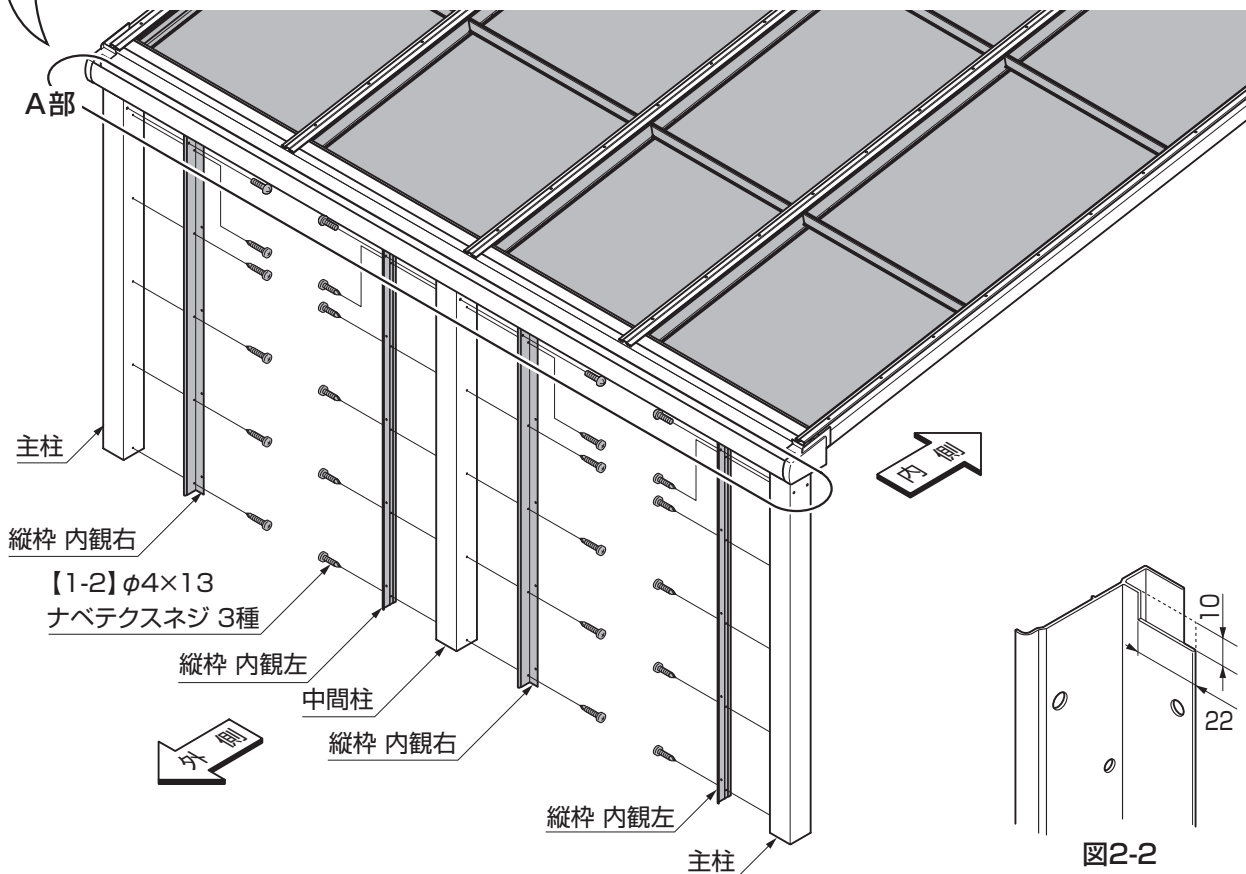


図2-2

①主柱または中間柱の上部に固定している外側のM5×12トラス小ネジを外してください。

ポイント

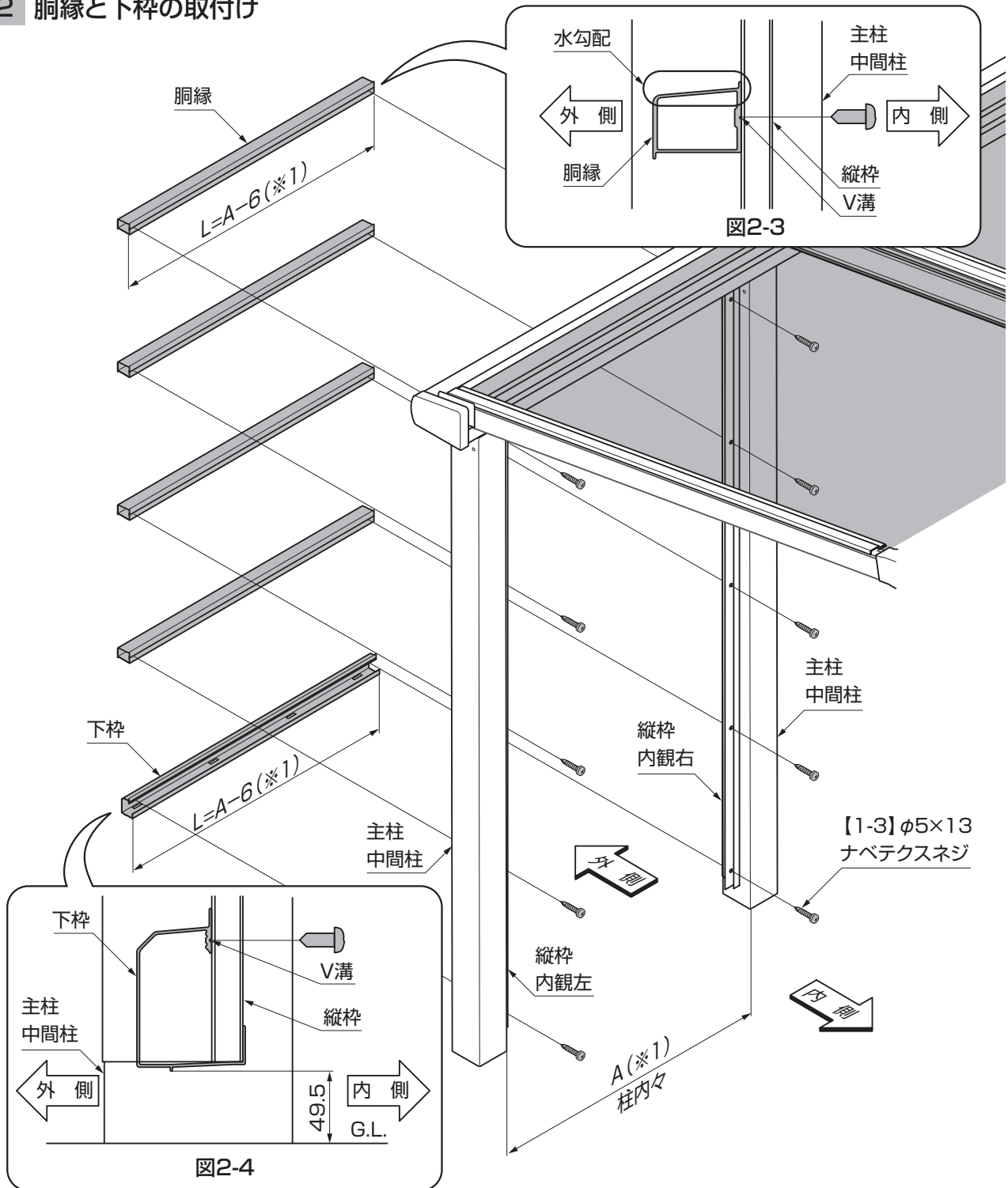
- 縦枠には上下方向があります。端部にφ6の孔がある方が上側です。(※1)
- 主柱または中間柱の外側角部に、縦枠のフィンすきまが出ないように合わせてください。(※2)
- サンクテラスⅡに後付けする場合などで、柱固定金具固定用の六角ボルトが表に出ているタイプに取り付ける場合は、あらかじめ縦枠の上端部に切欠き加工をしてください。(図2-2参照)

②縦枠の上端部の孔に①で外したM5×12トラス小ネジを通して、縦枠を柱に固定してください。

③主柱または中間柱と縦枠を、【1-2】で固定してください。

2. (つづき)

2-2 胴縁と下枠の取付け

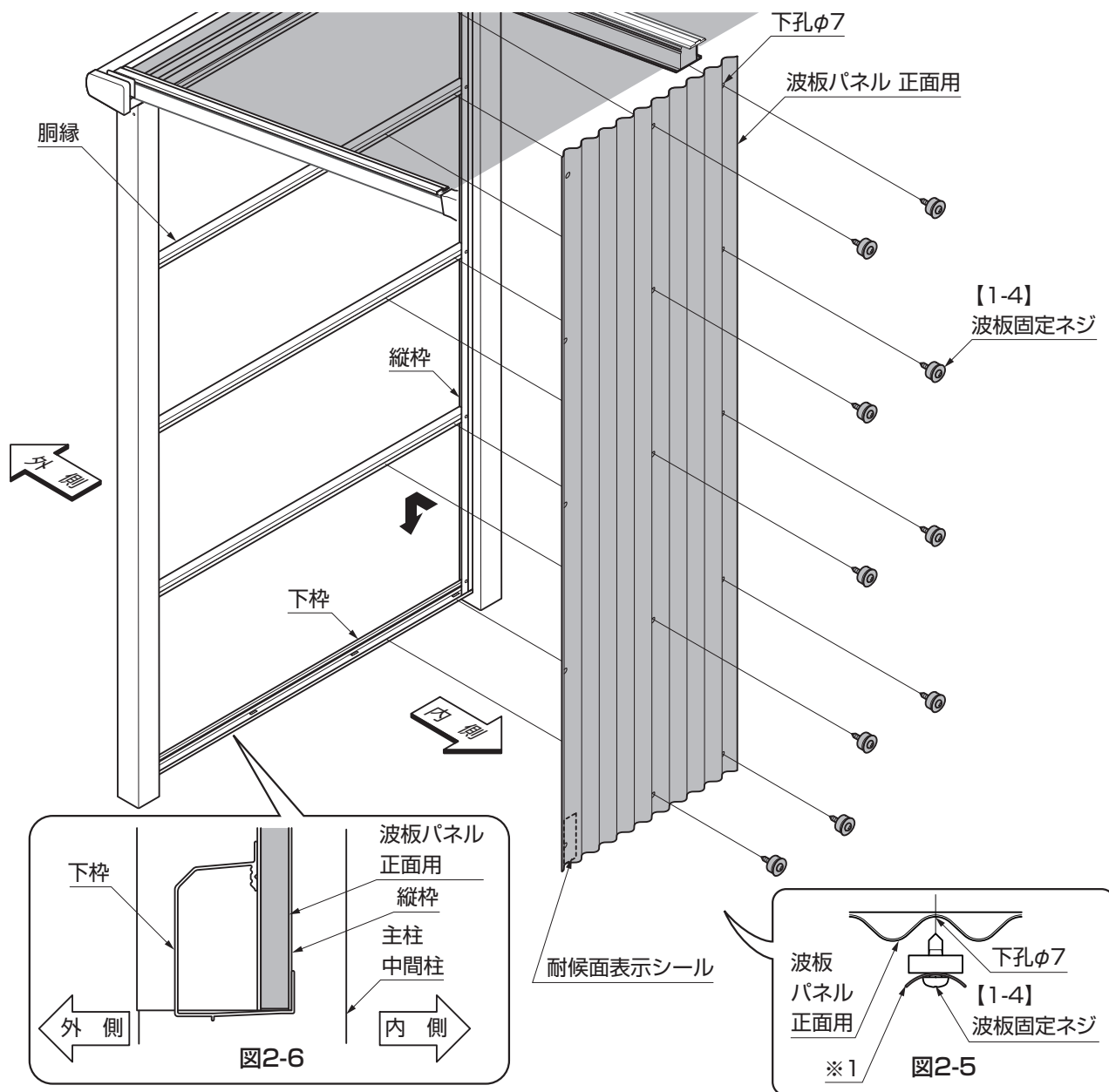


ポイント

- 胴縁は水勾配面を上向きに取付けてください。(図2-3参照)
- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法Aを計測し、胴縁と下枠を切詰めてください。(※1)

- ① 胴縁のV溝を縦枠の孔にあわせてから、胴縁を縦枠に、【1-3】で取付けてください。(図2-3参照)
- ② 下枠のV溝を縦枠の孔にあわせてから、下枠を縦枠に、【1-3】で取付けてください。(図2-4参照)

2-3 波板パネルの加工と取付け



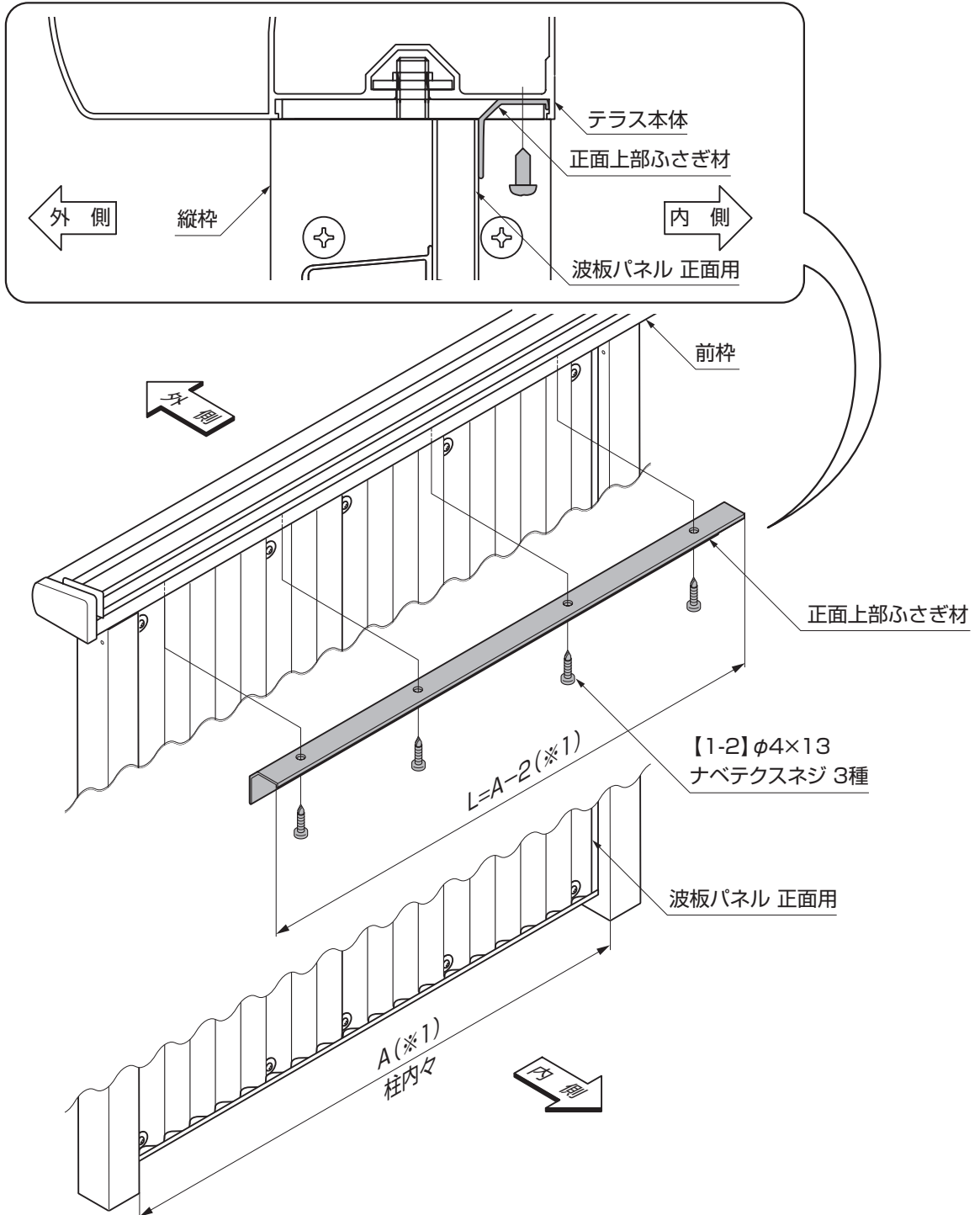
ポイント

- 波板パネルに貼ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ネジは、波板の谷部に、φ7の下孔を加工してから固定してください。(図2-5参照)
- 波板固定ネジは、座金部分(※1)を波板側に押さえつけながら取付けてください。(図2-5参照)
- 波板固定ネジの取付ピッチは、6山以内にしてください。
- 冒頭の<波板パネルの施工について>を参照して、波板パネルを加工してください。

- ① 波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ② 波板パネルを縦枠と下枠に差込み、仮置きしてください。
- ③ 下枠、胴縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下孔加工用の印をつけてください。
- ④ 波板パネルにφ7の下孔を加工してください。
- ⑤ 波板を下枠と胴縁に、【1-4】で固定してください。

2. (つづき)

2-4 正面上部ふさぎ材の取付け



ポイント

- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法を計測し正面上部ふさぎ材を切詰めてください。(※1)
- サンクテラスⅡに後付けする場合などで、柱固定金具固定用の六角ボルトが表に出ているタイプに取付ける場合は、 $L=A-66$ です。(※1)

① 正面上部ふさぎ材を前枠の下面に、【1-2】で取付けてください。

3. 袖壁仕様・ヤード仕様（ドア袖壁）の取付け

※図はテラス内観左取付けの場合を示します。内観右の場合は左右が反対になります。

3-1 垂木柵取付金具の取付け

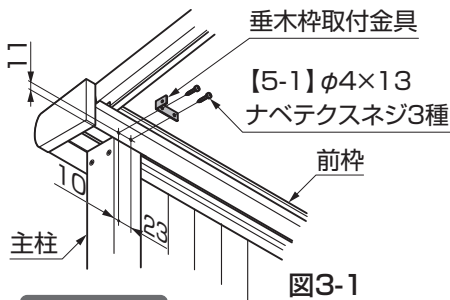


図3-1

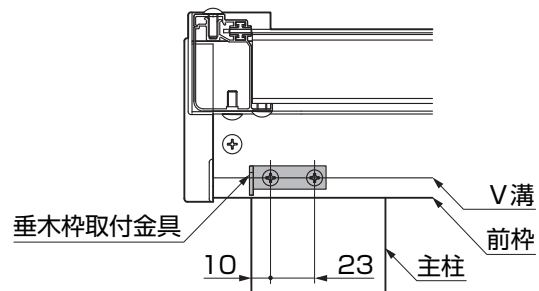


図3-2 主柱との位置関係

ポイント

●垂木柵取付金具の取付位置は、主柱の位置により変動します。（図3-2参照）

- ①前柵に主柱の外側面から10mmの位置のV溝に、ネジ固定箇所の印をつけてください。（図3-1参照）
- ②垂木柵取付金具を前柵に、【5-1】で取付けてください。

3-2 垂木柵と側面柱の取付け

(1) 袖壁仕様の場合

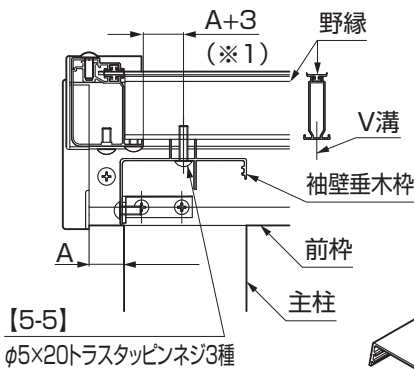


図3-3

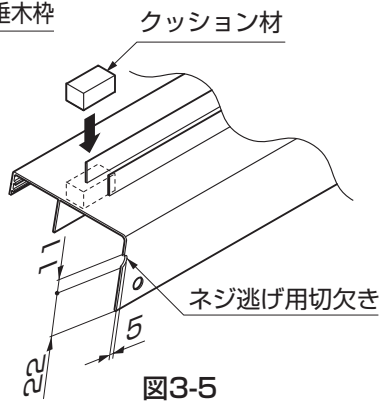


図3-5

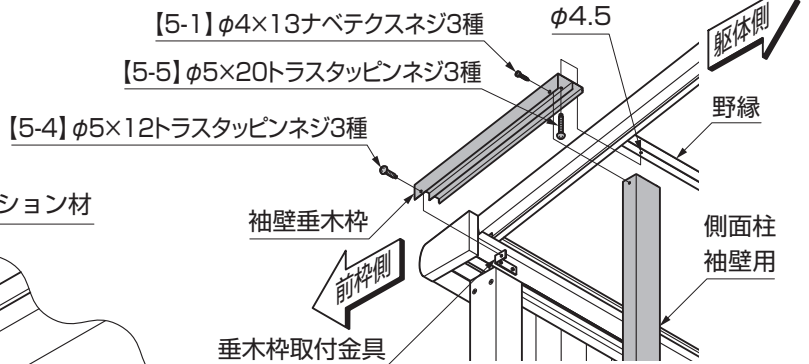


図3-4

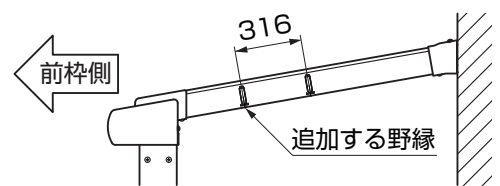


図3-6 出幅4尺の追加野縁位置

- ①野縁に袖壁垂木柵取付用の下孔φ4.5を加工してください。

ポイント

- 野縁の下孔加工位置（※1）は、主柱の位置により変動します。前柵の形材端部から主柱外面までの寸法Aを計測して、取付位置を確認してください。（図3-3参照）
- 出幅4尺の場合は、野縁の追加が必要です。標準で取付いている野縁から316mm前柵側の端部垂木・中間垂木にφ5.5の下孔を加工して、野縁を取付けてください。（図3-6参照）
- 主柱の位置により、前柵端部キャップ固定ネジと垂木柵が干渉する場合があります。その場合は、垂木柵をネジ頭分だけ切欠いて取付けてください。（図3-5参照）

- ②袖壁垂木柵の前柵側上面のフィン切欠き部にクッション材を貼付けてください。（図3-5参照）

- ③袖壁垂木柵を垂木柵取付金具に【5-4】で、野縁に【5-5】で取付けてください。

- ④側面柱袖壁用を袖壁垂木柵に【5-1】で取付けてください。

ポイント

- 側面柱袖壁用には上下方向があります。端部に孔加工がある方が上側です。

3. (つづき)

(2) ヤード仕様の場合

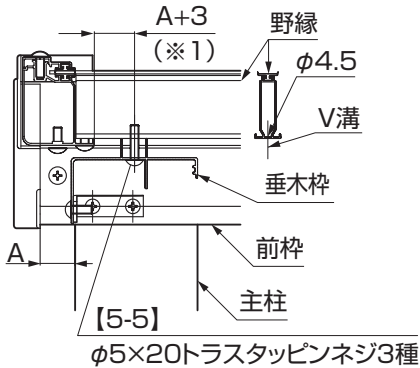


図3-7 主柱との位置関係

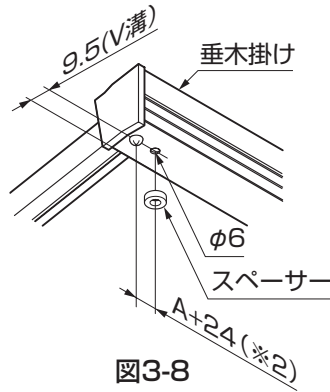


図3-8

- 【5-6】 M5 六角ナット
- 【5-8】 M5 バネ座金
- 【5-7】 M5 平座金

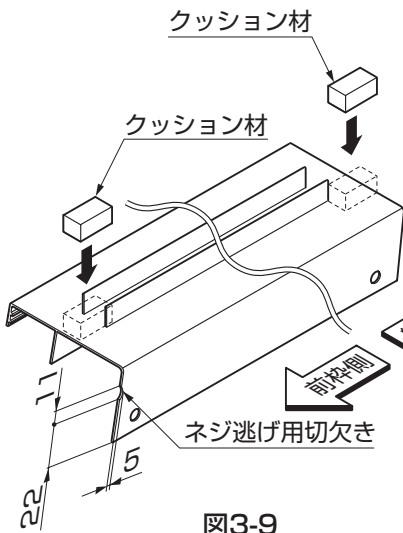


図3-9

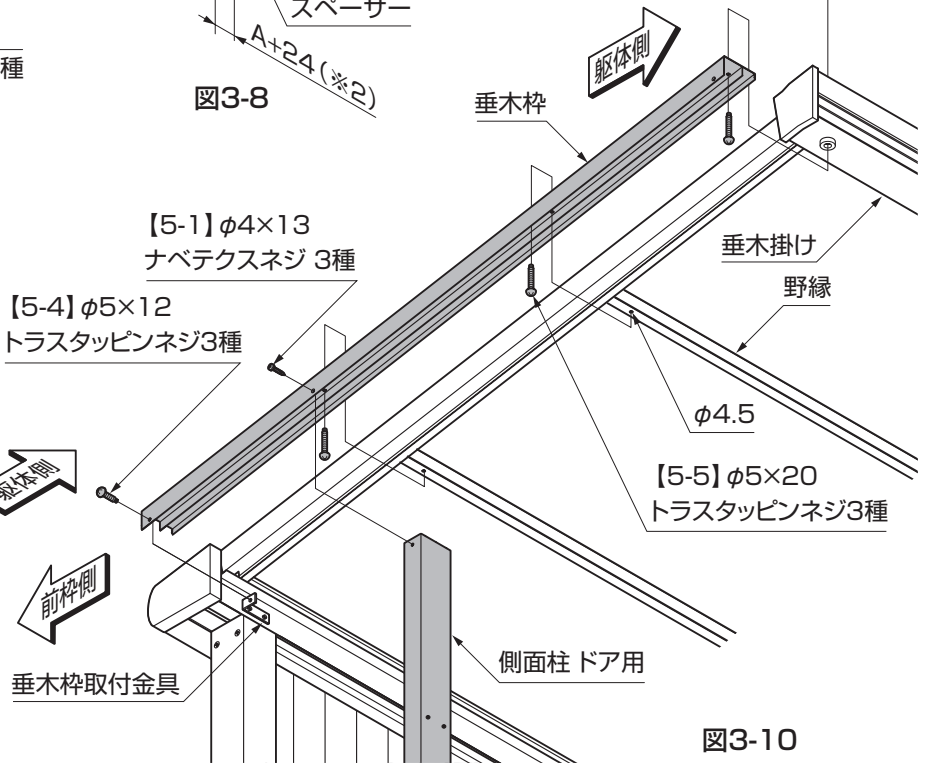


図3-10

- ①野縁に垂木枠取付用の下孔φ4.5を加工してください。(図3-7参照)
- ②垂木掛けに垂木枠取付用の下孔φ6を加工してください。(図3-8参照)
- ③垂木掛けの下面の②で加工した孔に合わせて、スペーサーを貼付けてください。

ポイント

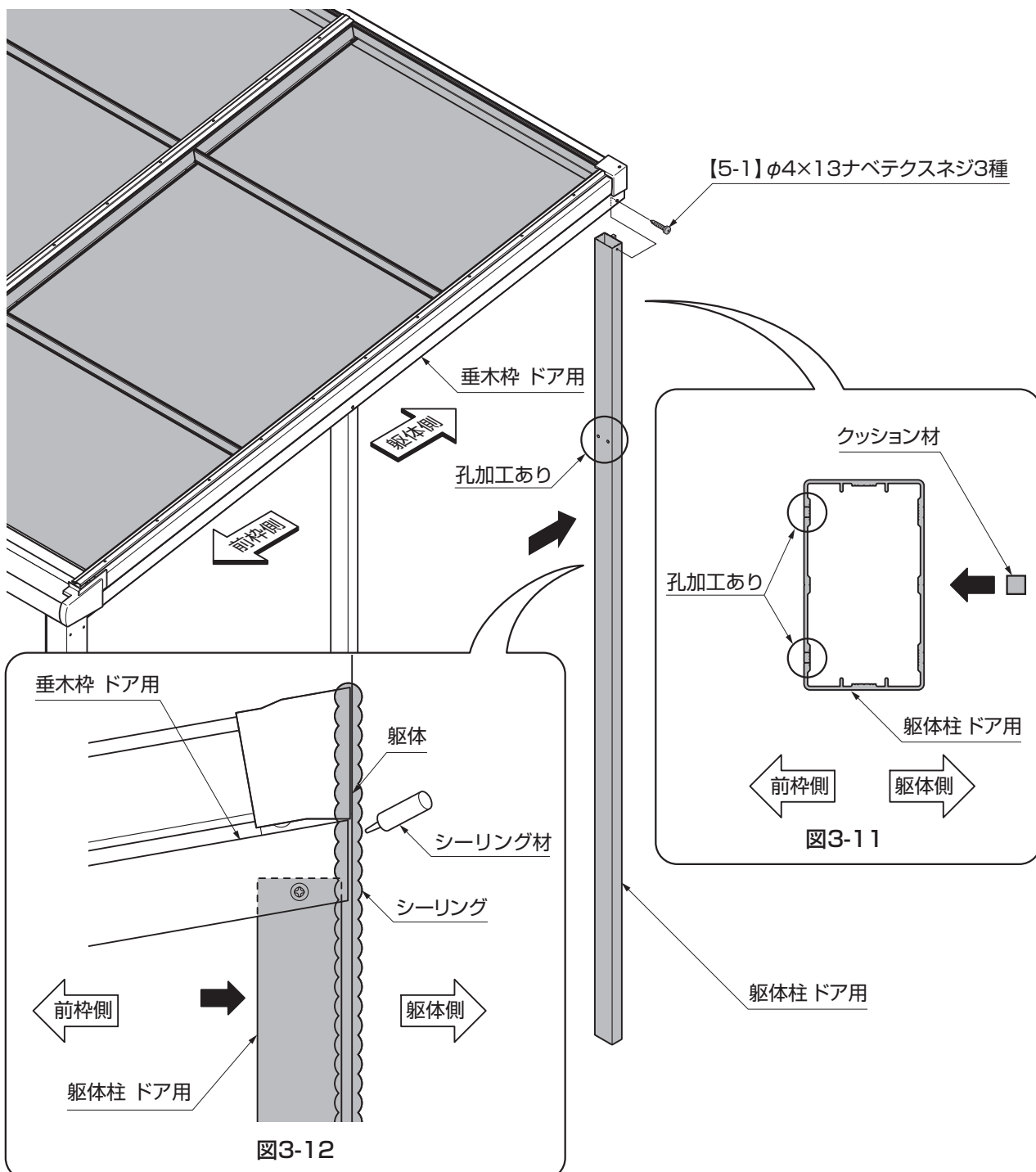
- 野縁と垂木掛けの下孔加工位置(※1、※2)は、主柱の位置により変動します。前枠の型材端部から主柱外面までの寸法Aを計測して、取付位置を確認してください。(図3-7、図3-8参照)
- 主柱の位置により、前枠端部キャップ固定ネジと垂木枠が干渉する場合があります。その場合は、垂木枠をネジ頭分だけ切欠いて取付けてください。(図3-9参照)

- ④垂木枠の両端部上面のフィン切欠き部にクッション材を貼付けてください。クッション材は切断して使用してください。(図3-9参照)
- ⑤垂木枠を垂木枠取付金具に【5-4】で、野縁に【5-5】で、垂木掛けに【5-5】、【5-6】、【5-7】、【5-8】で取付けてください。
- ⑥側面柱ドア用を垂木枠に【5-1】で取付けてください。

ポイント

- 側面柱ドア用には取付方向があります。端部に孔加工がある方が上側、孔加工がない面が前枠側です。

3-3 躯体柱 ドア用の取付け ※ヤード仕様の場合の作業です。袖壁仕様の場合は、必要ありません。



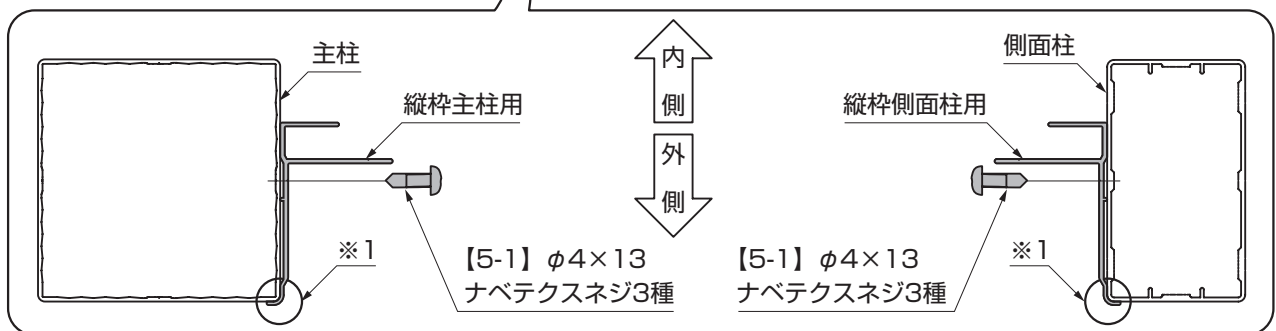
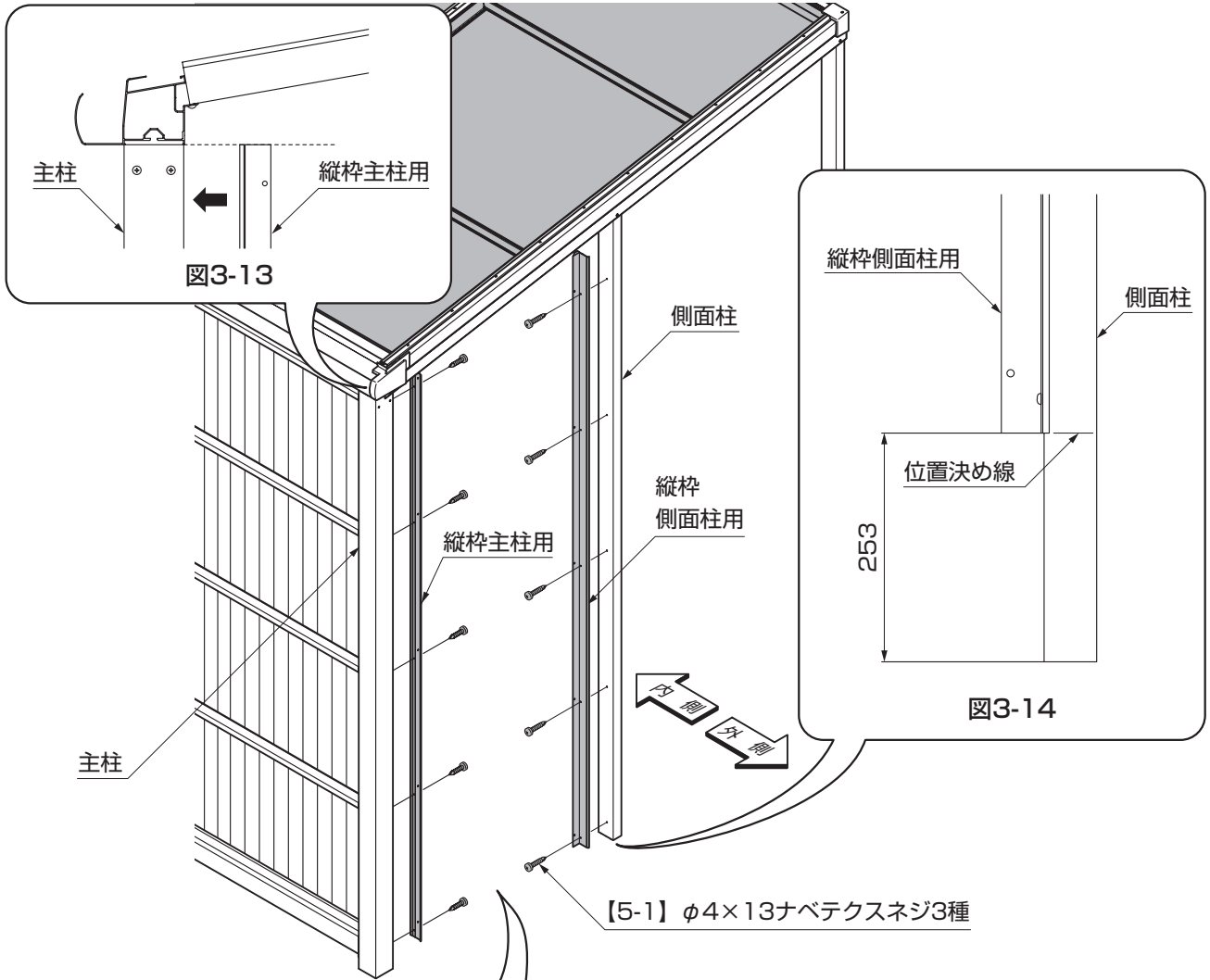
ポイント

- 躯体柱 ドア用には取付方向があります。端部に孔加工がある方を上側に、孔加工がない面を躯体側に取付けてください。(図3-11参照)
- 躯体柱 ドア用の基礎コンクリート硬化後に、躯体柱 ドア用と躯体のすき間をシーリングしてください。(図3-12参照)

① 躯体柱 ドア用の躯体側面にクッション材を貼付けて、躯体に押しつけながら垂木枠 ドア用に、【5-1】で取付けてください。

3. (つづき)

3-4 縦枠の取付け ※図はヤード仕様で説明していますが、袖壁仕様も同様です。

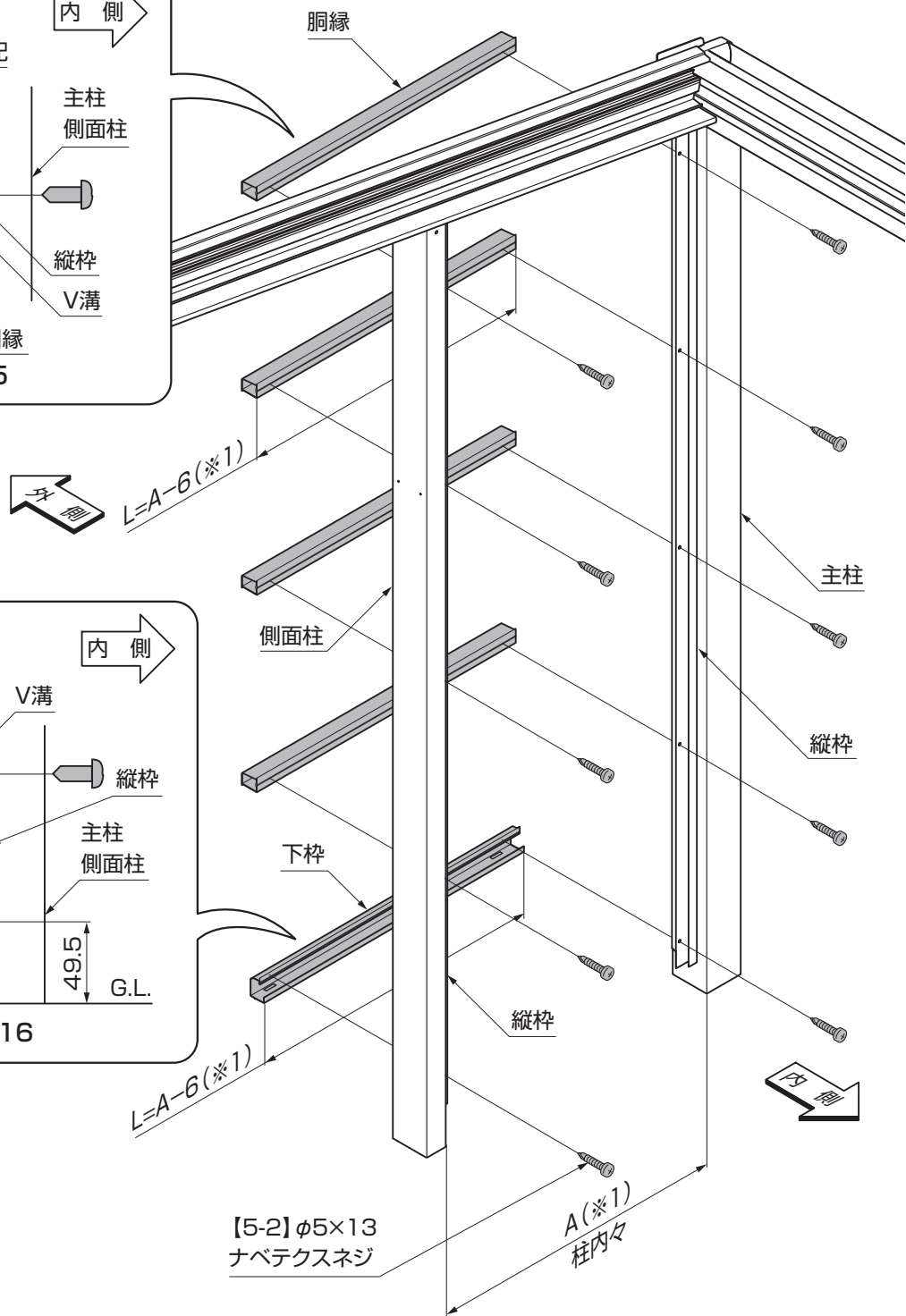
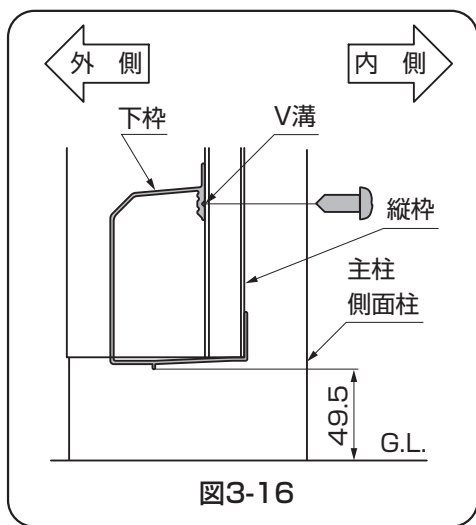
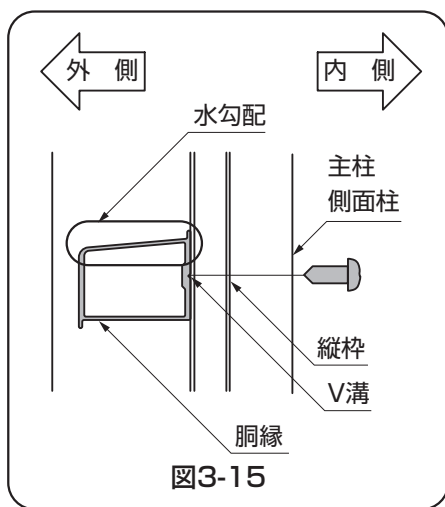


ポイント

- 縦枠主柱用と縦枠側面柱用は長さが異なります。短い方が縦枠主柱用です。
- 主柱または側面柱の外側角部に、縦枠のフィンがすきまが出ないように合わせてください。(※1)

- ①縦枠主柱用を主柱に当て、上側に突き当たった位置で、縦枠主柱用を主柱に【5-1】で取付けてください。(図3-13参照)
- ②側面柱の下端部から253mmの位置に縦枠位置決めのための線を鉛筆で引いてください。(図3-14参照)
- ③縦枠側面柱用を側面柱に当て、②で引いた線に縦枠の下面を合わせて、縦枠側面柱用を側面柱に【5-1】で取付けてください。

3-5 胴縁と下枠の取付け ※図はヤード仕様で説明していますが、袖壁仕様も同様です。



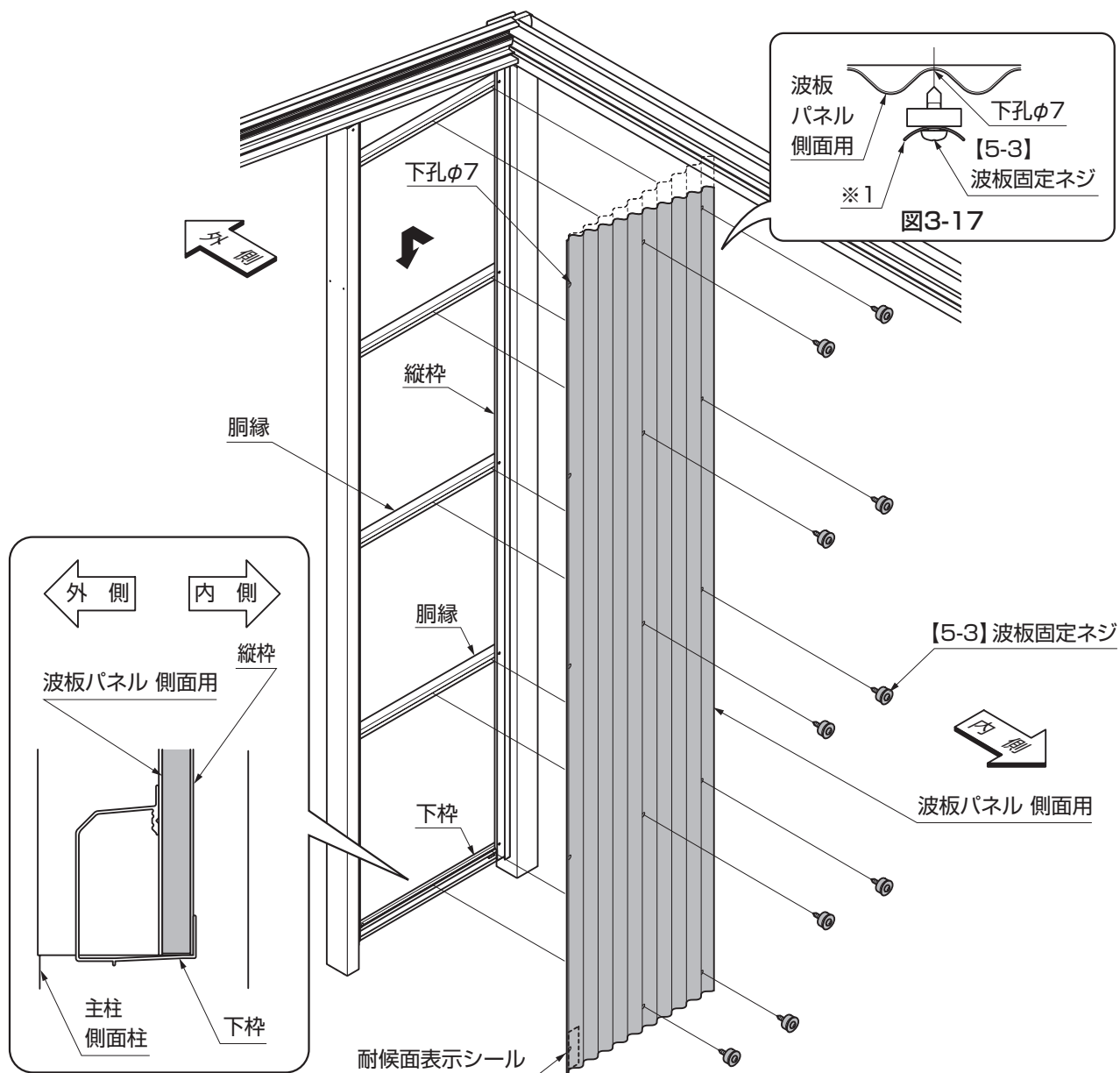
ポイント

- 胴縁は水勾配面を上向きに取付けてください。(図3-15参照)
- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法を計測し胴縁と下枠を切詰めてください。(*1)

- ① 胴縁のV溝を縦枠の孔にあわせてから、胴縁を縦枠に、【5-2】で取付けてください。(図3-15参照)
- ② 下枠のV溝を縦枠の孔にあわせてから、下枠を縦枠に、【5-2】で取付けてください。(図3-16参照)

3. (つづき)

3-6 波板パネルの加工と取付け ※図はヤード仕様で説明していますが、袖壁仕様も同様です。

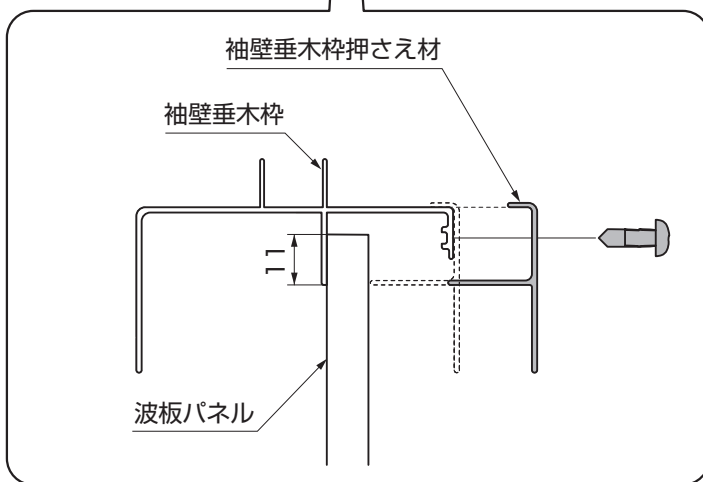
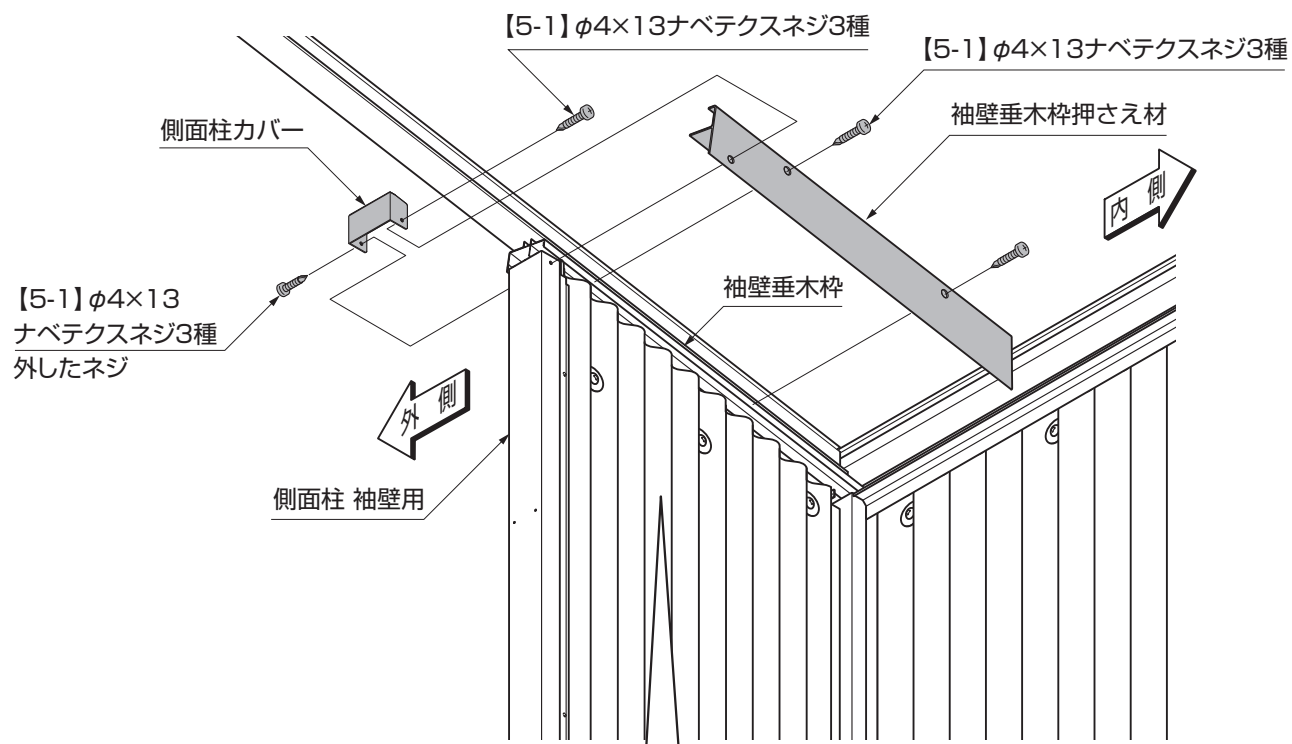


ポイント

- 波板パネルに貼ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ネジは、波板の谷部に、φ7の下孔を加工してから固定してください。(図3-17参照)
- 波板固定ネジは、座金部分(※1)を波板側に押さえつけながら取付けてください。(図3-17参照)
- 波板固定ネジの取付ピッチは、6山以内になしてください。
- 冒頭の<波板パネルの施工について>を参照して、波板パネルを加工してください。

- ①波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ②波板パネルを縦枠と下枠に差込み、仮置きしてください。
- ③下枠、胴縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下孔加工用の印をつけてください。
- ④波板パネルにφ7の下孔を加工してください。
- ⑤波板を下枠と胴縁に【5-3】で固定してください。

3-7 垂木拵押さえ材と側面柱カバーの取付け ※袖壁仕様の場合の作業です。



- ① 袖壁垂木拵押さえ材を袖壁垂木に、【5-1】で取付けてください。
- ② 袖壁垂木と側面柱を取付けているネジをはずし、側面柱カバーを外したネジと【5-1】で取付けてください。

 補足

●ヤード仕様の場合は、ランマ部の取付け後に垂木拵押さえ材を取付けます。

4. ランマ部の取付け

※図はテラス内観左取付けの場合を示します。
内観右の場合は左右が反対になります。

4-1 横棧の取付け

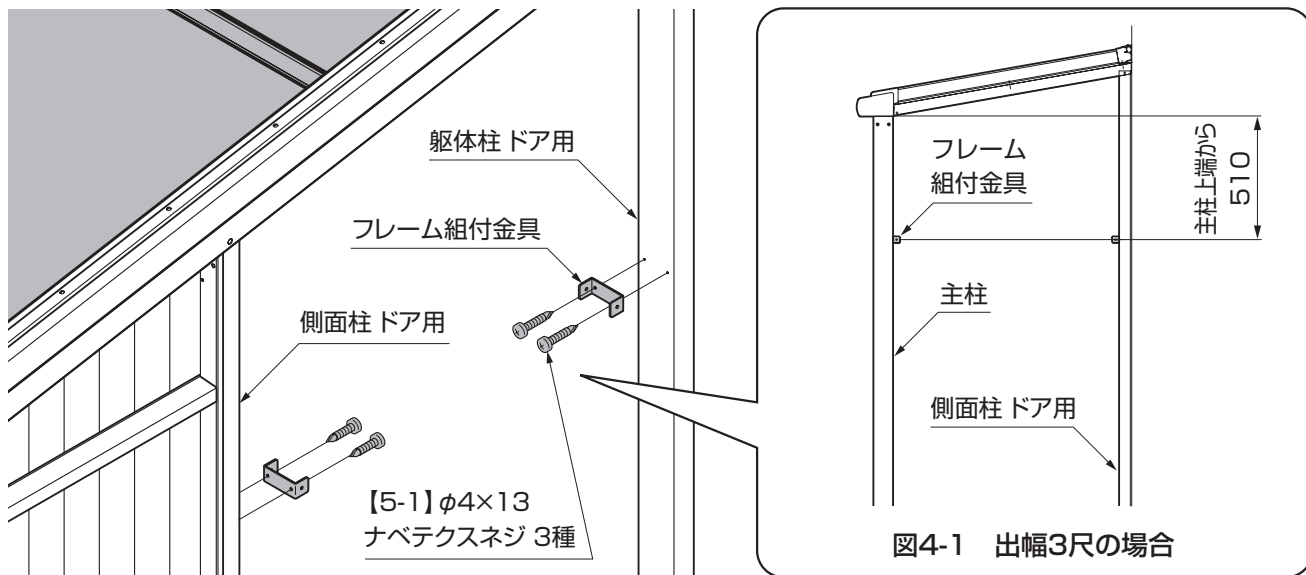


図4-1 出幅3尺の場合

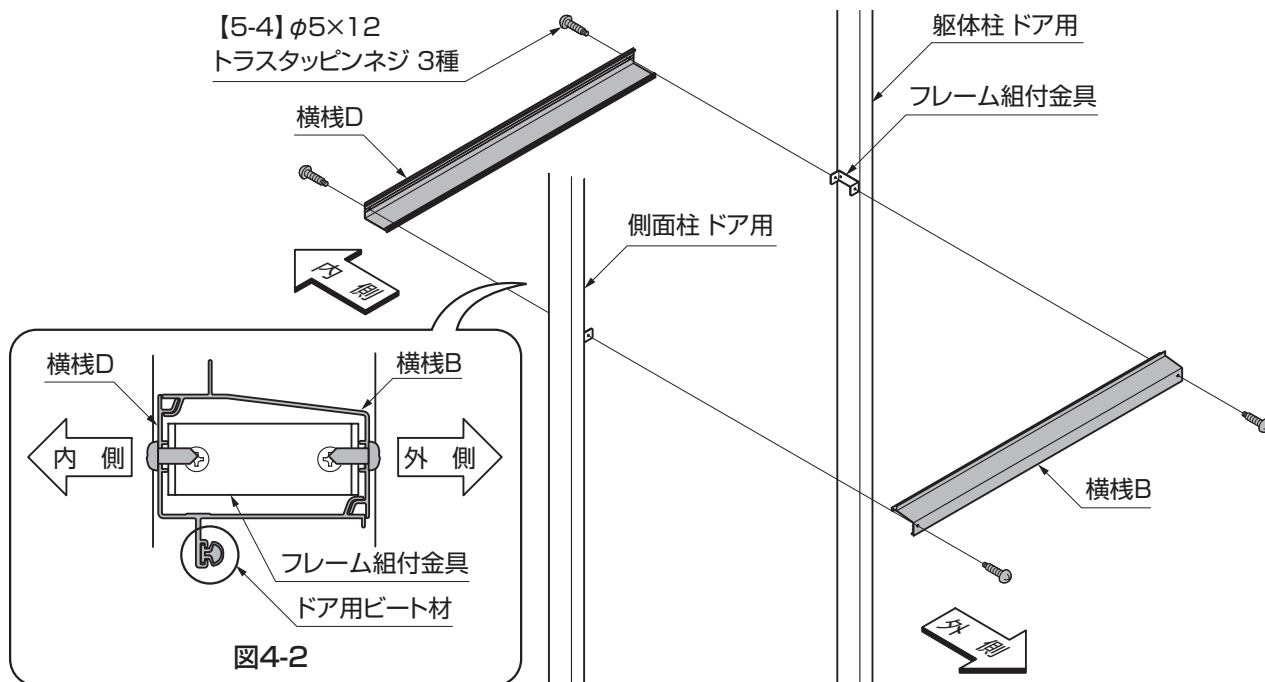


図4-2

①出幅3尺の場合、主柱の上端部から510mm下がった位置にフレーム組付金具を柱中心に取付けるための印をつけてください。(図4-1参照)

補足

●出幅3尺の躯体柱および出幅4～6尺の側面柱・躯体柱には、フレーム組付金具の取付孔はあらかじめ加工しています。

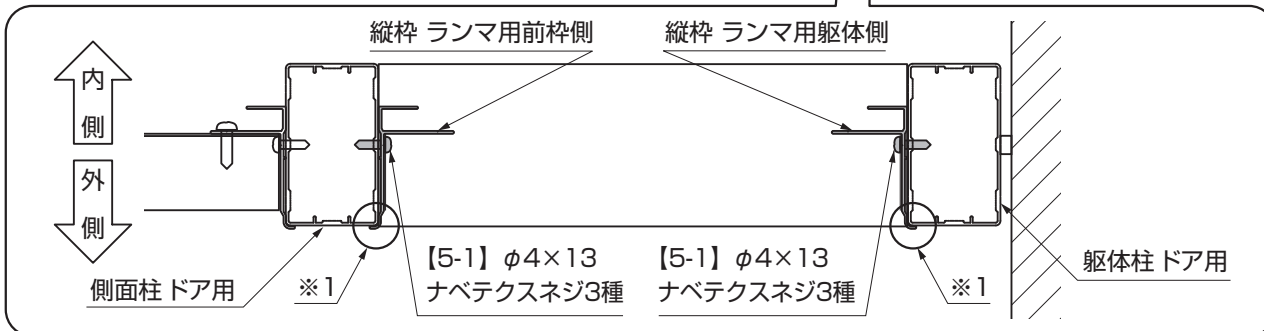
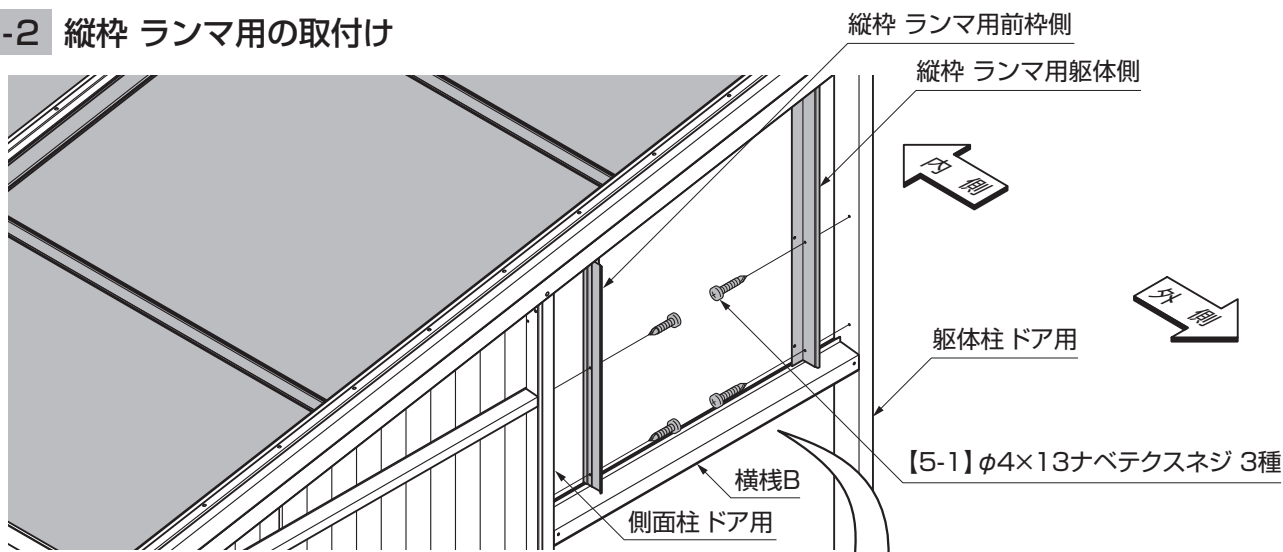
②フレーム組付金具を躯体柱 ドア用、側面柱 ドア用または主柱に、【5-1】で取付けてください。

③横棧B、横棧Dを外側と内側からはさみこむようにフレーム組付金具に、【5-4】で取付けてください。

ポイント

●ドア用ビート材が下側になるように取付けてください。(図4-2参照)

4-2 縦枠 ランマ用の取付け

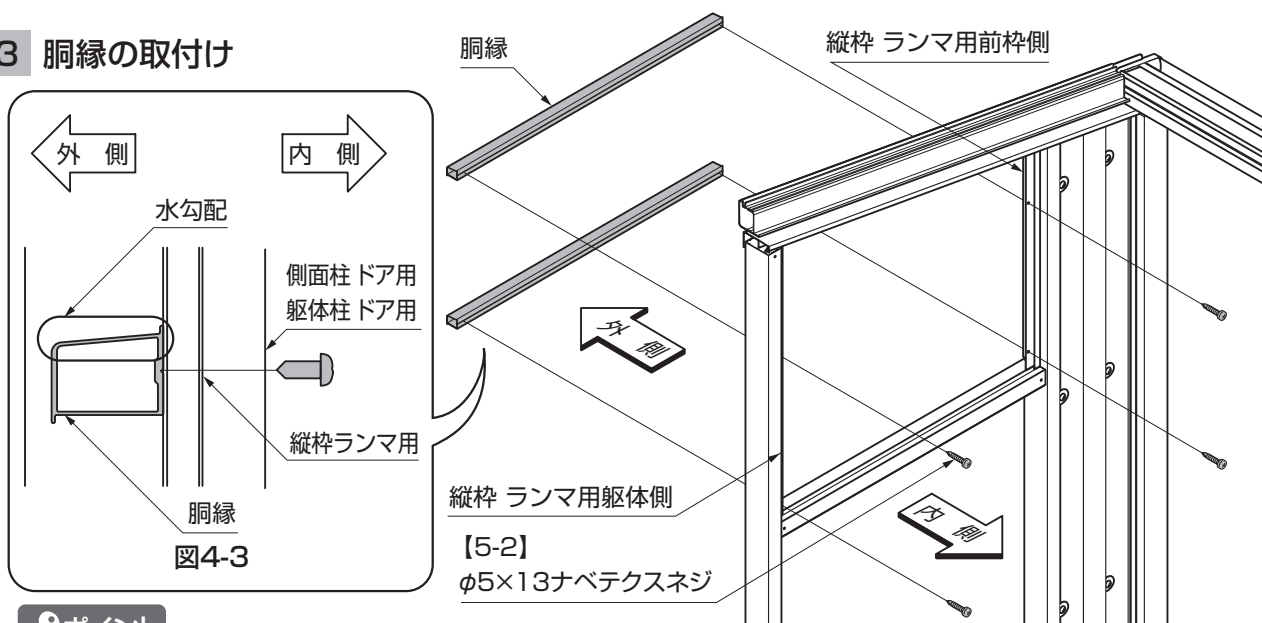


ポイント

●側面柱 ドア用または、躯体柱 ドア用の外側角部に縦枠ランマ用のフィンをあわせてください。(※1)

①縦枠ランマ用を横棧Bに突き当てて、側面柱 ドア用、躯体柱 ドア用に、【5-1】で取付けてください。

4-3 胴縁の取付け



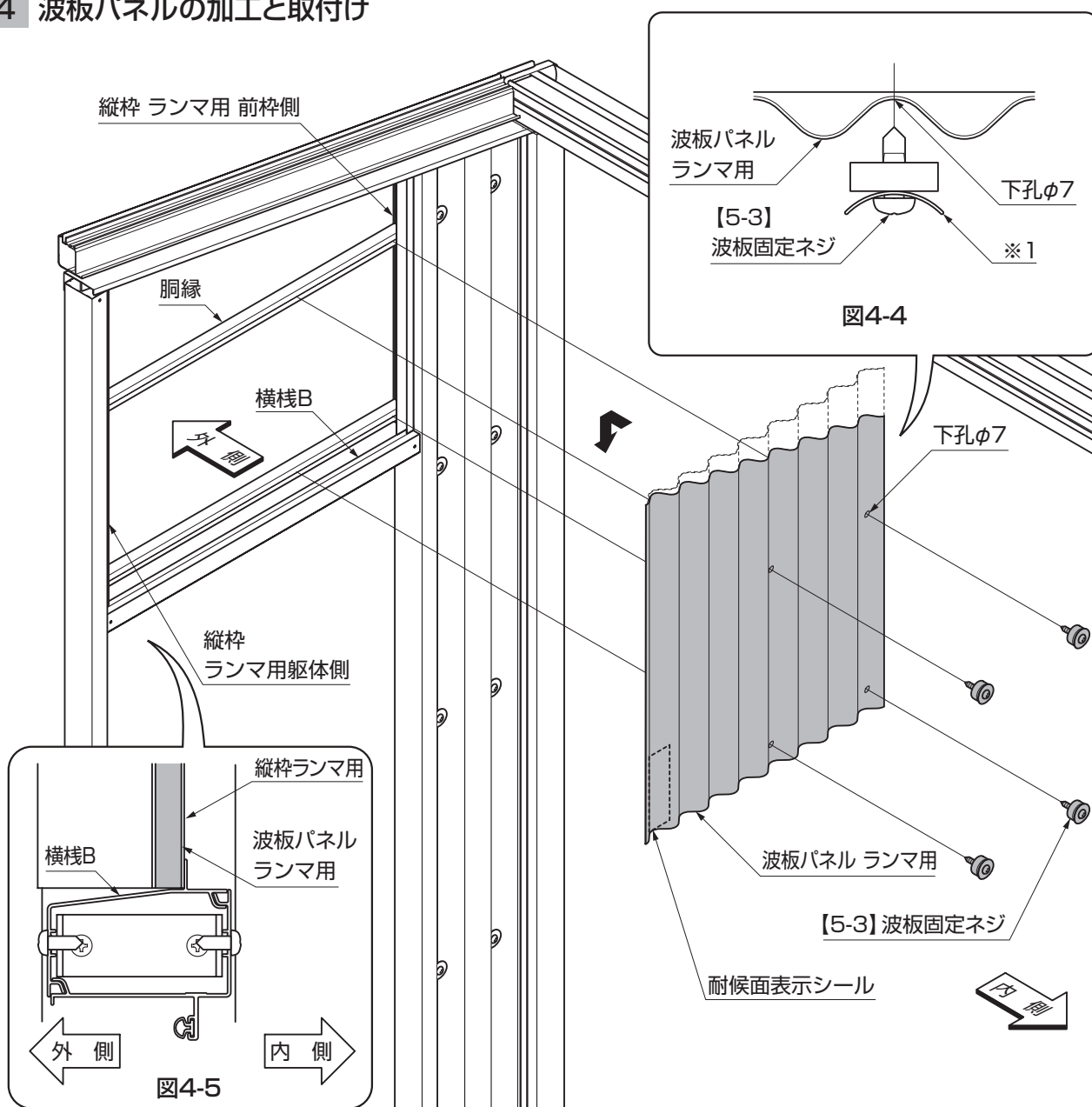
ポイント

●胴縁は水勾配面を上向きに取付けてください。(図4-3参照)

①胴縁のV溝を縦枠ランマ用の孔にあわせてから、胴縁を縦枠ランマ用に、【5-2】で取付けてください。

4. (つづき)

4-4 波板パネルの加工と取付け



ポイント

- 波板パネルに貼ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ネジは、波板の谷部に、φ7の下孔を加工してから固定してください。(図4-4参照)
- 波板固定ネジは、座金部分(※1)を波板側に押さえつけながら取付けてください。(図4-4参照)
- 波板固定ネジの取付ピッチは、6山以内になしてください。
- 冒頭の<波板パネルの施工について>を参照して、波板パネルを加工してください。

- ①波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ②波板パネルを縦枠と横棧Bに差込み、仮置きしてください。
- ③胴縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下孔加工用の印をつけてください。
- ④波板パネルにφ7の下孔を加工してください。
- ⑤波板を胴縁に【5-3】で固定してください。

4-5 垂木枠押さえ材の取付け

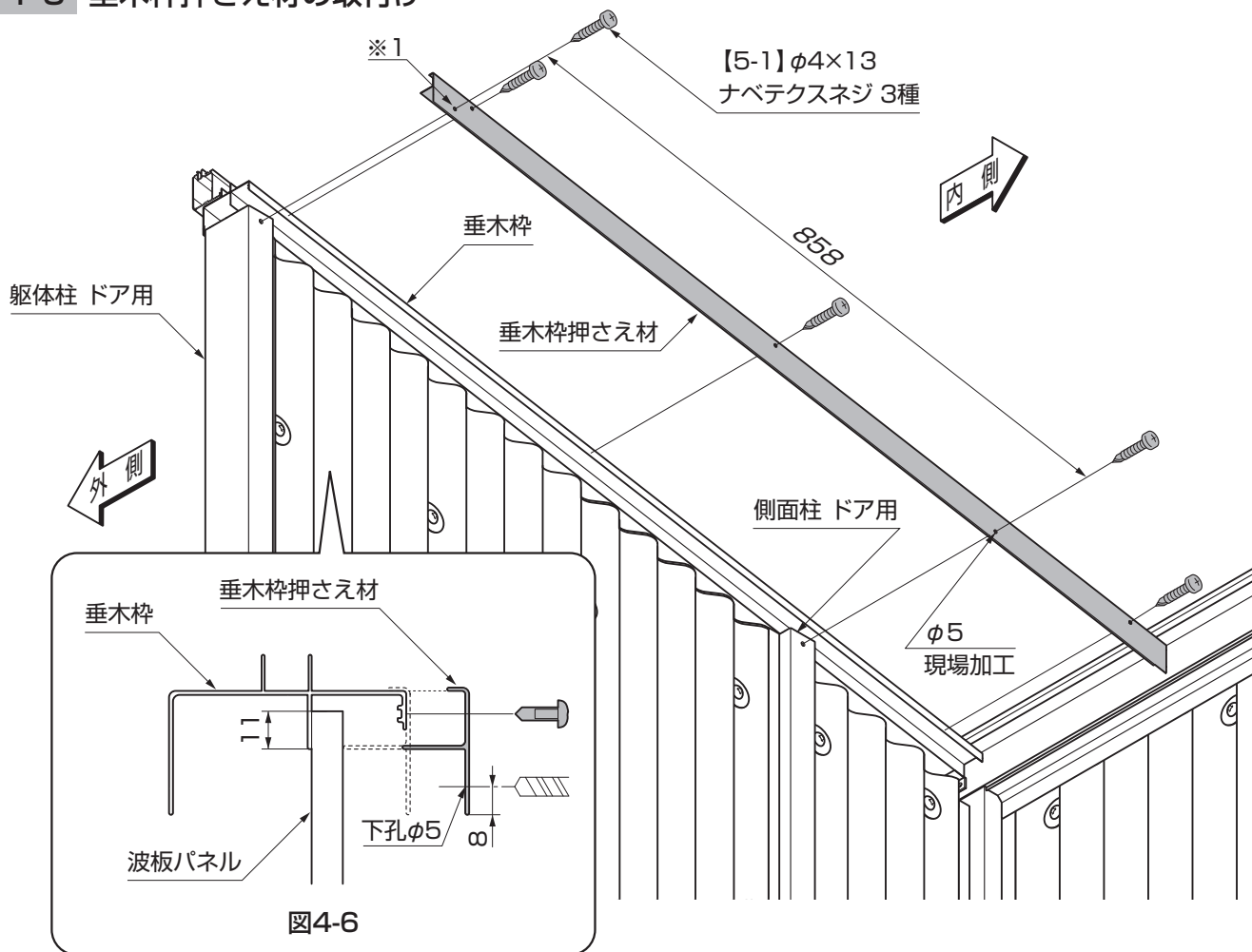
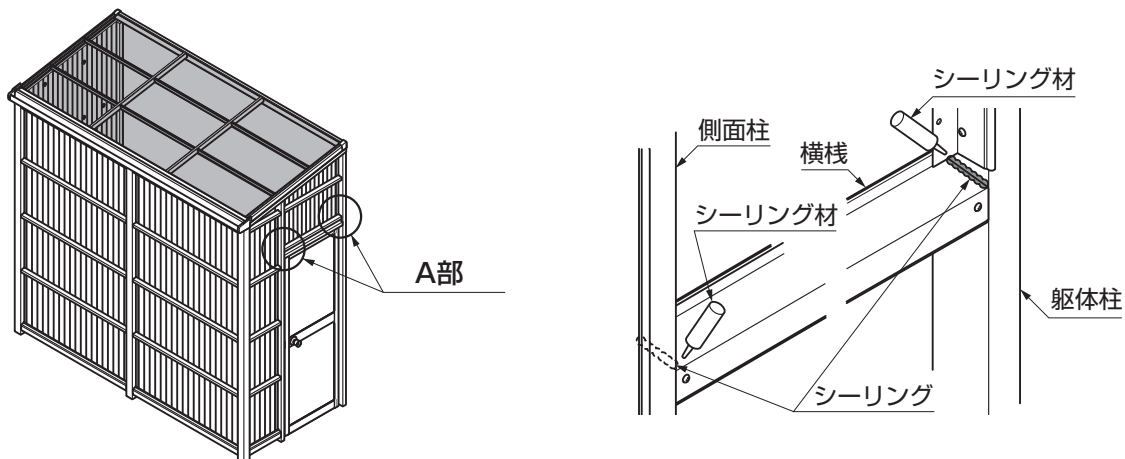


図4-6

- ①垂木枠押さえ材の躯体柱 ドア用取付孔(※1)から前枠側に858mmの位置に、側面柱 ドア用取付孔φ5を加工してください。(図4-6参照)
- ②垂木枠押さえ材を垂木枠に【5-1】で取付けてください。
- ③垂木枠押さえ材を躯体柱 ドア用と側面柱 ドア用に、【5-1】で取付けてください。

4-6 横棧のシーリング

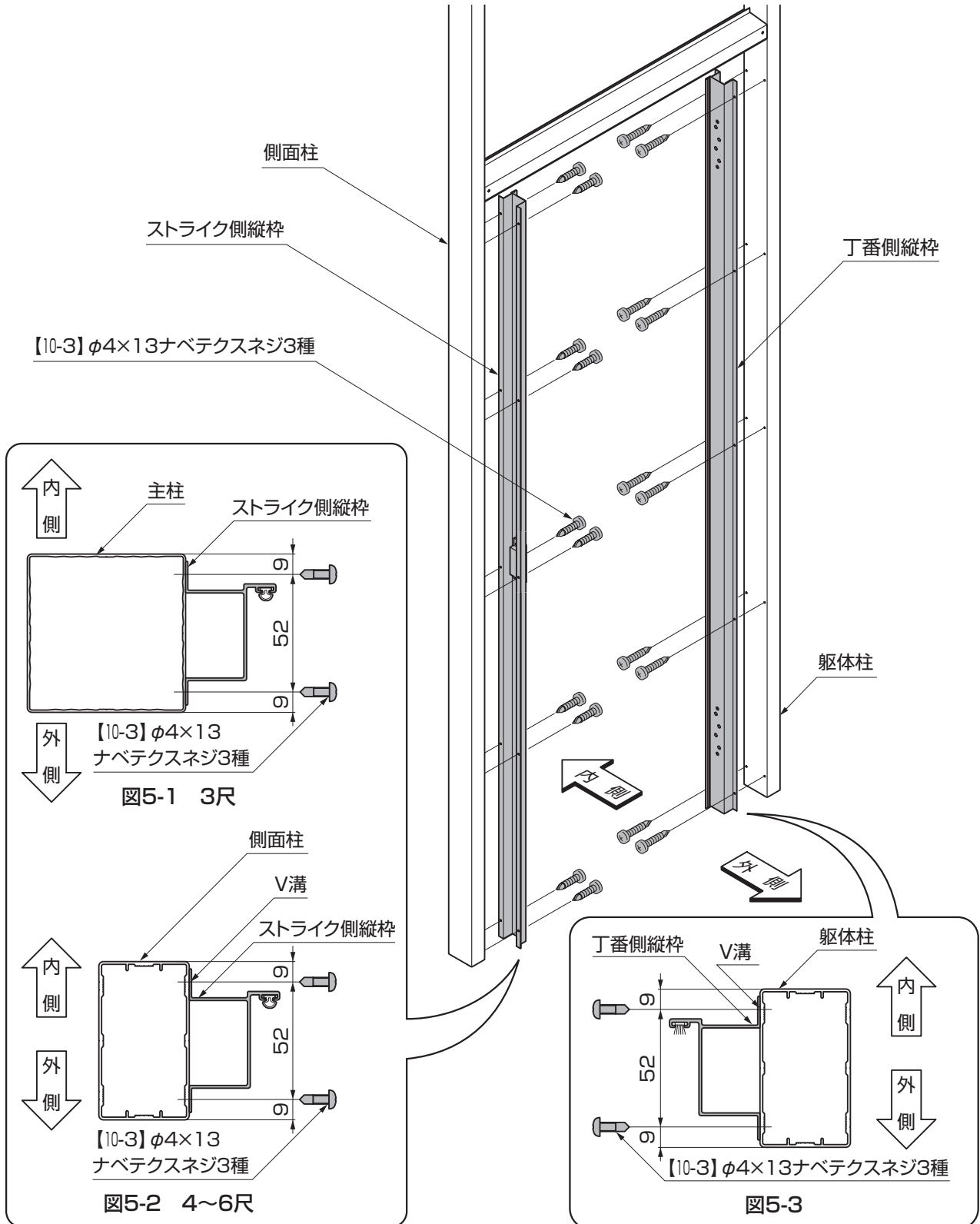


- ①横棧上面と側面柱・躯体柱との接続部をシーリングしてください。

5. ドア部の取付け

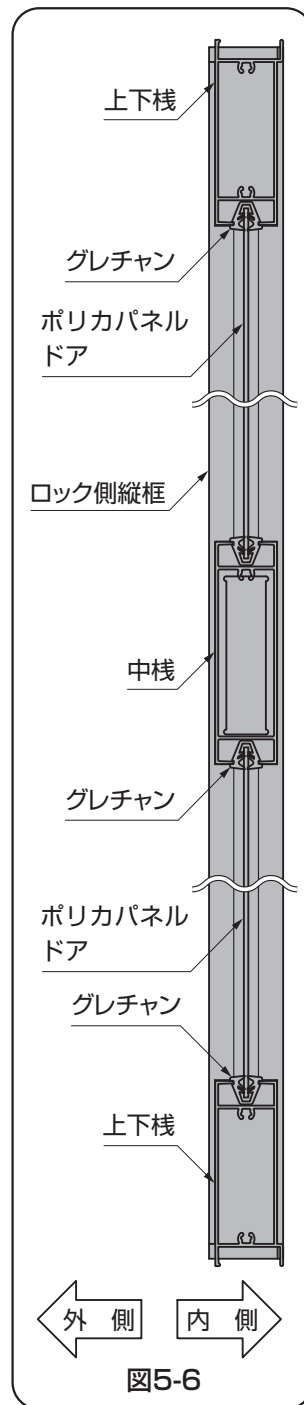
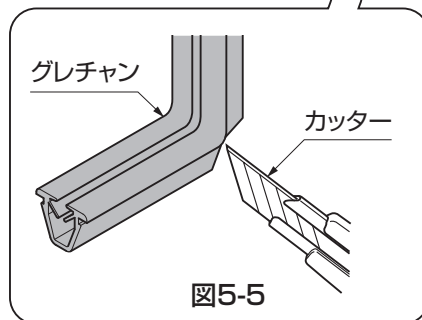
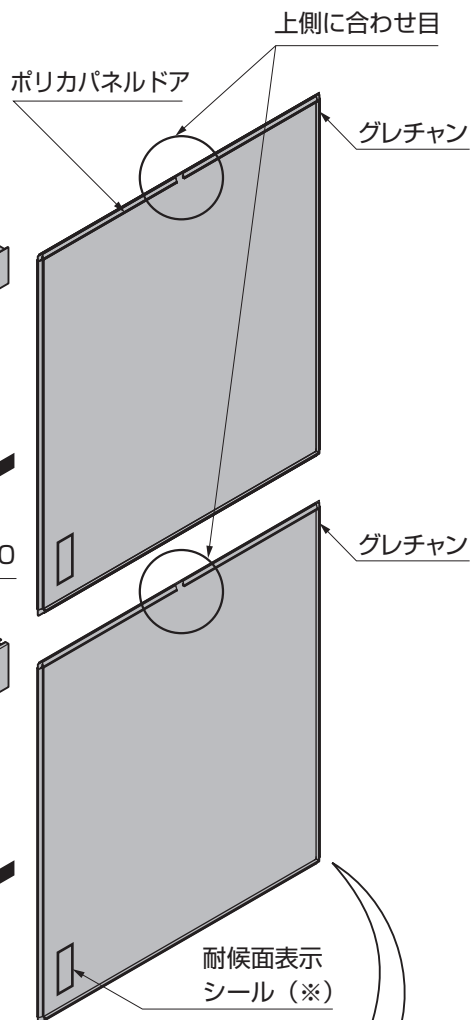
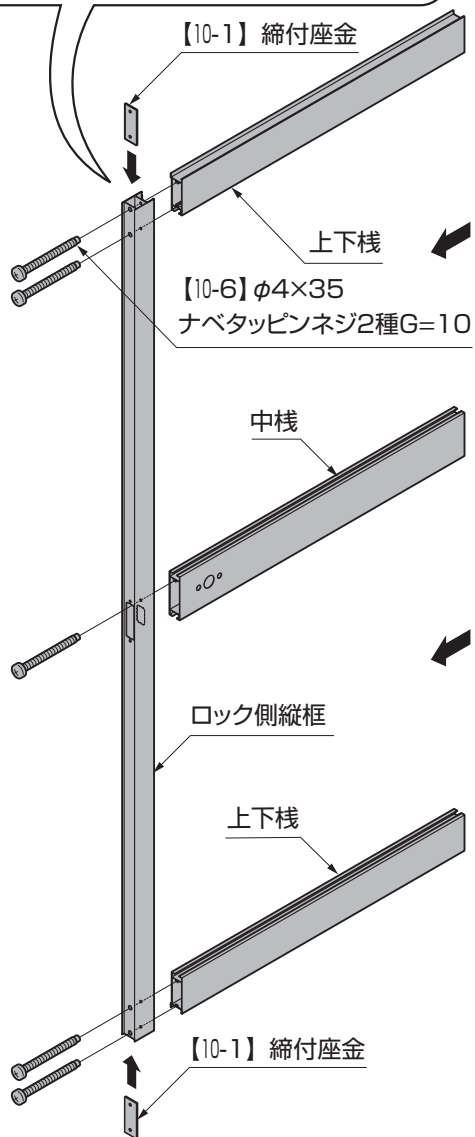
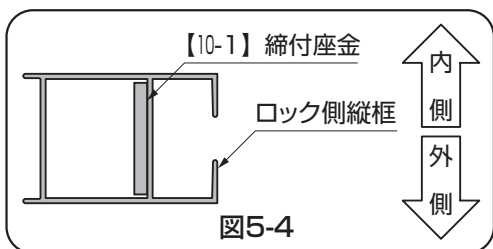
※図はテラス外観右取付けの場合を示します。
外観左の場合は左右が反対になります。

5-1 ドア縦枠の取付け ※図は外観右吊元の場合を示します。



- ① ストライク側縦枠を主柱または側面柱に当て、上側に突き当たった状態で取付位置を確認してください。(図5-1、図5-2参照)
- ② ストライク側縦枠を主柱または、側面柱に【10-3】で取付けてください。
- ③ 丁番側縦枠を躯体柱に当て、上側に突き当たった状態で取付位置を確認してください。(図5-3参照)
- ④ 丁番側縦枠を躯体柱に【10-3】で取付けてください。

5-2 ドアの組立て ※図は外観右吊元の場合を示します。



- ①上下棧をロック側縦框に【10-1】を入れて【10-6】で取付けてください。(図5-4参照)
- ②中棧をロック側縦框に、【10-6】で取付けてください。
- ③グレチャンをポリカパネルの上側中央から取付けて、角に切り込みを入れて囲むように取付けてください。(図5-5参照)

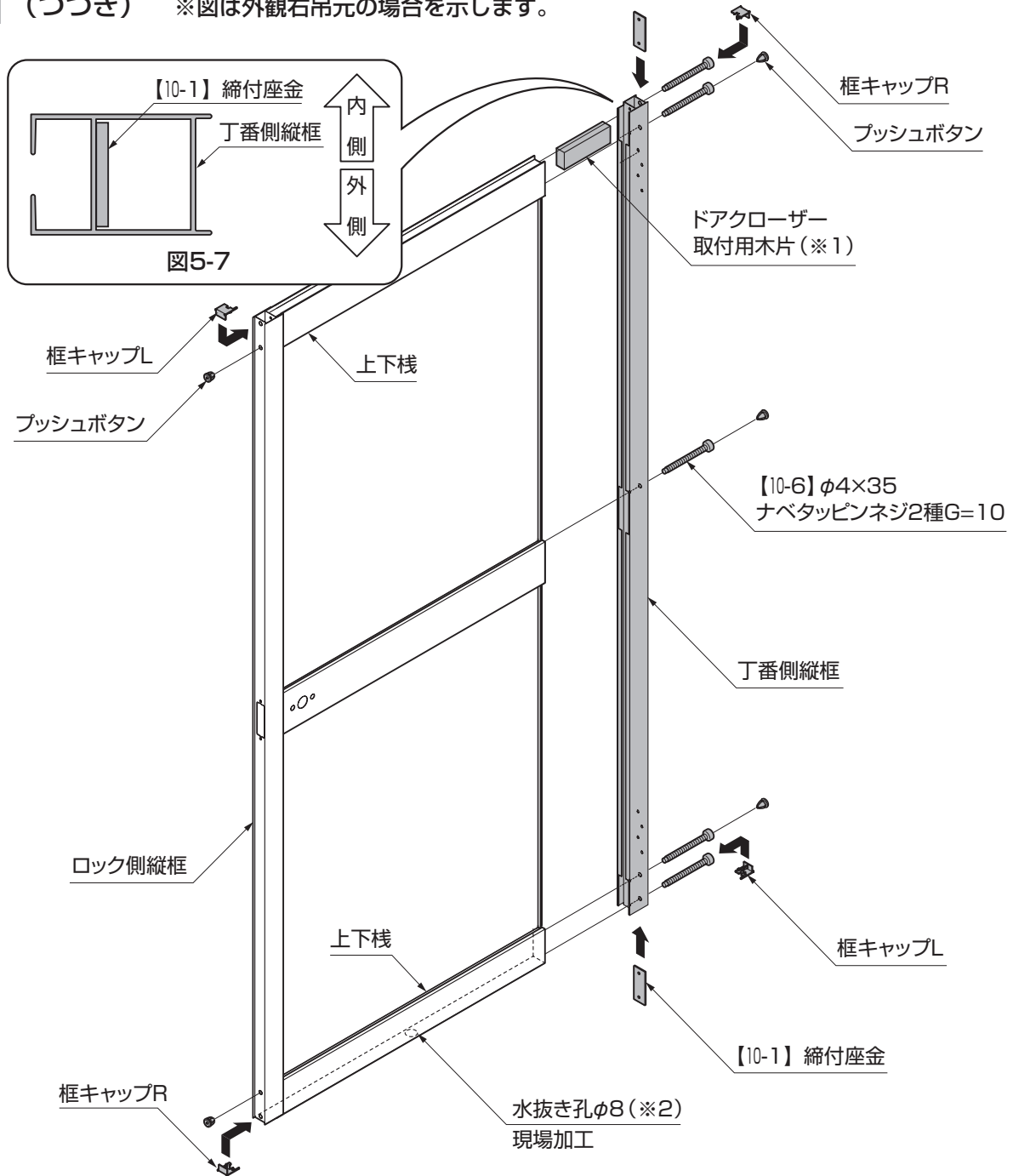
ポイント

- ポリカパネルは、耐候面表示シールの貼ってある面が外側になるように取付けてください。(※)
- グレチャンが入れにくい場合は、ビードローラー等の工具を使って取付けてください。

- ④ポリカパネルを棧に取付けてください。

5. (つづき)

5-2 (つづき) ※図は外観右吊元の場合を示します。

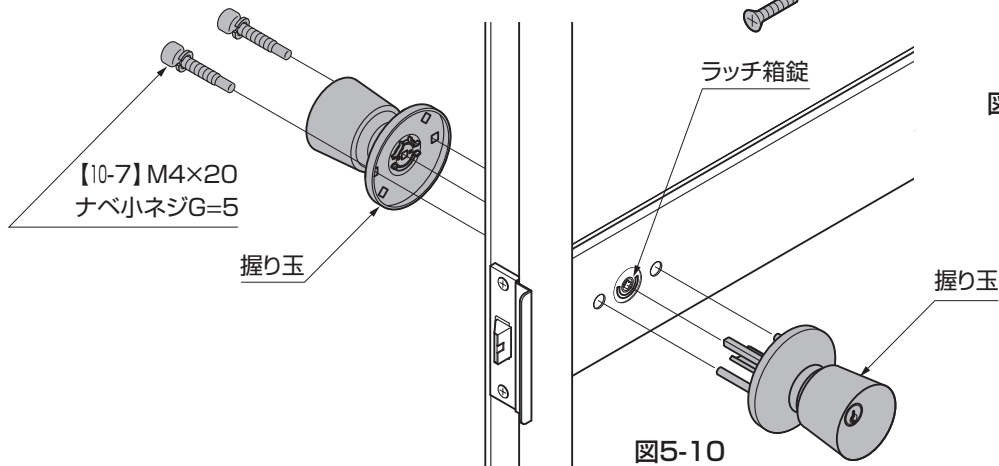
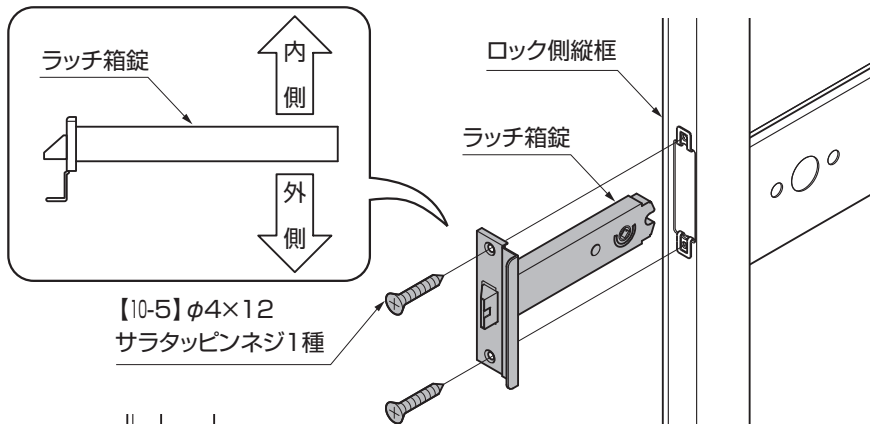
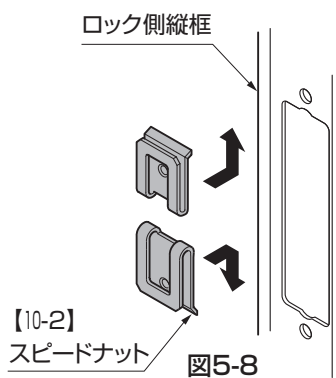


- ⑤ 上側の上下棧にドアクローザー取付用木片を挿入してください。
- ⑥ 丁番側縦框に【10-1】を入れて【10-6】で取付けてください。(図5-7参照)
- ⑦ 框キャップL、Rを4ヶ所ロック側縦框および丁番側縦框に取付けてください。
- ⑧ プッシュボタンを5ヶ所ロック側縦框および丁番側縦框に取付けてください。
- ⑨ G.L.側の上下棧の下面中央にφ8水抜き孔をあけてください。(※2)

補足

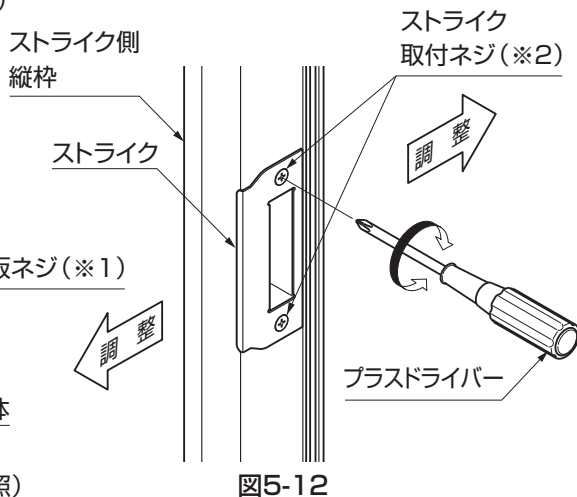
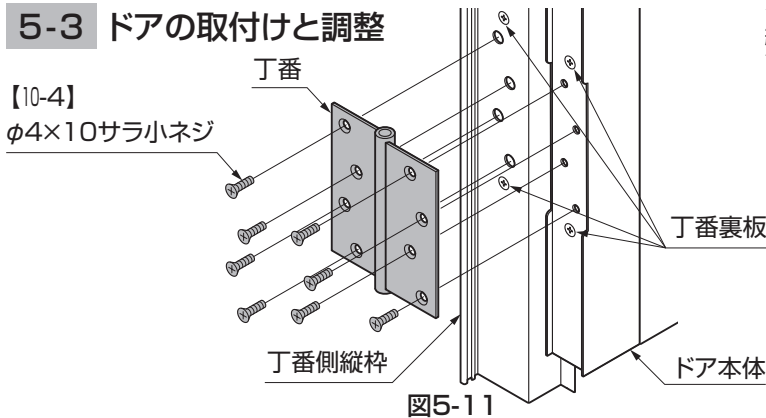
- 後付けを可能にするためドアクローザー **オプション** を取付けない場合でも、上側の上下棧にドアクローザー取付用木片を挿入してください。(※1)

5-2 (つづき) ※図は外観右吊元の場合を示します。



- ⑩【10-2】をロック側縦枠に、取付けてください。(図5-8参照)
- ⑪ラッチ箱錠をロック側縦枠に、【10-5】で取付けてください。(図5-9参照)
- ⑫握り玉を中棧に、【10-7】で取付けてください。(図5-10参照)

5-3 ドアの取付けと調整



- ①丁番をドア本体に、【10-4】で取付けてください。(図5-11参照)
- ②丁番側縦枠にドア本体を、【10-4】で取付けてください。(図5-11参照)

ポイント

- 丁番が取付けにくい場合は、丁番裏板ネジを調整して取付けてください。(※1)
- ドアの締まりが悪いときには、ストライク側縦枠のストライク取付ネジをゆるめてストライクを調節してください。(※2)
- ドアクローザー **オプション** を取付ける場合、ドアクローザー取付用木片を吊元側に寄せてから丁番を取付けてください。

6. ドアクローザーの取付け

オプション

※図は外観右吊元を示します。

6-1 座板・ブラケット取付け孔の加工

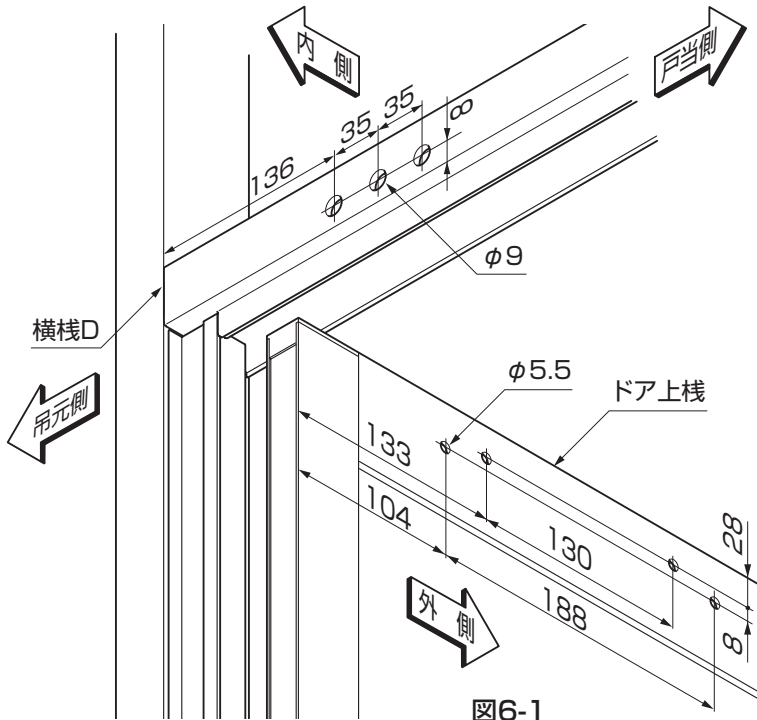


図6-1

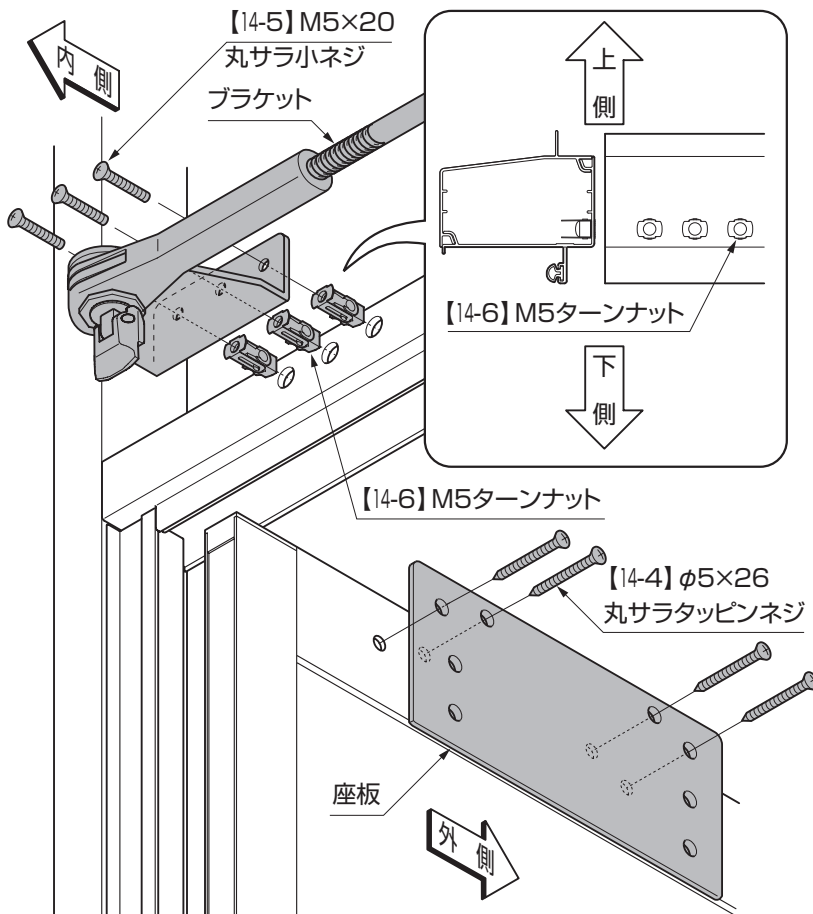
- ① ドア上棧にφ5.5の孔を4ヶ所あけてください。(図6-1参照)

ポイント

- ドア上棧の孔は、型材(上棧)だけにあけてください。内部の木部まであけると、ネジがきかなくなりますので注意してください。

- ② 横棧Dにφ9の孔を3ヶ所あけてください。(図6-1参照)

6-2 座板・ブラケットの取付け



- ① 座板を【14-4】で固定してください。

ポイント

- 座板は【14-4】でドアクローザー取付用木片に固定します。

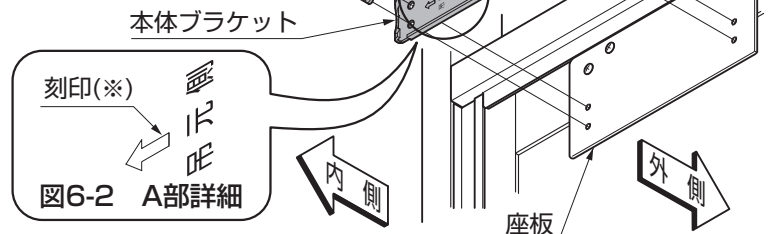
- ② ブラケットを【14-5】【14-6】で取付けてください。

ポイント

- 【14-6】M5ターンナットの取付方向に注意してください。ブラケットが取付けできなくなります。
- 取付けネジの締付けがゆるいとぐらつき、落下・故障の原因になります。

6-3 本体ブラケットの取付け

【14-3】M5×8 ナベ小ネジ
(固着剤付き生地)

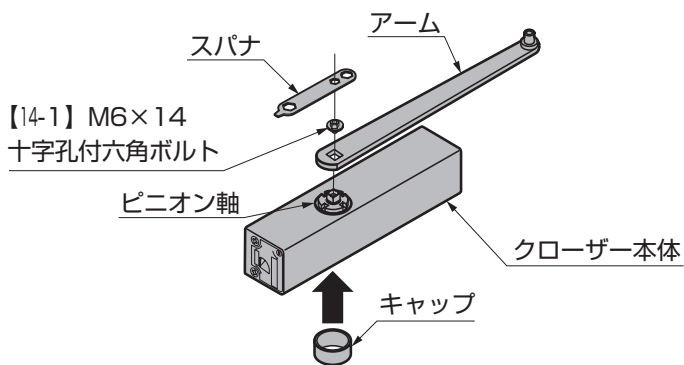


①本体ブラケットの刻印(※)を吊元側に向け、【14-3】で取付けてください。

ポイント

- 取付けネジの締付けがゆるいとぐらつき、落下・故障の原因になります。

6-4 アームの取付け



①ピニオン軸にアームをはめ込んで、【14-1】で固定してください。
②キャップを下からはめてください。

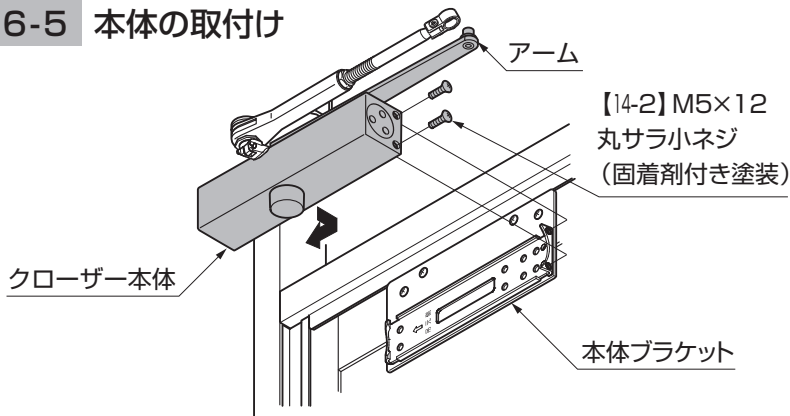
ポイント

- アームはめ込み時、ハンマーなどで叩かないでください。破損や油もれの原因になります。
- 取付けネジの締付けがゆるいと、アームが外れ故障の原因になります。
- アームとクローザー本体が平行になるように取付けてください。故障の原因になります。

補足

- 【14-1】の固定には付属のスパナを使用してください。

6-5 本体の取付け

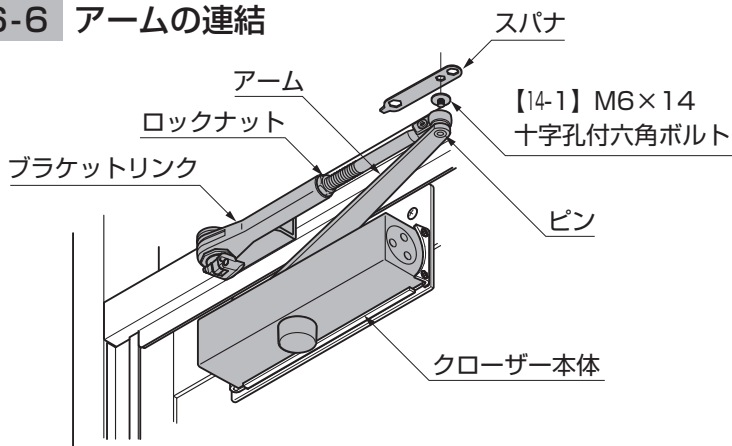


①図のようにクローザー本体を本体ブラケットに、スライドしてはめ込んでください。
②図のようにクローザー本体を【14-2】で固定してください。

ポイント

- 取付けネジの締付けがゆるいと、本体がぐらつき、落下・故障の原因になります。

6-6 アームの連結



①ロックナットを回転し、アーム先端のピンとブラケットリンク先端の穴の位置を合わせてください。
②ブラケットリンク先端の穴にアーム先端のピンを差込み、【14-1】をしっかりと締付けてください。

補足

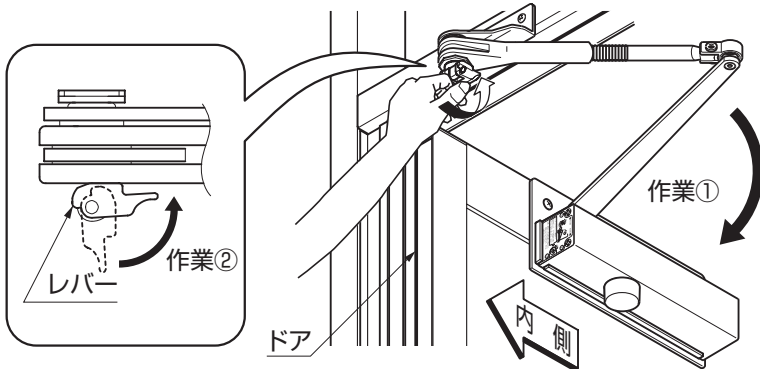
- 【14-1】の固定には付属のスパナを使用してください。

ポイント

- 取付けネジの締付けがゆるいと、アームの連結が外れ故障の原因になります。

6. (つづき)

6-7 ストップ角度の設定

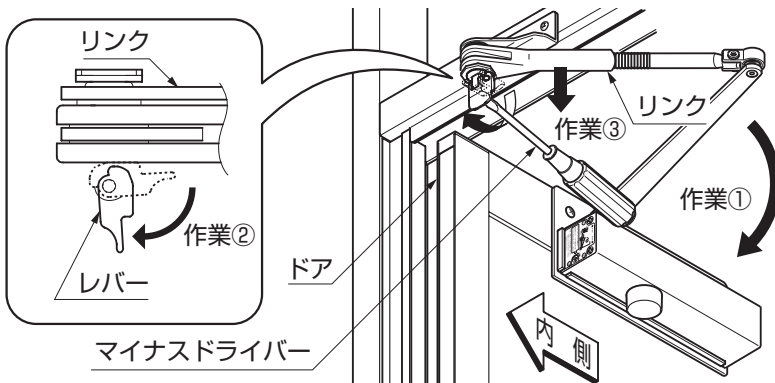


- ① ドアをストップさせたい角度まで開いてください。
- ② 開いた位置でレバーを手で完全に押し倒してください。レバーが完全に押し倒せない場合はドアを前後にゆすりながら押し倒してください。

ポイント

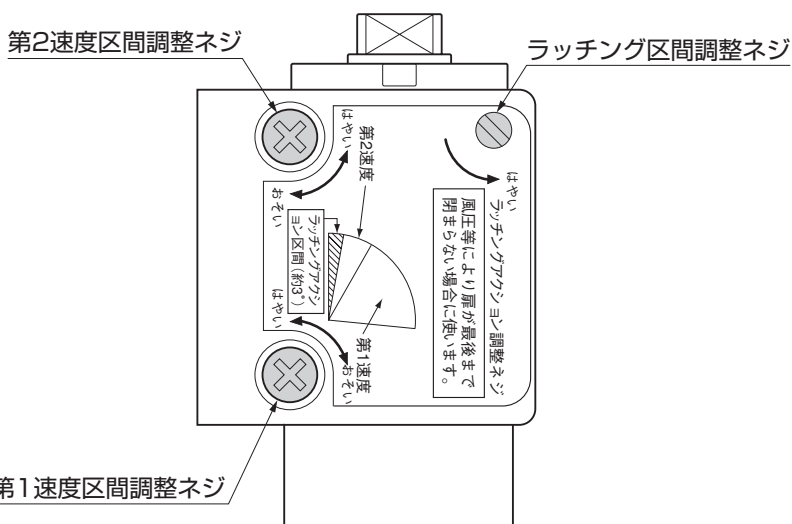
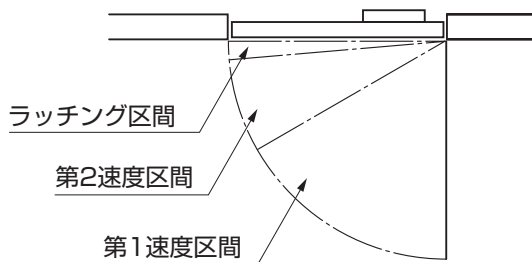
- レバーを倒すとき、ハンマーなどでたたかないでください。たたくとストップ装置の故障の原因になります。

6-8 ストップ角度を変更する場合



- ① ドアを開きストップ状態にしてください。
- ② 手またはマイナスドライバーでレバーを起こしてください。
- ③ ドアを開く方向に押しながら、リンクの↓部をいっばいに引降ろすとストップ機構が解除し設定前の状態に戻ります。
- ④ 「6-7 ストップ角度の設定」手順①～②にしたがってストップ角度の調整を行ってください。

6-9 ドアクローザーの速度調整



- ① 閉じ速度は本体の吊元側についている各調整ネジで調整してください。

注意

- 閉じ速度は早くしすぎないでください。思わぬ事故を起こすおそれがあります。

ポイント

- 調整ネジは、反時計まわりに1回転以上回転しないでください。油もれを起こし正常に機能しなくなるおそれがあります。

- ② ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前(約3°)まできた時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合に使用します。

ポイント

- ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5秒～8秒になるように調整してください。

補足

- ドアクローザーは第1速度区間では早く、第2速度区間でゆっくり、ラッチング区間ですばやく閉まるように調整するとスムーズに閉まります。それぞれの目的に応じて、調整を行ってください。

7. 側面FIXの取付け

※図はテラス内観左取付けの場合を示します。
内観右の場合は左右が反対になります。

7-1 垂木柵 FIXの取付け

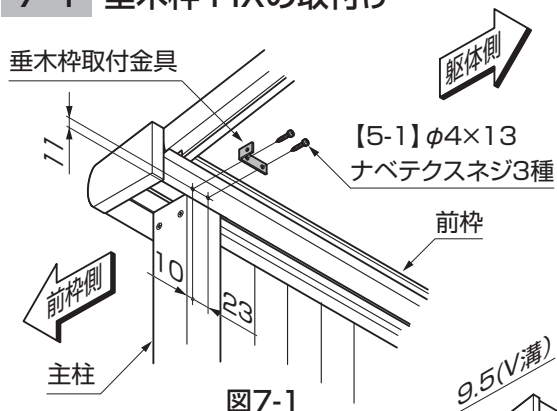


図7-1

【5-5】
φ5×20
トラスタッピン
ネジ3種

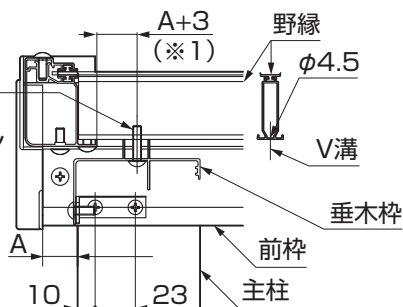


図7-2 主柱との位置関係

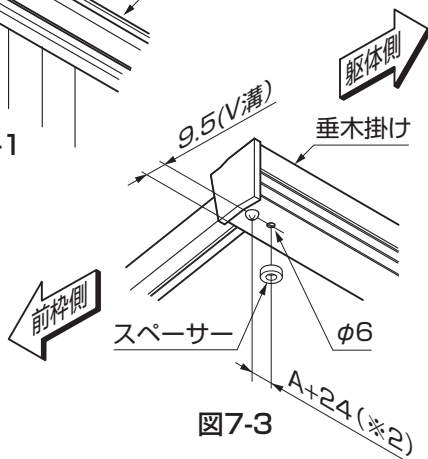


図7-3

【5-6】 M5 六角ナット
【5-8】 M5 バネ座金
【5-7】 M5 平座金

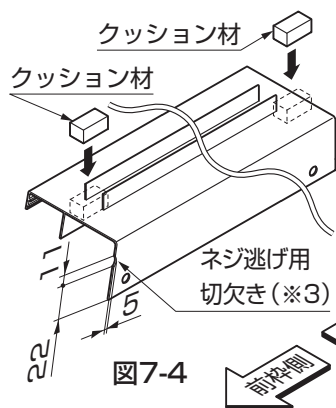


図7-4

【5-4】 φ5×12
トラスタッピン
ネジ 3種

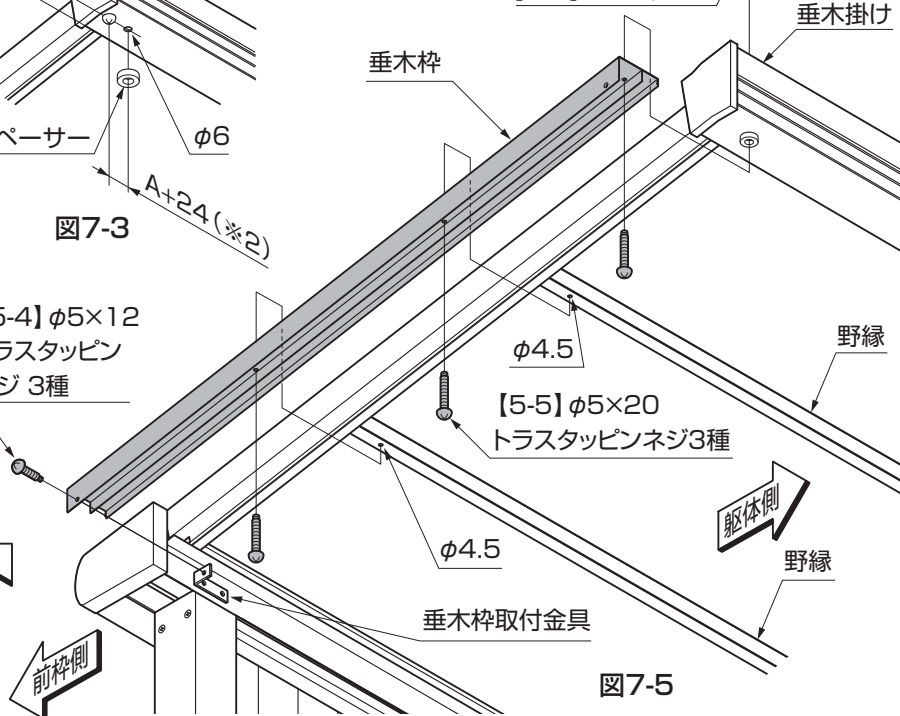


図7-5

ポイント

●垂木柵取付金具の取付位置は、主柱の位置により変動します。(図7-2参照)

- ①主柱の外側面から10mmの位置のV溝に、ネジ固定箇所印をつけてください。(図7-1参照)
- ②垂木柵取付金具を前柵に【5-1】で取付けてください。
- ③野縁に垂木柵取付用の下孔φ4.5を加工してください。(図7-2参照)
- ④垂木掛けに垂木柵取付用の下孔φ6を加工してください。(図7-3参照)
- ⑤垂木掛けの下面の④で加工した孔に合わせて、スペーサーを貼付けてください。

ポイント

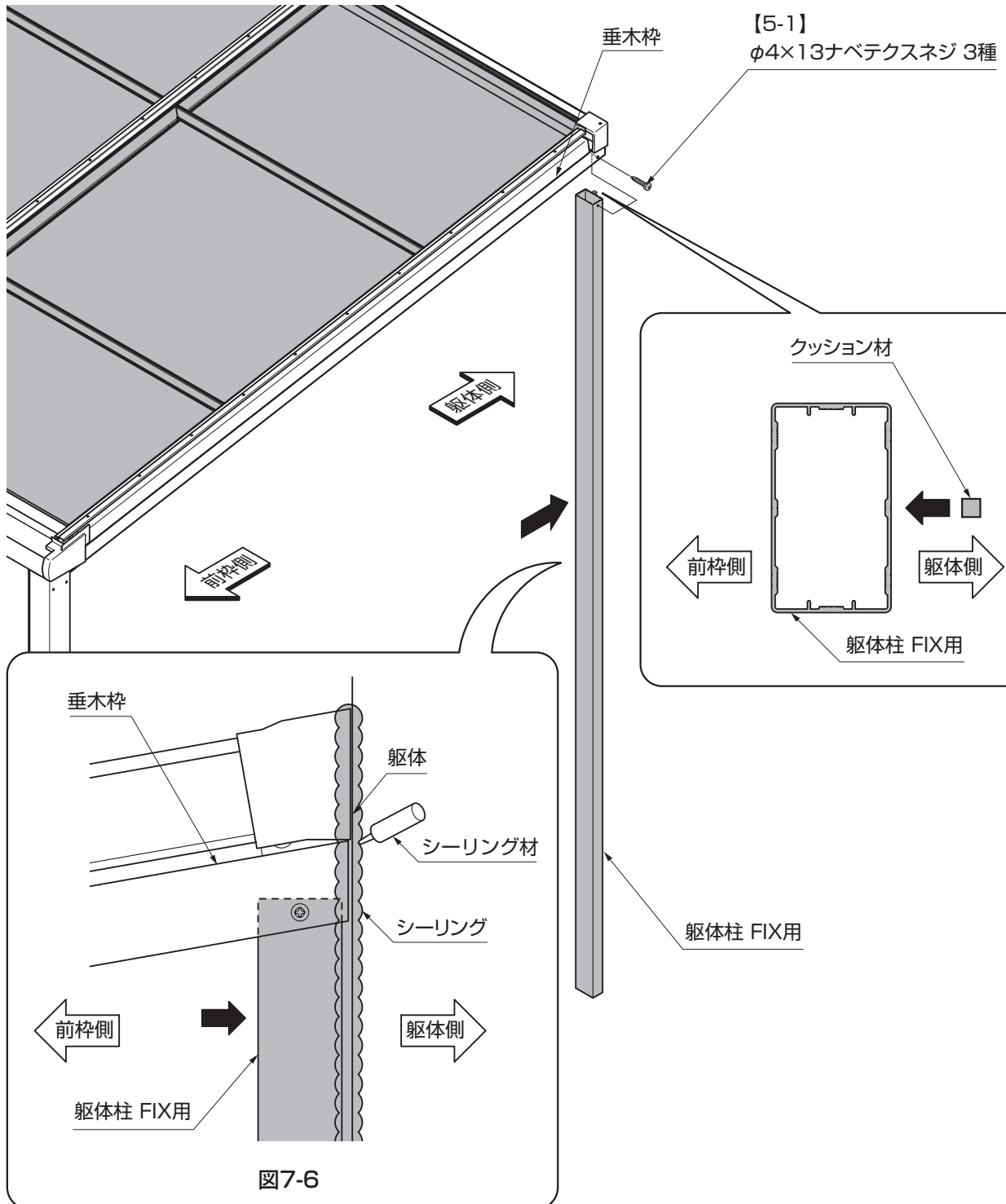
●野縁と垂木掛けの下孔加工位置(※1、※2)は、主柱の位置により変動します。前柵の形材端部から主柱外面までの寸法Aを計測して、取付位置を確認してください。(図7-2、図7-3参照)

●主柱の位置により、前柵端部キャップ固定ネジと垂木柵が干渉する場合があります。その場合は、垂木柵をネジ頭分だけ切欠いて取付けてください。(※3)(図7-4参照)

- ⑥垂木柵の両端部上面のフィン切欠き部にクッション材を貼付けてください。クッション材は切断して使用してください。
- ⑦垂木柵を垂木柵取付金具に【5-4】で、野縁に【5-5】で、垂木掛けに【5-5】、【5-6】、【5-7】、【5-8】で取付けてください。

7. (つづき)

7-2 躯体柱FIX用の取付け

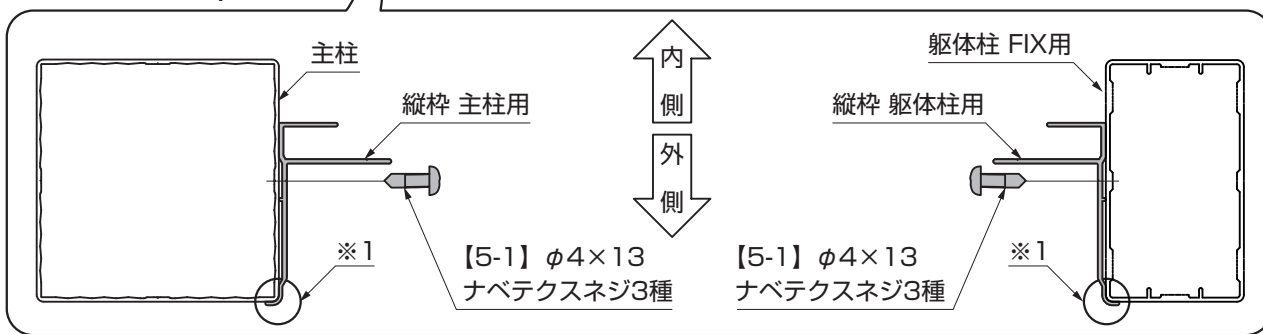
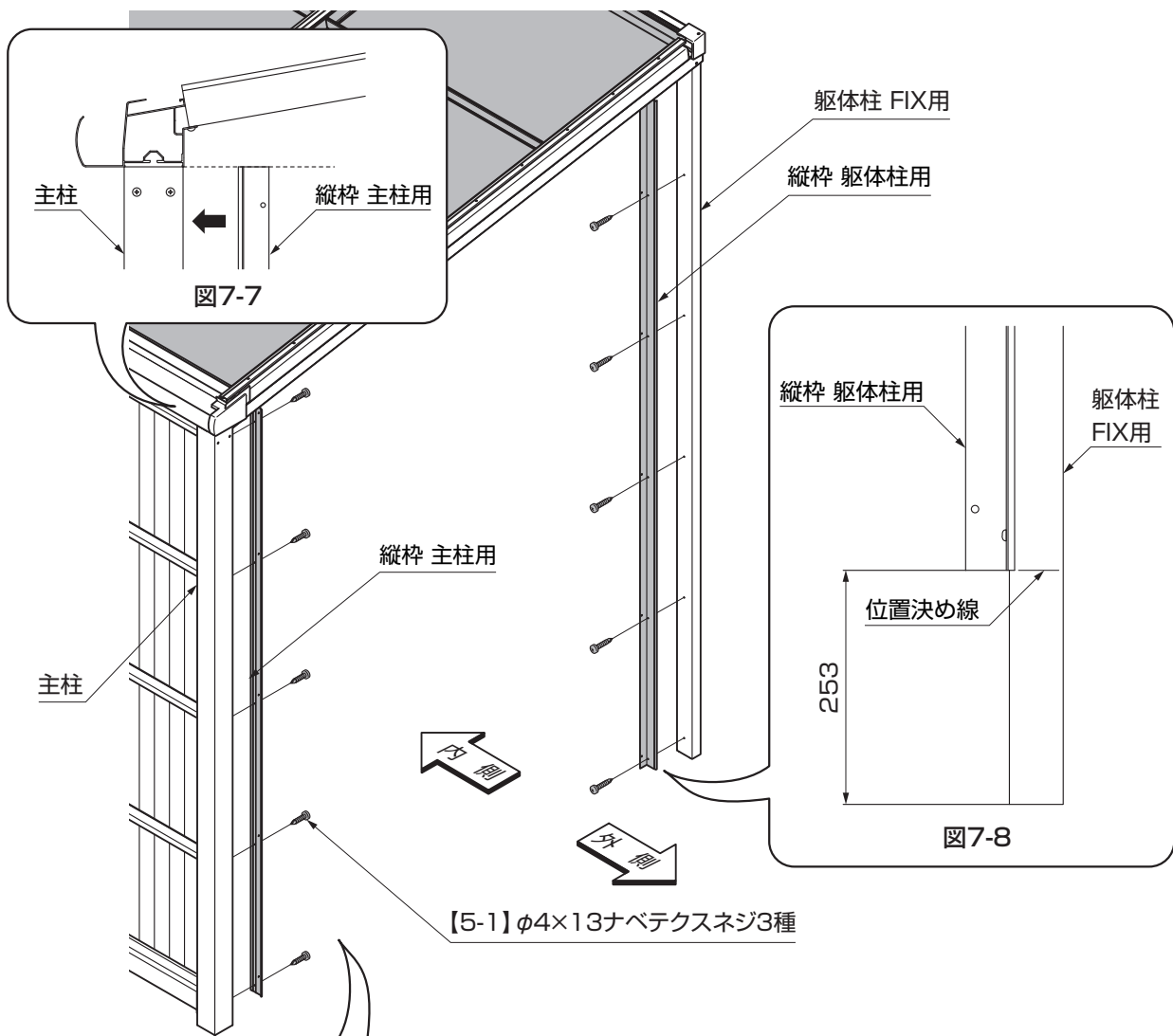


ポイント

- 躯体柱 FIX用には上下方向があります。端部に孔加工がある方が上側です。
- 躯体柱 FIX用の基礎コンクリート硬化後に、躯体柱 FIX用と躯体のすき間をシーリングしてください。(図7-6参照)

① 躯体柱 FIX用の躯体側の面にクッション材を貼付けて、躯体に押しつけながら垂木に【5-1】で取付けてください。

7-3 縦枠の取付け



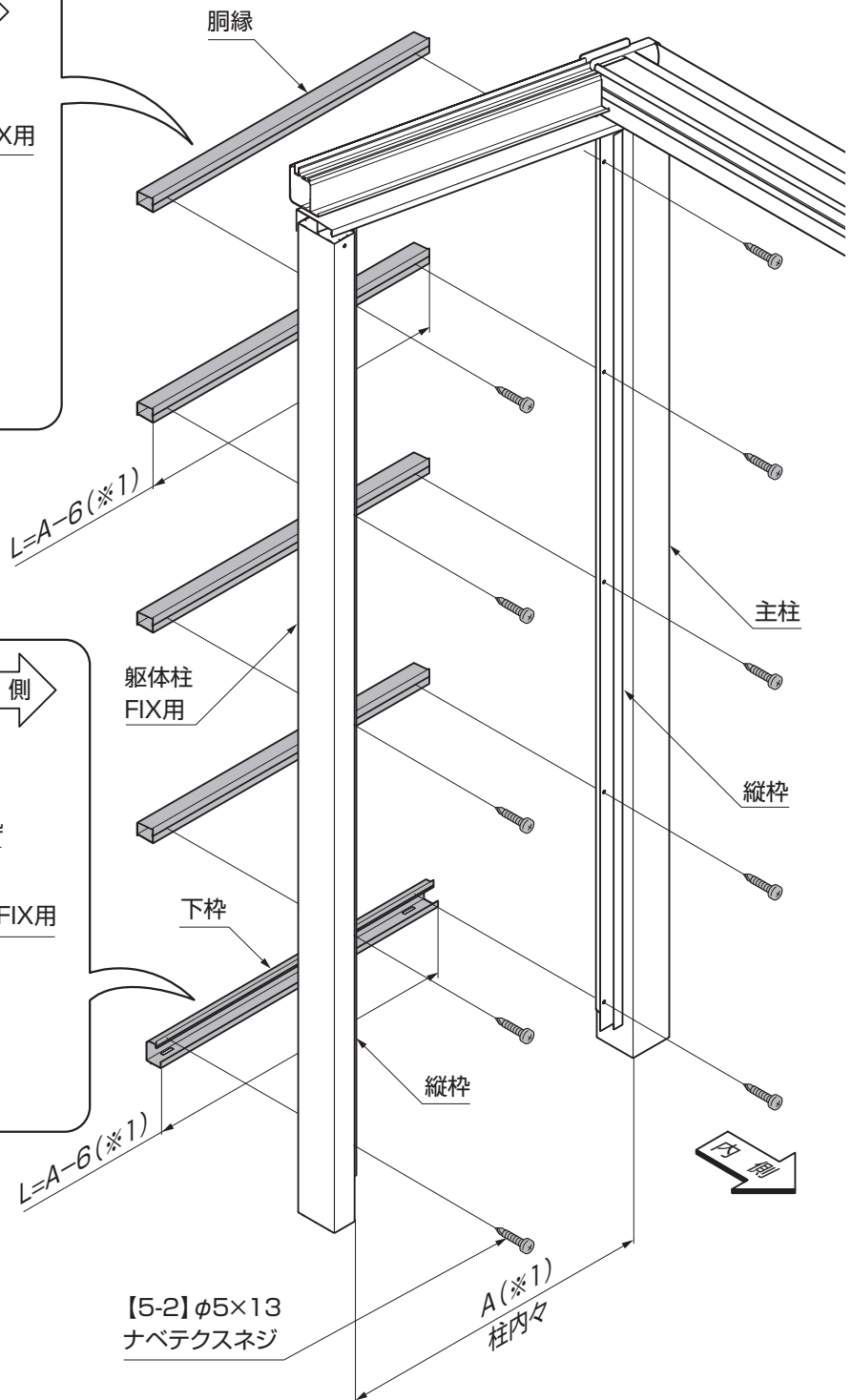
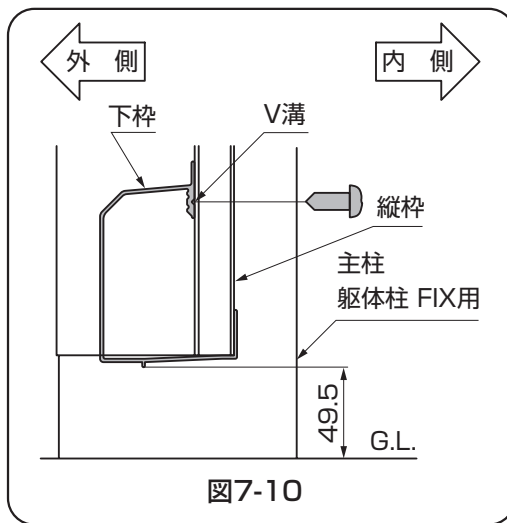
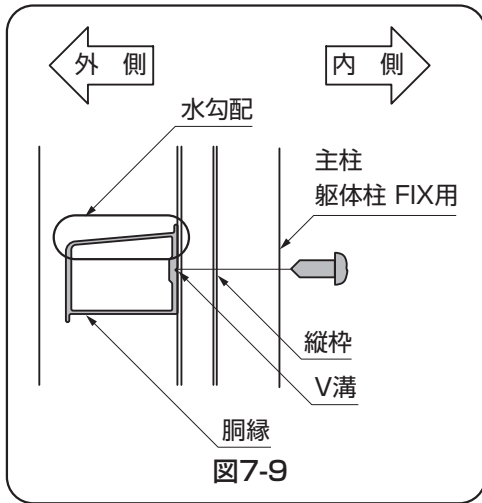
ポイント

- 縦枠 主柱用と縦枠 躯体柱用は長さが異なります。短い方が縦枠 主柱用です。
- 主柱または躯体柱の外側角部に、縦枠のフィンをすきまが出ないようにあわせてください。（※1）

- ①縦枠 主柱用を主柱に当て、上側に突き当たった位置で、縦枠 主柱用を主柱に【5-1】で取付けてください。
- ②躯体柱の下端部から253mmの位置に縦枠位置決めのための線を鉛筆で引いてください。
- ③縦枠 躯体柱用を躯体柱に当て、②で引いた線に縦枠の下面をあわせて、縦枠 躯体柱用を躯体柱に【5-1】で取付けてください。

7. (つづき)

7-4 胴縁と下枠の取付け

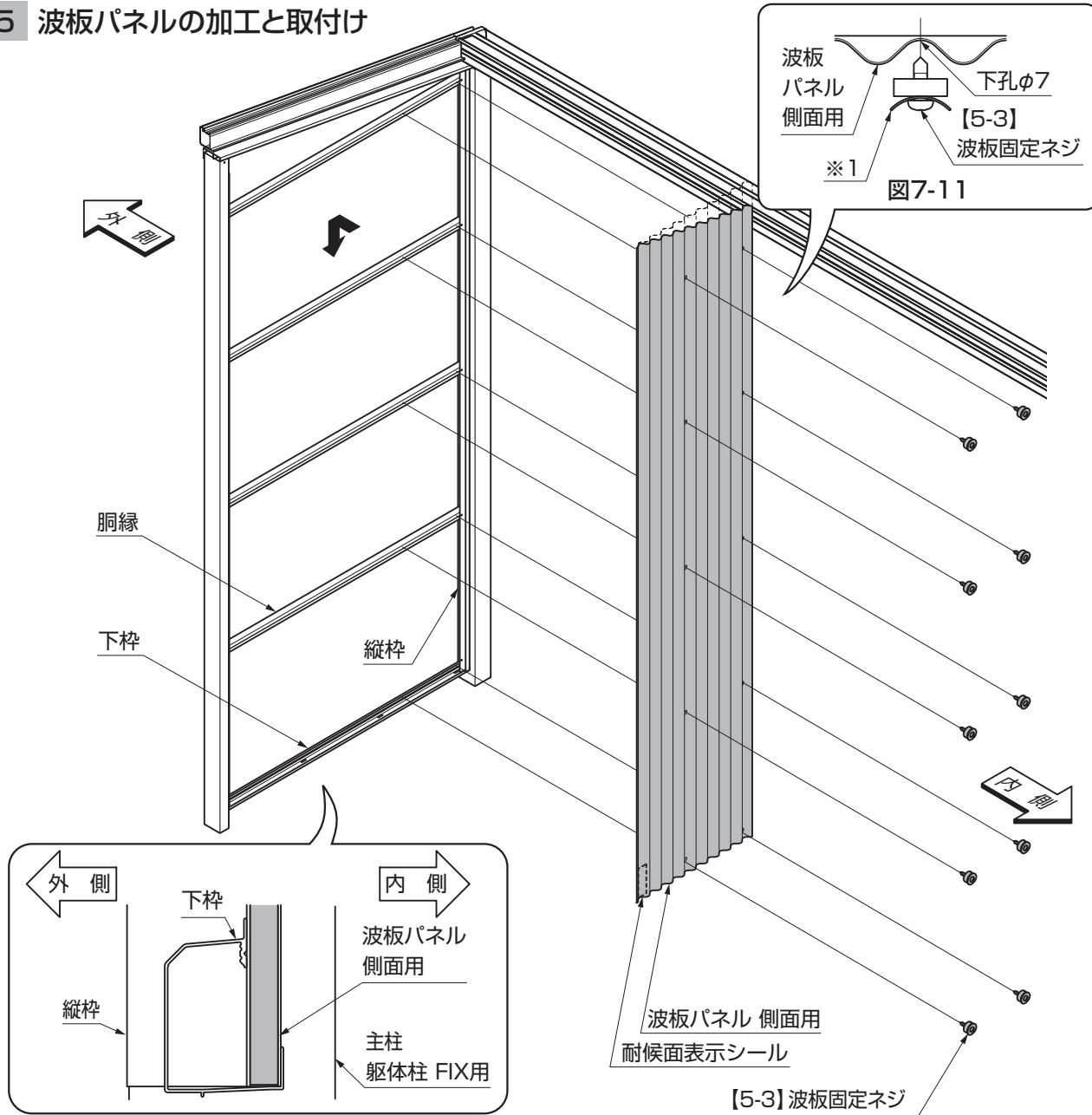


ポイント

- 胴縁は水勾配面を上向きに取付けてください。(図7-9参照)
- 柱位置を移動した場合は、柱内々寸法Aを計測し胴縁と下枠を切詰めてください。(※1)

- ① 胴縁のV溝を縦枠の孔にあわせてから、胴縁を縦枠に、[5-2] で取付けてください。(図7-9参照)
- ② 下枠のV溝を縦枠の孔にあわせてから、下枠を縦枠に、[5-2] で取付けてください。(図7-10参照)

7-5 波板パネルの加工と取付け



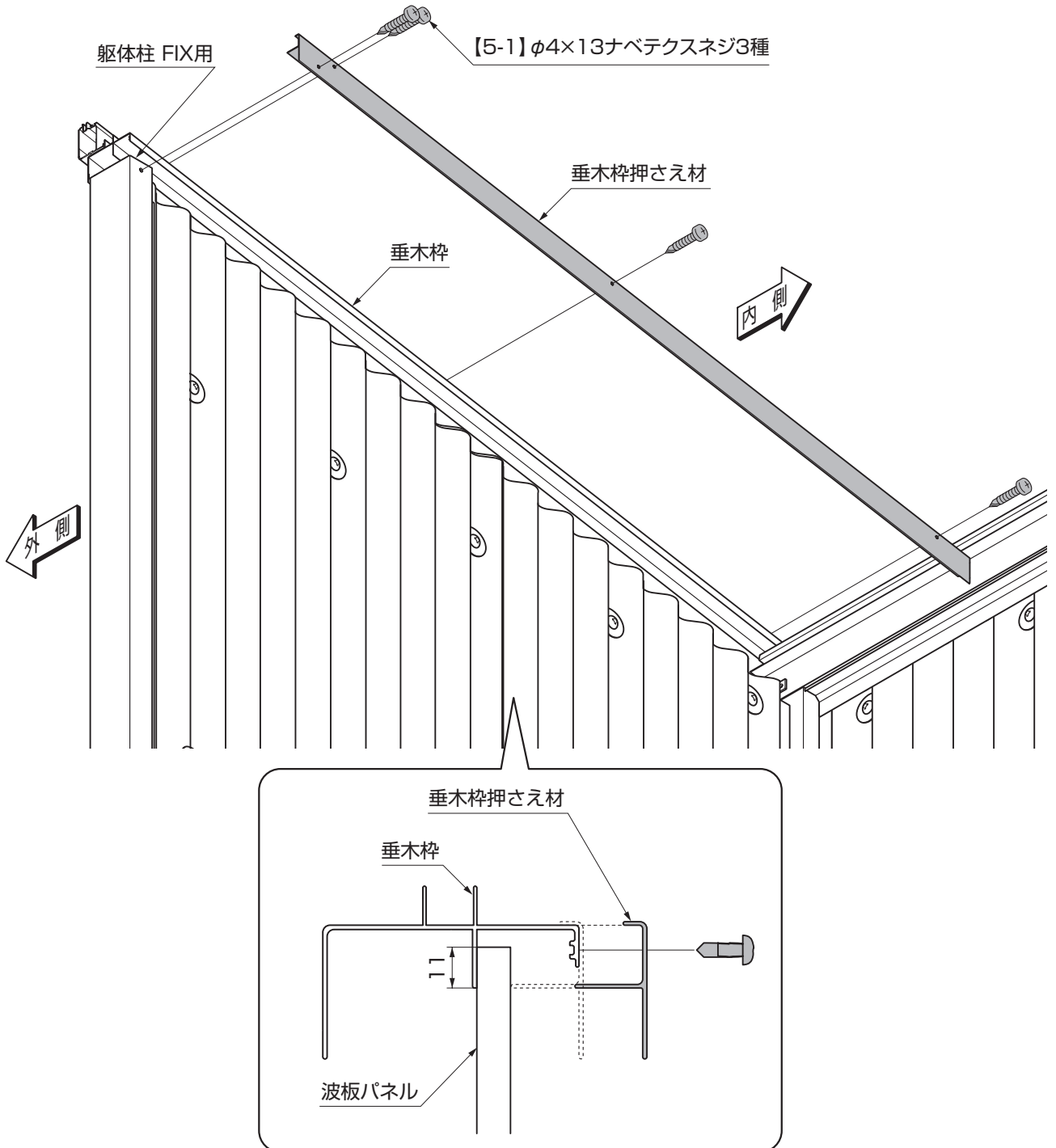
ポイント

- 波板パネルに貼ってある耐候面表示シールの内容にしたがって、表裏を確認してください。
- 複数の波板をつなげる場合は、2.5山以上の重ね代を確保してください。
- 波板固定ネジは、波板の谷部に、φ7の下孔を加工してから固定してください。(図7-11参照)
- 波板固定ネジは、座金部分(※1)を波板側に押さえつけながら取付けてください。(図7-11参照)
- 波板固定ネジの取付ピッチは、6山以内にしてください。
- 冒頭の<波板パネルの施工について>を参照して、波板パネルを加工してください。

- ①波板パネルの耐候面表示シールが下側になる向きにして、内観右端から一枚ずつ取付けてください。
- ②波板パネルを縦枠と下枠に差込み、仮置きしてください。
- ③下枠、銅縁のV溝に合わせて、波板の谷部に下孔加工用の印をつけてください。
- ④波板パネルにφ7の下孔を加工してください。
- ⑤波板を下枠と銅縁に【5-3】で固定してください。

7. (つづき)

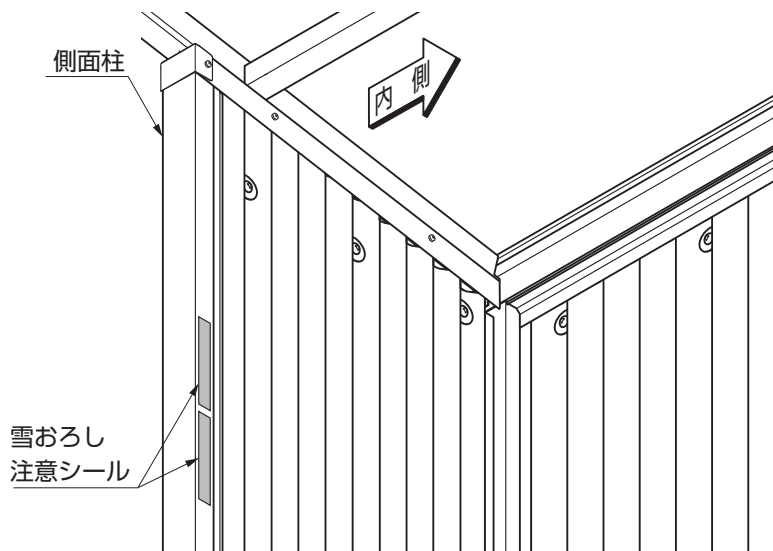
7-6 垂木拵押さえ材の取付け



- ① 垂木拵押さえ材を垂木拵に、【5-1】で取付けてください。
- ② 垂木拵押さえ材を躯体柱 FIX用に、【5-1】で取付けてください。

8. 雪おろし注意シール・ブランドラベルの貼付け

8-1 雪おろし注意シールの貼付け ※「袖壁仕様」と「ヤード仕様」の場合の作業です。

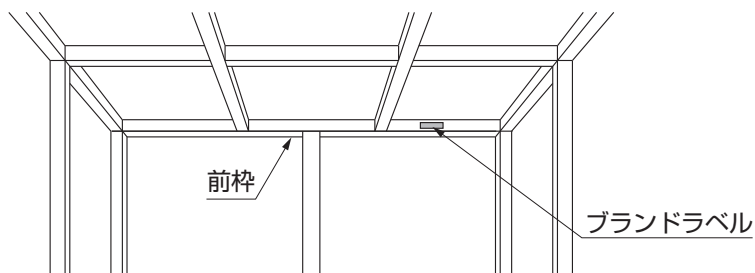


①側面柱の内側面に雪おろし注意シールを縦に並べて貼付けてください。

注意

●雪おろし注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

8-2 ブランドラベルの貼付け ※1500タイプの場合の作業です。

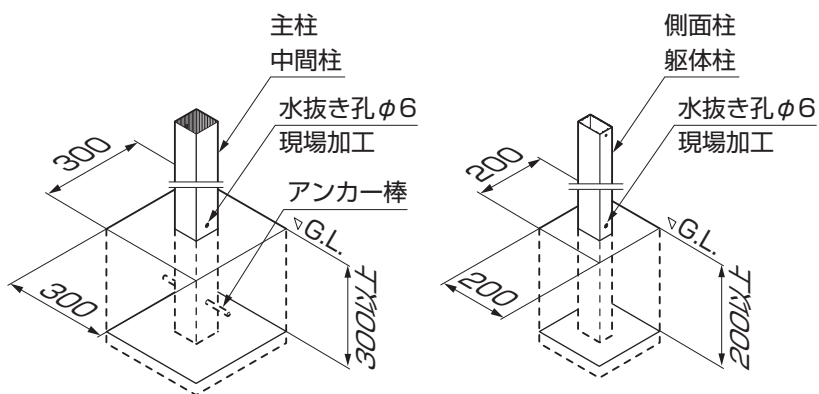


①前桟に貼付いている「サンクテラスII」のブランドラベルの上に、「サンクストックヤード」のブランドラベルを重ねて貼付けてください。

注意

●ブランドラベルは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

9. 柱の固定



ポイント

●柱の基礎穴にコンクリートを施工する前に、以下の項目を確認し必要に応じて調整をしてください。

- 柱位置は狂っていないか
- 柱の垂直はでているか
- ドアの開閉ができるか
- ドアを閉めたときの、隙間寸法は均等か

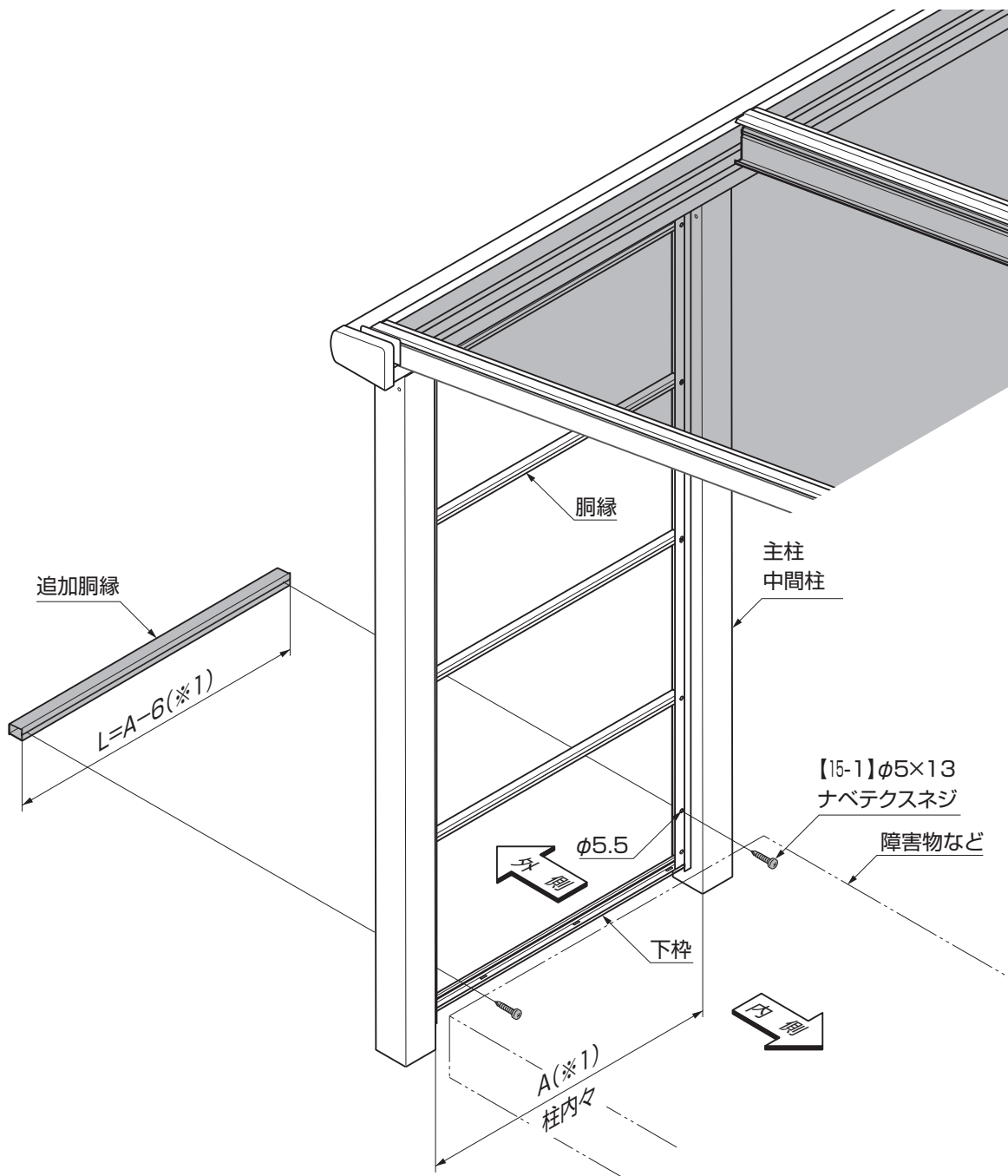
①基礎穴をコンクリートまたはモルタルで埋めてください。

10. 追加胴縁の使用方法

オプション

※波板パネルを取付ける前の作業です。

3 本体の施工



ポイント

●追加胴縁は、サンクストックヤード内側に障害物があり、下枠に波板固定ネジが施工できない場合に使用する部材です。障害物を避けた位置に胴縁を追加することができます。

- ①追加胴縁を取付ける高さを決め、縦枠のV溝部にφ5.5の孔加工をしてください。
- ②柱内々寸法Aを計測し、追加胴縁を切詰めてください。(*1)
- ③追加胴縁を【15-1】で取付けてください。

取説コード

E247

JZZ614778B
200706A_1041
201210C_1041